





1. [はじめに](#)
2. [無料ダウンロード音声について](#)
3. [CONTENTS](#)
4. [ハリウッドセレブの“素顔の”英語](#)
5. [ハリウッドスターのインタビューで英語力パワーアップ](#)
6. [インタビュー・ページの読み方](#)
7. [Orlando Bloom](#)
8. [Nicole Kidman](#)
9. [Jim Carrey](#)
10. [Halle Berry](#)
11. [Naomi Watts](#)
12. [Keanu Reeves](#)
13. [Johnny Depp](#)
14. [Keira Knightley & Tony Scott](#)
15. [Uma Thurman](#)
16. [George Clooney](#)
17. [奥付](#)



# はじめに

『イングリッシュ・ジャーナル』から厳選された スターのインタビューが聞ける！

この本は、アルクの月刊誌『イングリッシュ・ジャーナル』に毎月付いている別冊付録『The Voice of EJ』に2003～2004年にかけて掲載されたハリウッドスターのインタビューの中から**10本**を選び、1本6～7分の長さに再編集して収録したものです。

各インタビューは、音声にきわめて忠実な英文トランスクリプト、対訳、語注など、『The Voice of EJ』とほぼ同様の形式になっているうえ、インタビュー音声をそのまま収録しているので、入手したその日からすぐ、スターたちの本物の声でリスニング練習ができます（※インタビュー音声は無料でダウンロードできます）。

レベル別・モデル学習法で英語力アップ！

さらに、インタビュー・ページの前には、本書の内容を利用した、英語力レベル別の学習モデルプランが掲載されていますので、これを使って、ご自分のレベルに応じて、リスニング力はもちろん、スピーキング力を含む英語力全体までもステップアップさせることができます。

各インタビューの末尾には、この学習ページに対応した「理解度チェック」が付いていますので、自分がどの程度聞き取れたか確認するために、ぜひご利用ください。

また、長年ハリウッドスターを取材してきたベテラン映画ライターによる、スターたちの普段の英語の話しぶりに関する巻頭エッセイも、どうぞお見逃しなく！

**10人**のインタビューイはいずれも、今、非常に注目され、活躍しているスターたちです。

さあ、まずは、憧れのスターの話がどのくらい聞き取れるか、早速挑戦してみましょう！

表紙写真：Startraks/アフロ



## 無料ダウンロード音声について

本書に対応する音声は、すべて無料でダウンロードしていただけます。下記URLにアクセスし、『ハリウッドスターの英語2』を選択、フォームに必要事項をご記入の上送信いただくと、ダウンロードページURLのご案内メールが届きます。

**ALC Download Center**  
ダウンロードセンター



ダウンロードした音声ファイルはiTunesなどの音声再生ソフトで取りこんでご利用ください。音声再生ソフトでのファイルの取り込み方法や携帯音楽プレーヤーでの利用方法については、ソフトやプレーヤーに付属するマニュアルでご確認ください。

取り込んだ音声ファイルは、音声再生ソフトで次のように表示されます。

出版社名（アーティスト名）：「ALC PRESS INC.」と表示。

書名（アルバム名）：

『ハリウッドスターの英語2』

トラック名（曲名）：どの学習に必要な音声なのか**がすぐわかる**よう、[トラック名\_アーティスト名]で曲名が表示されます。（例：[01\_Orlando Bloom]

本書では、ダウンロードした音声を使用する部分は **DL Track01** のように、トラックの通し番号で記載しています。該当のトラックを再生して学習してください。



[はじめに](#)

[無料ダウンロード音声について](#)

取材歴10年の映画ライターが聞いた  
[ハリウッドセレブの“素顔の”英語2](#)

〔レベル別・本書を使ったモデル学習プラン〕  
[ハリウッドスターのインタビューで英語力パワーアップ](#)

[インタビュー・ページの読み方](#)

---



# Orlando Bloom

若くして「ロード・オブ・ザ・リング」3 部作に出演し、その甘いマスクで一躍スターダムにのし上がったオーランド・ブルームが、大作『キングダム・オブ・ヘブン』撮影時のエピソードや、ファンへの対応について、そして「大人の男」の役を演じることへの思いを語る。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

---



# Nicole Kidman

可憐な美女から大女優への階段を一步步上るニコール・キッドマンが、『奥さまは魔女』で演じた「2度目の魔女」について、映画界に入った当時のこと、そして歌って踊るペンギンの吹き替えに挑戦した『ハッピー・フィート』について、明快な口調で語る。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

---



# Jim Carrey

変幻自在な役作りで、見る者を常に驚きと笑いで包むジム・キャリーが、狡猾な伯爵に扮した出演映画『レモニー・スニケットの世にも不幸な物語』について、「自分自身を演じること」について、アメリカ国籍を取得したことについて、彼一流の軽妙洒脱な話しぶりで語る。

▶用語解説

▶語注

---



# Halle Berry

『チョコレート』で黒人女性初のアカデミー主演女優賞を受賞した後も、積極的に新しい役柄に挑戦し続けるハル・ベリーが、『キャットウーマン』や『ゴシカ』で演じた役柄について、人生について、母親への思いについて語る。落ち着いた話しぶりが彼女の魅力を感じさせるインタビュー。

▶用語解説

▶語注

---



# Naomi Watts

『マルホランド・ドライブ』、『21グラム』でブレイクしたオーストラリア出身の女優ナオミ・ワッツが、浮気と不倫をテーマにした出演作 **We Don't Live Here Anymore** について、また、これまでのキャリアについて真摯に語る。同郷のニコール・キッドマンとの友人関係についても披露。

▶用語解説

▶語注

---



# Keanu Reeves

「マトリックス」シリーズで確固たる地位を確立したキアヌ・リーブスが、大人気コミックを基にした主演映画『コンスタンティン』で表現したかったこと、次回作への意欲、俳優という職業や演じることへの思い入れについて語る。

▶用語解説

▶語注

---



# Johnny Depp

今、もつとも勢いのある俳優の一人、ジョニー・デップが、盟友ティム・バートン監督と組んで大ヒットを記録した出演作『チャーリーとチョコレート工場』のウォンカ役について、また、バートンとのきずなや、自分を支え続けてくれた「ファン」について実直に語る。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

---



# Keira Knightley & Tony Scott

新進気鋭の若手イギリス人女優キーラ・ナイトレイが、主演映画『ドミノ』で演じた伝説の賞金稼ぎ役や、銃やギャングの世界について、共演者について、『ドミノ』監督のトニー・スコットとともに語る。同時期に撮影した文芸大作『プライドと偏見』についての話題も。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

---



# Uma Thurman

「キル・ビル」シリーズで見せた迫真の演技で名実ともにハリウッドのトップ女優となったユマ・サーマンが、出演作『プロデューサーズ』で念願の歌と踊りに挑戦したときの様子や、裏切りについて語る。「女の子映画」というイメージについて鋭く批判する一幕も魅力のインタビュー。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

---



# George Clooney

ハリウッドを代表する「セクシーな大人の男」、ジョージ・クルーニーが、アカデミー助演男優賞を受賞した社会派映画『シリアナ』での役作りや、自ら監督した『グッドナイト&グッドラック』で表現したかったことについて、明断かつフランクに語る。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

---

[奥付](#)



# ハリウッドセレブの“素顔の”英語 2

## How do the celebrities talk?

Text by Tominaga Yuki

### 平常心と他者への気遣いを忘れないスターたち

1990年代後半から現在まで、取材を通して多くのスターに会う機会に恵まれてきた。大作の主演俳優が自分より年下という場合もいつの間にか増えてきて、ハリウッドの世代交代を痛感しているが、その一方で、繰り返し何度か取材で会っているスターの人間の成長を確認する瞬間もある。

カメラ付き携帯電話など各種メディアが発達し、5分前にショッピング・モールで買い物をしていた姿がすぐにインターネット上にアップロードされてしまう世の中で、スターが神秘性を保つのは難しい。そのせいか、ここ数年の間に、あえて飾らずフランクに自分を語るスターが多くなったように思う。自分をスターと思わず、演技という仕事に従事する職人的にとらえることで、彼らは平常心を保っているようだ。

たとえば、『チョコレート』でアカデミー最優秀主演女優賞を受賞したハル・ベリー。有色人種の女優として史上初の栄誉に輝いた彼女が、受賞スピーチで喜びを爆発させる姿は大きな感動を呼んだ。俗に言うオスカー・ジnkス（アカデミー賞を受賞すると、その後のキャリアが伸び悩む場合が多い）とも無縁で、順調にスターの道を歩んでいる。それは彼女の作品選びに秘密がありそうだ。シリアスな役での熱演が評価されたからといって、それにこだわらず、娯楽作品で弾けた姿を見せる。たまに、とんでもない失敗作に遭遇することもあるが、自分の仕事はきっちりと果たす。そんな彼女の素顔は実に気さく。女優として認められるまでの苦勞を話す時も、最後にちょっとジョークを交えて明るくまとめ、決して場の空気を重くしない。そんな気遣いをしてくれる優しい女性だ。

ベリー同様、長い下積み時代を経て、30歳を過ぎてからブレイクしたナオミ・ワッツも、突然の人気にはしゃぐことない冷静さを持っている。彼女はあのショーン・ベンが惚れ込み、2本続けて共演者として指名した才能の持ち主。生まれはイギリスだが、親友のニコール・キッドマン（彼女はハワイ生まれのオーストラリア育ち）の話題になると、「ニコールも私もオーストラリア人だから」と言う。自分よりずっと早く人気者になったキッドマンとの友情にひびが入らなかったのは、おそらく彼女が自分の才能を信じていたからだろう。スターとしてちやほやされるのは苦手のように謙虚な人柄だが、演技に対するこだわりは強い。彼女の話す英語にはほとんど訛りが感じられないが、同郷のピーター・ジャクソン監督の『キングコング』に出演した時は、監督と一緒に取材を受けていると、つられてオーストラリア訛りが出ることもあった。

### スターの素顔を垣間見る瞬間

大人気のコメディアンは実生活では物静かな人が多いという。ジム・キャリーの場合、決して無口ではないが、普通のインタビューの席が数々の持ちネタ披露の独演場になってしまうロビン・ウィリアムズとも明らかに違う。ウィリアムズやトム・ハンクスと同じく、彼も『エース・ベンチュラ』や『マスク』などのコミカルな役で注目されてからシリアスな役でも才能を発揮するようになった。話し始めると、すごい早口に驚かされるが、スタンダップ・コメディ出身なので、話す口調にリズムがあり、そのリズムさえつかめば、ちょっとした芸を見せてもらっているような気分になれる。自分の真の姿を見極められるのを嫌うコメディアンもいるが、彼は自身について比較的正直に語るタイプだ。物まねを連発しながら記者の質問を煙に巻いてしまうウィリアムズのようなタイプこそ、ありのままの自分を出すことに大きな恐怖を抱いているのかもしれない。

本書に登場するスターたちの中で、最も口が重いという印象を持っていたのはキアヌ・リーブスだった。いや、この表現は適切ではない。演技論や大好きなバイクなどが話題の場合は会話が弾むから。その反面、出演作について質問しても、気分が乗らない時は、はぐらかすような答えばかり返してくる。だが、昨秋『イルマーレ』のプロモーションで来日した時はまるで別人のようだった。それは傍らに共演のサンドラ・ブロックがいたから。『スピード』の共演時から仲のよかった2人だが、気心の知れた相手と一緒にいる時は、こんなにサービス精神旺盛なのかと驚いた。あるいは40歳を過ぎて、彼も大人になったのかもしれない。ブロックの発言にジョークで返し、さらに彼女が返し……という丁々発止のやりとりは、即興コメディを見ているようだった。

ニコール・キッドマンは、普段の口調からはあまり感じないが、話すうちに興が乗ってくると、うっすらとオーストラリア訛りが出てくる。私たちのような英語が母国語でないジャーナリスト相手の時、スターたちは大概気を使って、なるべくわかりやすい表現や発音を心がけてくれるが、話が盛り上がってくると、それが崩れてくる。その瞬間は話に熱中している証拠なので、取材の最中にそれを聞くのは秘かな喜びだ。

### リスニング能力が高いジョニー・デップ

ジョニー・デップは耳がいい。フランス人のパートナー、ヴァネッサ・パラディを得てからは、南フランスに購入した家で過ごす時間も増え、いつの間にかフランス語も習得。『フレンチ式しあわせの見つけ方』で披露するフランス語は流ちょうで訛りもない。リスニング能力に長けているのは英語で演じる役作りにも一役買っている。米語の様々な訛りや英国訛りもお手のもの。『ネバーランド』のスコットランド訛りには苦労したという話だが、これも見事に体得していた。取材の場での彼はまよくしたてるタイプではない。言葉を選びながら、ぼつりぼつりとしゃべる。彼もリーブス同様、話すのが苦手だと思っていたが、最近は記者会見などでお約束っぽいジョークも口にするようになり、大人になったなあと思う。映画界に身を置く人々は年齢と関係なく永遠に少年っぽさ、あるいは少女っぽさを残した人が多く、43歳になったデップもそんな1人だ。嘘臭い明るさやカラ元気を出さず、本当にニュートラルなトーンで話す。すでに完成している映画の思い出や苦勞話も面白いが、それ以上に面白いのが、いわゆる雑談めいた会話の中でボソッと言う一言だ。先に話すのが苦手と書いたのと矛盾するが、デップは意外に茶飲み話みたいな会話もできる。誰と接するにも態度を変えない。目上の人にも小さな子供にも、等しい尊重の態度を見せるのも彼の美点だ。

キャメロン・クロウ監督の自伝的要素が盛り込まれた『エリザベスタウン』でオーランド・ブルームは、監督の分身である主人公を演じた。普段の口調はもちろん、ルックスも英国人然としているブルームなのに、見事に現代アメリカの青年に変身していた。初めて彼を取材したのは『ロード・オブ・ザ・リング』シリーズの第1作『～旅の仲間たち』のプロモーションで来日した時だ。当時は全く無名の若手俳優だったが、いきなり大注目を浴びる存在となった状況に少しも動じていなかったことが印象深い。堂々としているが、自信過剰なわけではなく、最初からありのままの自分で居心地よくいられる。これもスターの条件の1つだと、その後の彼の活躍ぶりを見ながら、思った。

### 若くして名声を得たキーラ・ナイトレイとユマ・サーマン

ブルームと同じくイギリス出身のキーラ・ナイトレイ。女優になりたいと思った6歳の時に自らエージェントを雇ったという行動力。彼女も映画でアメリカ人を演じる時はアクセントに留意しているが、普段の会話はバリバリのクイーンズ・イングリッシュ。これは個人的な好だが、硬質なアクセントに意志の強さが感じられる彼女の口調は聞いていて小気味よい。十代で売れっ子女優になった彼女は、今は無防備なくらい何でも話してくれるが、年齢を重ねていくうちに、どう変化していくのかが楽しみだ。

ユマ・サーマンもやはり十代でスターになり、ある意味で無防備なまま大人になったと思う。女神のような近寄りがたい美しさなのに、話している時は少女のよう



だ。非常に気を使う人でもあり、こちらの意に沿った答えをしようとここまで心を砕く人は他にいなかった。

スマートな会話の達人ジョージ・クルーニー

本書に登場する面々の中で圧倒的に大人だったのはジョージ・クルーニーだ。とにかく頭の回転が早くて、すぐにジョークで切り返す。時には悪乗りしすぎでは？と思うこともなくはないが、シリアスな話題になると、明なコメントを展開する。質問する相手を見るタイプ。何を求められているのかを瞬時に悟り、やわらかめな番組や雑誌の場合は、内輪ネタを織り込んだジョークを連発する。社会問題については真剣に語る。それでも最後にクスッと笑えるようなオチを用意しており、本当にスマートで話し好きな人という印象を受けた。

渡辺謙に学ぶ、外国語として英語を話すということ

本書の第1弾が発売されたのは『ラストサムライ』で渡辺謙がオスカー候補になった翌年（2005年）だった。それからわずか2年の間に、多くの日本人俳優が海外で目覚ましい活躍ぶりを見せている。ハリウッドでコンスタントに映画出演しながら中国映画で主役を務めた真田広之をはじめ、'06年には『硫黄島からの手紙』の二宮和也や『バベル』（'07年GW公開予定）の菊地凜子といった若い才能が、初めての海外作品出演で高い評価を得ている。加えて、チャン・ツィイーやコン・リー、TVシリーズ「LOST」のキム・ユンジン等々、今ハリウッドではアジア出身の俳優たちがかつてないほどの注目を浴びている。彼らの多くが話す英語はまだつたないが、通訳を介さずに話す方が、格段に好意的に受けとめられるように思われる。

「外国語を話す時には『伝えたい』という意志が働く。それがチャーミングなんです」と、『ラストサムライ』に出演した直後に渡辺謙が明かしてくれたことがある。前回と同じ結論になるが、やはり自分の伝えたいことを相手にわかってもらうことが肝要なのだ。英語であれ日本語であれ、自分の気持ちを自分の言葉で表現することは、誰もが生涯をかけて学んでいくべきこと。あなたの言葉に耳を傾けてくれる人がいるかぎり、その努力は決して無駄にならない。

---

富永 由紀 ●映画ライター。映画雑誌『フリックス』の編集部を経て、1999年からフリーランスとなり、映画誌、インターネット・サイトなどで執筆。国籍を問わず面白い映画を求め、作品にかかわった人々から話を聞くのが何よりの喜び。



英語力パワーアップ

映画スターの生素材を使ったりスニング学習のメリットとは？

Text by Matsuoka Noboru

01 生の英語素材には魅力がいっぱい

生のインタビュー素材には、教科書の英語にはないさまざまな魅力があります。

第1に、話している人物が声優やナレーターではなく、本人が自分の思いや考えを自分の言葉で話している点です。本書では、ハリウッドスター本人が、シナリオではなく自分の言葉で話しているのですから、映画ファンにはたまりません。映画ファンならずとも、世界的なスターの話なら、教科書を読むナレーターの英語より、興奮度ははるかに高くなるはずです。

第2に、生の素材の魅力は、バラエティーに富んでいることです。画一化された教科書英語とは違って、人それぞれの話し方の癖が、スピードや言い回し、アクセントなどに見られ、個性を楽しめることです。

第3は「不完全」であることです。教科書の英語は完璧なセンテンスの集合体ですが、そのような英語は現実の人間の発話には存在しません。会話は瞬間芸ですから、間違いもすれば、言い直しもし、言葉に詰まることもあれば、途中で中断することもあります。生の素材は、こうした現実の「正しい不完全な英語」を教えてくれる貴重な教科書なのです。

02 リスニングは4技能の原点

本書は、音声素材を使ってリスニング力をパワーアップすることを目的に編集されたものです。したがって、音声を聞くことが練習の中心になり、テキスト（スクリプト、対訳、語注）はあくまでも補助的なものとして考えられます。しかし、リスニングは4技能（聞く、話す、読む、書く）の原点です。リスニングのパワーアップはスピーキング力の向上に直結します。同時に、音声を文字にすれば、リーディング、ライティングのパワーアップにもつながります。また、これらのプロセスで語彙力の増強も同時進行します。本書の利用を聞き取り練習にとどめず、欲張ってあなたの英語力全体のパワーアップにつなげてください。

03 学習方法

本書を利用した学習方法の例をレベル別に紹介します。各レベルとも **STEP 4**の後に「理解度チェック」（各インタビューの最後に掲載）があります。**GOAL** に示された得点をクリアしたら、1レベル上の方法でチャレンジしてください。なお、各レベルとも、**STEP 5**以降はスピーキングやリーディングのパワーアップにつながる〈発展学習〉です。範囲や回数は指定していませんので、自分のペースに合わせてあれこれ試してみてください。

松岡 昇●青山学院大学大学院国際政治経済研究科修了。  
専門は、国際コミュニケーション、社会言語学。獨協大学、東洋大学、淑徳大学講師。  
アルクの看板通信講座「1000時間ヒアリングマラソン」コーチ。  
著書の『日本人は英語のここが聞き取れない』『続・日本人は英語のここが聞き取れない』が、大好評発売中。



初級者

TOEIC 500点未満



話の「森」（＝大筋）が見える

初級レベルでは、語注類と **Reporter** の質問文（英文、訳文）の助けを借りて、合計**10**回の聞き取りで話の「大筋」がつかめることを目標とします。

たとえ最初はまったく聞き取れなくても、以下のステップに従って、まず、用語解説と語注（背景知識とボキャブラリー）をあらかじめ頭に入れることで徐々に聞き取りが容易になり、次いで、**Reporter** の質問文を理解することでインタビューの答えの「大筋」を予想できるようになります。

どれほど速い英語でも、途中で音声を止めることはせずに、自然の英語の流れに身を任せてください。少しずつ聞こえてくる語句が増えてくるはずです。



## STEP 1 全体を聞く

まずは 音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「森」（＝大筋）をつかむつもりで。（1～2回目）



## STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで2回聞く。（3～5回目）



### STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで2回聞く。（6～8回目）



## STEP 4 質問文＋全体を聞く

**Reporter** の質問文（英文と訳文）をテキストで読む。その後、全体の音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。（9～10回目）



「理解度チェック」を行う







## GOAL







## STEP 5

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。



**STEP 6**

自分のスピードで音読をする。



## STEP 7

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。



## STEP 8

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のように付いて英文を音読する練習）をする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。



中級者

TOEIC 500～750点



話の「森」と「木」（＝要点）が見える

中級レベルでは、語注類と **Reporter** の質問文（英文）の助けを借りて、合計7回の聞き取りで話の「大筋」と「要点」がつかめることを目指します

このレベルでも、固有名詞（人名、映画のタイトルなど）が多いため、何の予備知識もなく聞けば「大筋」をつかむことさえ極めて困難です。用語解説と語注から背景知識とボキャブラリーを仕入れ、また **Reporter** の質問文を英文であらかじめ読むことで、聞き取りやすさが違ってくるはずです。

和訳の作業は、速い英語では、理解の妨げにしかありません。和訳をあきらめ、音声を止めずに、英語の流れに身を任せると、少しずつ日本語を介さない「映像」（＝話されている内容のイメージ）が見えてきます。



## STEP 1 全体を聞く

まずは音声を最初から最後までノンストップで1回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「木」（＝要点）をつかむつもりで。（1回目）



## STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（2～3回目）



### STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（4～5回目）



#### STEP 4 質問文＋全体を聞く

**Reporter** の質問文（英文のみ）をテキストで読む。その後、全体の音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。（6～7回目）



「理解度チェック」を行う







## GOAL







## STEP 5

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。



**STEP 6**

自分のスピードで音読をする。



## STEP 7

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。



## STEP 8

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のように付いて英文を音読する練習）をする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。



## STEP 9

スクリプトを見ずに、音声のシャドーイングをする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。



上級者

TOEIC 750点以上



話の「森」と「木」と「枝葉」（＝詳細）が見える

上級レベルでは、語注類の助けのみを借りて、合計5回の聞き取りで話の「大筋」、「要点」、そして「詳細」がつかめることを目標とします。

このレベルの人は、いきなり1、2度聞いただけでも、「大筋」や「要点」はかなりのところまでつかめるはずです。しかし、細かい部分を聞き取ることには、もうひとつ自信が持てない段階です。やはりポイントは、背景知識とボキャブラリーです。「知っている話題」は細かい部分まで比較的楽に聞き取れるものなのです。

詳細を聞き取ろうと力を入れると、瞬時に理解できない特定の語句が気になり、理解の流れを妨げます。語注類をチェックした後は、力を抜いて英語の流れに身を任せてください。はじめのうちはザルのように細かい情報が素通りしていく不安を覚えますが、徐々に慣れて、リラックスした状態で「枝葉」まで見えるようになってきます。



## STEP 1 全体を聞く

まずは 音声を最初から最後までノンストップで1回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「枝葉」（＝詳細）までつかむつもりで。（1回目）



## STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（2～3回目）



### STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。  
(4～5回目)











## GOAL







#### STEP 4

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。



## STEP 5

自分のスピードで音読をする。



## STEP 6

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。



## STEP 7

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のように付いて英文を音読する練習）をする。音声が付いていけるようになるまで繰り返す。



## STEP 8

スクリプトを見ずに、音声のシャドーイングをする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。



**STEP 9**

対訳を見ながら、1文ずつ口頭で英訳する。



## STEP 10

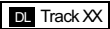
インタビューの内容を自分の英語で要約する。



# インタビュー・ページの読み方

この本のインタビュー・ページの本文は、次のように構成されています。最初の扉ページで、それぞれのスターのプロフィールや、話し方の難易度や特徴をチェックし、自分のレベルや関心に合わせてインタビューを聞いて／読んでみましょう。

## 音声トラック

 **Track XX** とあるアイコンがある部分は無料ダウンロード音声と対応しています。ダウンロードした音声を再生して学習してください。また本文のトラックには、その収録パートで述べられている内容の参考になるよう、中見出しを付けてあります。中見出しは必ずしも英和対訳にはなっていません。  
※本書の音声は書籍付属のCDを使用しているため、**Track62**の最後に「**This is the end of this CD**」という音声が残っています。ご了承ください。

## 英文スクリプト

音声に忠実に書き起こした英文トランスクリプトです。ただし、単語と認識し難い発声や相づち、言いよどみ、どもりなどは、表記されていない場合があります。

## 和訳例

英文のスタイルにできる限り即した訳になるようにしています。学習の参考にしてください。ただし、どのレベルの方も、最初は訳例を見ないで英文をリスニング／リーディングされることをおすすめします。

## 用語解説

主として、固有名詞と、話の理解に必要と思われる背景や事情について、解説を付けています。

## 語注

英検2級・**TOEIC730**点レベル以上の語彙を中心に、注意が必要と思われる単語や表現について、ここで使われている意味の訳語を付けてあります。必要なものについては、訳語の後に★印で補足説明を付けてあります。

※英文中の色が変わっている部分をタップすると用語解説もしくは語注に遷移します。**\***から始まっている下線箇所は、下線部分を含め複数の用語解説もしくは語注を含んでいます。**\***をタップすると下線部分全体の用語解説もしくは語注に遷移します。





**Orlando Bloom**

写真：Press Association/ アフロ







「美青年」から「大人の男」へ——人気若手俳優の決意

# Orlando Bloom

“I feel like I’m still really at the beginning of my career as an actor.”

「僕はいまだに、自分の役者としてのキャリアは始まったばかりだと思ってるんだ」

## Supervising Editor’s Comment

語彙や構文は平易。ただしかなり早口。しかも、話を区切らず延々と続けがちだ。ついていくのは容易ではないだろう。

発音は明瞭だが、英国南部の大衆的な発音が混じる。lotなどの語末の[l]を、喉を閉めるようにして出す（その結果、聞こえなくなる）のが、その代表例。また、sayが「サイ」、timeが「トイム」に近くなるが、これも英国南部訛りだ。

Interview Data	
収録日	2005年7月5日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	やや訛りあり

オーランド・ブルーム  
**Orlando Bloom**  
1977年1月13日、イギリス・ケント州生まれ。ロンドンの名門ギルドホール音楽演劇学校で演劇の基礎を学ぶ。卒業後初の映画出演となった「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズ3部作（2001年、'02年、'03年）で一躍世界的スターとなる。そのほかの代表作に、『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』（'03年）、『トロイ』（'04年）、『キングダム・オブ・ヘブン』（'05年）、『エリザベスタウン』（'05年）など。若くして「ロード・オブ・ザ・リング」3部作に出演し、その甘いマスクで一躍スターダムにのし上がったオーランド・ブルームが、大作『キングダム・オブ・ヘブン』撮影時のエピソードや、ファンへの対応について、そして「大人の男」の役を演じることへの思いを語る。



Orlando Bloom won women's hearts with his role as [Legolas Greenleaf](#) in [The Lord of the Rings trilogy](#). He also starred in various films like [Black Hawk Down](#), [Pirates of the Caribbean](#), [Troy](#), and [Kingdom of Heaven](#). In this interview he talks about working in Morocco, his career so far, learning on the job, and where [he's headed](#).



---

## Wonderful Time in Morocco

DL Track03

[用語解説](#) [語注](#)

---

**Reporter:** . . . Speaking about working in Morocco, sometimes film sets [can be](#) sort of like a little [fortress mentality](#) . . .

**Bloom:** Right.

**Reporter:** . . . like when you know that you can't [walk off](#) the set without [endangering](#) your existence.

**Bloom:** Well, to be honest, I had a wonderful time in Morocco. We were [embraced](#) by the local communities, they were very welcoming to us. Obviously, I think they want [to have movies to be made](#) there, so every effort was taken to [ensure](#) that everything [went down](#) very safely and happily, and we had a remarkable experience. I had a wonderful time.

I never once felt threatened or . . . you know, I could walk around the streets and just [hang out](#), and have a good time without the constant attention of people and [paparazzi](#). It was wonderful. I really, really loved it, and so much so that I would buy a [place](#) there at one point in my life, perhaps, 'cause I really enjoyed it. It was wonderful.

**Reporter:** You weren't recognized at all?

**Bloom:** A little, but only . . . whether it's a cultural thing or a religious thing, they just were very, very [respectful](#) and [unobtrusive](#) and [welcoming](#). It really was a wonderful place to work. I know, I've been there before with [Ridley](#) and I can see why he works there, you know. Aside from it being stunningly beautiful and the light being remarkable, it was great.

translation [▶](#)



## Still Pinching Myself

DL Track04

用語解説 語注

**Reporter:** [Eva](#) was telling us when you were in Spain [how](#) she almost couldn't get any sleep because people were yelling "Orlando! Orlando!"

**Bloom:** Uh, yeah.

**Reporter:** [What are you thinking at, when](#) that's happening?

**Bloom:** Well, that was the first time, for me, that I [experienced](#) that kind of attention. And I have to say it was, I guess, 'cause I was the [lead](#) in the movie, and it was a big movie that was in town. So I think they were expecting us to be around, which is why I probably got that kind of attention. And I was a little [intimidated](#), I won't lie. I was a little intimidated to begin with, and I wasn't prepared for it. It was unexpected. But [subsequently](#), you know, everything is about a series of adjustments and getting used to those things. And it was great that people were excited to have us around. It made it a little difficult for me to [go about my daily life](#), but [for the sake of](#) a few months of filming, it was definitely worth it.

[I would certainly say](#) that if I went back to Spain, I would probably be able to handle it a lot better than I did that time, you know, because it was the first time it [happened](#). I was very shy, and I didn't know quite how to cope with it. And in fact there were security, and there were police guards, like, putting up barriers. And I was told I couldn't really stop because if [they](#) did they could knock down the barriers and then [people'd](#) get hurt. So there was a lot of craziness that was going on at the time, and I [was sort of taken along with the flow](#).

But I think I've learnt a lot from that. And they were lovely. Ultimately it was just kids and [families and, excited to be out](#) and have something like a, it's like, kind of like, the circus coming to town, I guess. You know what I mean?

**Reporter:** So you've had time to learn to be rude and [surly](#) to fans now?

**Bloom:** Quite the opposite. Quite the opposite, I think. I mean, I hope. You know, I value the, uh, the support of my fans, usually. You make movies and you hope people are gonna enjoy watching them, you know. They're not always gonna work. Some of them are, some of them aren't. You try to make good ones, you try to do the best job you can, but, you know.

I [reflect](#) sometimes, and think, "Wow, I'm like five, six years out of drama school and I was 27, and I starred in the Ridley Scott movie . . . " [It's still, sort of pinching myself](#) a little bit, 'cause I still feel like I'm really at the first chapter of my career, and I've been very, very lucky to have had the opportunities up to this point. And ultimately I'm, uh, you know, I'm, um, [counting my lucky stars](#), you know, really. But I know that there's a long way to go in terms of -- it's about [a body of work](#), I guess, is what I'm saying. And there's a lot for me to do, which is exciting.

translation ►



**Reporter:** You are a very established and respected actor. Do you still feel like you're learning?

**Bloom:** Oh, for [sure](#). Are you kidding? Yeah. I think, if I ever stop feeling like I'm learning, I'll start worrying. I guarantee you. Certainly I'm learning. There's a lot to learn for me. You know, I've been fortunate.

I read [this script](#) when I was flying back from shooting *Troy*, and I'd just played [Paris](#), the [cowardly](#) younger brother. And the movie obviously wasn't released and wasn't gonna be released for a while, but I just thought, "Wow!" I read the script, I thought, "Wow, this would be cool." I mean I'm not looking for another sword movie, but I've seen the way [Brad](#) handled himself, I've seen the way [Viggo](#) and [Eric Bana](#) and [Johnny](#) have handled themselves in these roles and in different things, and I think, "Wow, I'll meet Rid and then we'll see what happens." It would be a great, you know, [polar opposite](#) to, like that Paris character. [Albeit](#) the fact that, you know, [Balian](#) is a [reluctant](#) hero, you know. He's not like a *Gladiator*, [Russell Crowe](#)-type hero, you know. This is a man, this is more like a [spaghetti western](#); this is more like a [Sergio Leone](#) kind of hero. You know what I mean? ---- the reluctant hero type, which is what Balian is. But I thought, "Wow, that would be a great opposite to do."

translation ▶



## Transition Into a Man

DL Track06

語注

**Reporter:** Are you gonna be playing "men" in the future or . . .

**Bloom:** I really wanted to make that transition, you know, I really wanted to make that transition into a man. Uh, it was important to me to play, to make Balian a real man. And so I trained very hard ---- lifted a lot of [weight](#); put on about 15 to 20 [pounds](#) by the end of it, about 20 pounds; and was eating a lot, and working with the horses and the swords, as I'd done before; just to [try and be that presence](#) ---- but maintaining that character, who is really just a common man. A man of the people, a [blacksmith](#) who is, you know, there to defend the people of Jerusalem, ultimately, [at the end of the day](#).

But yeah, I wanted that. We had these [great costume and makeup](#) ---- they all helped. We went for different levels on the beard at different [time](#), the blood on the face, the dirt ---- the whole thing, you know. It all sort of helped ---- helped to really make that transition into the man.

tanslation ▶



**Reporter:** So you're shooting the sequels to *Pirates of the Caribbean* right now. You're going to have a pair of [trilogies](#) then.

**Bloom:** I know, how about that! [Talk about](#) being lucky!

**Reporter:** Well, I think luck has nothing to do with it.

**Bloom:** Well, I got really lucky being able to work [Cameron](#) on [Elizabethtown](#), you know, playing a contemporary role, and an American role, which was wonderful. But I probably see another chapter to my . . . I feel like I'm still really at the beginning of my career as an actor ---- I'm definitely, like, in the first [quarter](#), as it were, you know what I mean? And I've found myself in all these incredible historical [epics](#), but I think there's another, lighter, unusual side to, [quirky](#) quality to myself [which will probably become, you know, which sort of came out](#) a little bit in [The Calcium Kid](#), which didn't get much [play](#) ---- but maybe you'll see, in, in *Elizabethtown*. So we'll see. Really, [we'll see](#). I just wanna keep learning, and keep growing, and keep working, and hopefully I get the chance to work with great directors, and [keep it real](#), you know what I mean? It's, it's all about that for me.

tanslation [▶](#)

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Eric Kelso*



オーランド・ブルームは、「ロード・オブ・ザ・リング」3部作における、レゴラス・グリーンリーフ役で、女性たちの心をつかみました。さらに、『ブラックホーク・ダウン』『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』『トロイ』、そして『キングダム・オブ・ヘブン』など、さまざまな映画に出演しています。このインタビューでは、モロッコでの仕事、これまでのキャリア、仕事を通じて学ぶということ、そして、今後の方向性について話してくれます。

【原文】[▶](#)



# モロッコでの撮影

**DL** **Track03**

記者：（前略）モロッコで仕事をされたといえば、映画撮影現場のセットにいと、時に、要塞の中にいるような感覚を覚えることがあると思うのですが・・・

ブルーム：ええ。

記者：・・・例えば、セットから一歩外に出れば身の危険を感じるといったような。

ブルーム：まあ、実を言うと、モロッコでは素晴らしい時間を過ごしたんです。地元の地域社会が受け入れてくれて、大歓迎されました。当然、向こうも映画のロケ地になることを望んでいるわけですから、万事が間違いなく、至極安全に快適に進むよう、最大限の便宜を図ってくれたので、素晴らしい経験をしました。とても楽しかったですよ。

僕は一度も怖い思いをしたりせず・・・そう、通りを歩き回ったり、ぶらぶらしたりして、人々やパパラッチから常に注目されるということもなく、楽しかったです。最高でした。本当に、とても気に入ったので、将来あそこに家を買ってもいいかも、と思うほどでした、本当に、それくらい楽しかったからです。最高でした。

記者：全然気付かれなかったのですか？

ブルーム：ちょっとはね、でも大しては・・・文化によるものなのか、宗教によるものなのか、みんなとにかくすごく礼儀正しく、慎み深く、友好的でした。仕事をするには、本当に素晴らしい所でしたね。もちろん、前にもリドリー（・スコット）とあそこに行ったことはあるのですが、なぜ彼があそこで撮影するのかわかります。あの土地が驚くほど美しく、光が最高であるということを別にしても、素晴らしかったです。

【原文】[▶](#)



# 夢のような成功

**DL** **Track04**

記者：（共演者の）エヴァさんは、スペインで撮影していたとき、みんな「オーランド！ オーランド！」と叫ぶものだから、ほとんど眠れなかったとおっしゃっていましたよ。

ブルーム：ええ、まあ。

記者：そうしたことが起こると、どんなことを考えますか？

ブルーム：そうですね、僕がああいう形で注目されたのは、あのときが初めてでした。こう言ってよければ、おそらく僕がああ映画の主演で、街にやってきた大作ということで、みんな、僕たちが（ロケのために）あの辺に来るだろうと思っていたんじゃないでしょうか。そのために、あんなふうに注目されたのだと思います。それで、僕はちょっとおじけづいたんですよ、正直なところ。もともとちょっとおじけづいていて、心の準備もできていませんでした。予想外のことだったのです。ですが、そのうち、そうですね、何でも適応の連続ですし、そうしたことに慣れていくものです。それに、僕たちの滞在を喜んでもらえたのは素晴らしいことでした。日常生活面では、ちょっと困ることもありましたけど、数カ月間の撮影のためなら、その価値はもちろんありましたね。

もし今度またスペインに行ったら、あのときよりは、たぶんもっとうまく対処できると思いますよ。何しろ、ああいうことは初めてだったものですから。僕も遠慮があって、どう対処すればいいのか、よくわからなかったんです。そして、実際に警備もあり、警官も、その、バリケードを作ったりしていてね。それで、絶対に立ち止まってはいけないと言われました。立ち止まったら、人々がバリケードを倒して、けが人が出るかもしれないからと。そういうわけで、あのときはそうした狂乱騒ぎがいろいろ起きていて、僕はその流れにさらわれたような感じでした。

ですが、あの経験はいい勉強になったと思います。それに、いい人たちだったんですよ。結局、子どもたちや家族連れが、わくわくしながら出掛けてきて、何か、その、例えて言えば、街にサーカスがやってきたようなものだったんじゃないかな。わかるでしょう？

記者：では、いろいろ学んで、今ではファンに対して、無礼で、ぶっきらぼうな態度を取れるようになったということですか？

ブルーム：正反対ですね。まったく逆だと思います、つまり、そうだといいのですが。僕はファンの皆さんの支えを、いつも大切に思っています。映画を撮って、皆さんにそれを楽しく観てもらえることを願っています。全部が全部、うまくいくわけではありません。うまくいく映画もあれば、そうでもないものもあります。常にいい映画を撮ろうと努力するし、できる限りいい仕事をするように努めていますけどね。

時々振り返ってみるんです。「うわあ、演劇学校を卒業して、せいぜい5、6年しかたっていないのに、27歳でリドリー・スコット監督の映画に主演しただなんて・・・」って思うんです。なんだかいまだに、ちょっと自分をつねってみてるような感じなんです。だって、僕は今でも、自分のキャリアの第1章にいるような気がしていて、これまで数々の機会を与えられてきて、本当に、とてつもなく幸運だったと思っています。やっぱり、本当に僕は、その、幸運に感謝しているんです。でも、これから先、まだまだ長いこともわかっています—— 重要なのは実績だと思うんです、つまるところ。そして、これからもやるべきことがいっぱいあって、それがすごく楽しみです。

【原文】[▶](#)



# 対極にある役

[DL](#) [Track05](#)

記者：あなたはすでに名声を得、認められている役者です。いまだに学びの過程にいと感じていらっしゃるんですか？

ブルーム：ええ、もちろんです。ご冗談でしょう？　そうですよ。もし学んでいると感じなくなったら、そのときは心配になるでしょう。絶対に。間違いなく、今も学び続けています。まだまだ学ぶべきことはたくさんあります。そう、僕はこれまで、とても恵まれてきました。

この脚本を読んだのは、『トロイ』の撮影を終え、飛行機で戻ってくるときに、僕は憶病者の弟、パリス役を演じたところでした。もちろん、まだ映画は公開されていなくて、公開されるのはしばらく先のことだったのですが、僕はただもう、「すごい！」と思ったのです。脚本を読んで、「うわあ、これはいい」と思いました。別に、また剣を振り回す映画を探しているわけではないのですが、ブラッドの身のこなしを目の当たりにしましたし、ヴィゴ、エリック・バナ、ジョニーが、それぞれの映画で、このような役柄をこなすのを見てきたものですから、「わあ、リド（リー）に会って、どうなるかな」って。例のパリス役の対極の、素晴らしい役だと思いました。たとえバリアンが、不承不承のヒーローであってもね。彼は決して、『グラディエーター』的な、ラッセル・クロウ型のヒーローではないんです。この人物は、どちらかというとマカロニ・ウエスタンっぽい、セルジオ・レオーネ型のヒーローなんです。言いたいこと、わかりますよね――不承不承型ヒーロー、それがバリアンなんです。でも、「わあ、正反対ですごくやりがいのある役だ」と思いました。

[【原文】](#) [▶](#)



# 真の男になる

 **DL**  **Track06**

記者： 今後は「大人の男」を演じていかれるのですか、それとも・・・

ブルーム： 僕は本当にこの移行を遂げたかったんですよね、大人の男の役へと進みたかったんです。ですから、バリアンを演じること、真の男にすることが、僕にとってとても重要なことでした。そのために、必死でトレーニングをしました —— ウェートトレーニングを相当やって、最終的には、**15**ポンドから**20**ポンド（約7～9キログラム）、大体**20**ポンドぐらい体重を増やしましたし、食事の量も増やして、以前にもやったように、乗馬や剣を扱う訓練をして、とにかくその（「真の男」らしい）存在になろうと努力しました —— それでいて、本当はただの普通の男であるという、この人物像は残しながらね。民衆の代表、一人の鍛冶屋が、つまるところ、結局、エルサレムの民衆を守るためにそこにいるのです。

でも、そうです、そういう人物像を目指しました。素晴らしい衣装やメーキャップの —— スタッフ全員に助けられました。時間の経過によって、髭の具合も変えましたし、顔についた血や泥 —— そういったもの全体ですね。すべてが言ってみれば助けてくれました —— 本当に大人の男へと移行する上で。

【原文】 [▶](#)



# もう一人の自分

  07

記者：さて、今は『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』の続編2作の撮影に入っていらっしゃるということですね。2つの3部作に出演されることになるわけですね。

ブルーム：そうなんですよ、すごいことですよ！ 幸運以外の何物でもないですよ！

記者：まあ、運とは関係ないと思いますよ。

ブルーム：いえ、『エリザベスタウン』でキャメロン監督と一緒にお仕事できたのは、非常にラッキーでした。そう、現代の役柄、アメリカ人の役柄を演じることができて、すごくよかったです。ですが、僕はおそらく新たな章が、自分の・・・僕はいまだに、自分の役者としてのキャリアは始まったばかりだという気がしてい——間違いなく、いわば、第1クォーターにいるようなものなんですよ。そして、たまたま、こうした素晴らしい歴史大作の数々に出演してきたわけですが、別の、もっと軽い、普通でない側面、奇妙な性質が自分にはあると思っていて、それはおそらく、そう、ある意味で、『チャンピオン 明日へのタイトルマッチ』で少しは出ていたんですが、あの映画はあまり評判にならなかったものですから——でも、ひょっとすると『エリザベスタウン』でご覧いただけるかもしれませんね、どうなりますかね。本当に、これからですね。僕はただ、これからも学び続け、成長し続け、仕事をし続けて、願わくは、偉大な監督たちと仕事をする機会を得て、そして、自分を見失わないでいきたいですね。僕にとっては、それこそが大事なことです。

【原文】[▶](#)



# Vocabulary List

## A

- a body of work** ★= one's whole career、accomplishment、achievement。a body of ~ は「一連の～、大量の～」。
- albeit...** たとえ...でも、...にもかかわらず ★発音は [əlbɪt]。
- at the end of the day** 結局

## B

- be head (for~)** （～に向かって）進む、向かう
- blacksmith** 鍛冶屋

## C

- cowardly** 臆病な

## E

- embrace** 喜んで受け入れる
- endanger** 危険にさらす
- ensure** 確実にする、保証する
- epic** 大作、叙事詩的な映画

## F

- for the sake of ~** ~のために

## G

- go about one's daily life** 普通に生活する
- go down** 成功する

## H

- hang out** ぶらぶらする、ぶらぶらして時を過ごす

## I

- I would say ~** ~だと思う、私の意見では～だ
- intimidated** おじけづいた、萎縮した

## K

- keep it real** 自分を見失わない、自分の心に正直になる

## L

- lead** 主役

## P

- paparazzi** ババラッチ、（有名人を追い掛け回す）フリーのカメラマン
- place** 家、別荘
- play** 注目、関心
- polar opposite** 正反対
- pound** ポンド ★1 ポンドは約454グラム。15～20ポンドは6.8～9 キログラム。

## Q

- quarter** クォーター ★フットボールの1試合の時間を4等分した単位。
- quirky** 風変わりな、奇妙な

## R

- reflect** 回想する、思い起こす
- reluctant** いやいやながらの、不承不承の
- respectful** 敬意を示す、礼儀をわきまえた、尊重する

## S

- subsequently** 続いて、後に
- surly** 不機嫌な、無愛想な、ぶっきらぼうな

## T

- talk about ~** ~とはまさにこのことだ、まったくすごい～だ
- trilogy** 3部作

## U

- unobtrusive** 控えめな、遠慮がちな、慎み深い



## W

---

- walk off** ~    ～を立ち去る
- welcoming**    友好的な
- we'll see**    どうなることやら、成り行きを見守ろう、じきにわかるさ



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ブルームがモロッコで過ごしたのは撮影のためだった。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	モロッコでは、パパラッチの煩わしさを除けば、すべて快適だった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ブルームは、モロッコで一度だけ、通りを歩いていて怖い思いをしたと述べている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ブルームがスペインへ撮影で行ったときは、ファンが押し寄せ大きな騒ぎになったが、十分予想していたため適切に対処できた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ブルームは、スペインでの経験以降、ファンに対して無礼で不機嫌な態度を取るようになったと言っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ブルームは、演劇学校を卒業してから久しく幸運に恵まれなかったが、最近ようやくチャンスが回ってきたと感じている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	ブルームは他の役者からも学ぶことは多いという。インタビューの中で、ブラッド・ピットの身のこなし方もその例として述べている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ブルームは大人の男を演じるために、必死にトレーニングをし、食事の量も増やしたりした。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	Elizabethtownで、ブルームは現代アメリカ人の役柄を演じた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ブルームは今、役者としての自分のキャリアがいよいよ中盤に入ってきたことを自覚し、新たな役作りを目指す必要があると実感している。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ブルームがモロッコで過ごしたのは撮影のためだった。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	モロッコでは、パパラッチの煩わしさを除けば、すべて快適だった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	ブルームは、モロッコで一度だけ、通りを歩いていて怖い思いをしたと述べている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	ブルームがスペインへ撮影で行ったときは、ファンが押し寄せ大きな騒ぎになったが、十分予想していたため適切に対処できた。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	ブルームは、スペインでの経験以降、ファンに対して無礼で不機嫌な態度を取るようになったと言っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	ブルームは、演劇学校を卒業してから久しく幸運に恵まれなかったが、最近ようやくチャンスが回ってきたと感じている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	ブルームは他の役者からも学ぶことは多いという。インタビューの中で、ブラッド・ピットの身のこなし方もその例として述べている。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ブルームは大人の男を演じるために、必死にトレーニングをし、食事の量も増やしたりした。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	Elizabethtownで、ブルームは現代アメリカ人の役柄を演じた。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ブルームは今、役者としての自分のキャリアがいよいよ中盤に入ってきたことを自覚し、新たな役作りを目指す必要があると実感している。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>



## 用語解説

### Legolas Greenleaf

レゴラス・グリーンリーフ ★ブルームが「ロード・オブ・ザ・リング」3部作で演じた、エルフ族の、弓の名手。

[▶本文に戻る](#)

### *The Lord of the Rings* trilogy

「ロード・オブ・ザ・リング」3部作 ★アメリカ映画（2001年～'03年）。監督ピーター・ジャクソン。J・R・R・トールキン原作の『指輪物語』の映画化。完結編の『ロード・オブ・ザ・リング／王の帰還』は、11部門でアカデミー賞を受賞。

[▶本文に戻る](#)

### *Black Hawk Down*

『ブラックホーク・ダウン』 ★アメリカ映画（2001年）。監督リドリー・スコット。ソマリアの内戦に軍事介入していたアメリカ軍のヘリコプター、ブラックホークが撃墜され、壮絶な市街戦に巻き込まれる。実際の事件の映画化。

[▶本文に戻る](#)

### *Pirates of the Caribbean (The Curse of the Black Pearl)*

『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』 ★アメリカ映画（'03年）。監督ゴア・ヴァービンスキー。18世紀のカリブ海を舞台にした娯楽大作。

[▶本文に戻る](#)

### *Troy*

『トロイ』 ★アメリカ映画（'04年）。監督ウォルフガング・ペーターゼン。ギリシャ神話のトロイ戦争の映画化。

[▶本文に戻る](#)

### *Kingdom of Heaven*

『キングダム・オブ・ヘブン』 ★アメリカ映画（'05年）。監督リドリー・スコット。12世紀の十字軍遠征を題材にした物語。

[▶本文に戻る](#)

### Ridley (Scott)

リドリー（・スコット） ★（1937-）。イギリスの映画監督。代表作に『エイリアン』（'79年）、『ブレードランナー』（'82年）など。Rid はスコット監督の愛称。

[▶本文に戻る](#)



Eva (Green)

エヴァ（・グリーン） ★（1980-）。フランスの女優。『キングダム・オブ・ヘブン』でブルームと共演。  
[▶本文に戻る](#)

---



## Paris

パリス ★ブルームが『トロイ』で演じた役名。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Brad (Pitt)

ブラッド（・ピット） ★（1963-）。アメリカの俳優。『トロイ』でブルームと共演。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Viggo (Mortensen)

ヴィゴ（・モーテンセン） ★（1958-）。アメリカの俳優。「ロード・オブ・ザ・リング」3部作でブルームと共演。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Eric Bana

エリック・バナ ★（1968-）。オーストラリアの俳優。『トロイ』でブルームと共演。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Johnny (Depp)

ジョニー（・デップ） ★（1963-）。アメリカの俳優。『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』でブルームと共演。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Balian

バリアン ★ブルームが『キングダム・オブ・ヘブン』で演じた役名。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Gladiator

『グラディエーター』 ★アメリカ映画（2000年）。監督リドリー・スコット。家族を惨殺されたローマ帝国の武将が、剣闘士（グラディエーター）と  
な<sup>ふくしゅう</sup>って 復讐 を誓う。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Russell Crowe

ラッセル・クロウ ★（1964-）。ニュージーランドの俳優。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Sergio Leone

セルジオ・レオーネ ★（1929-89）。イタリアの映画監督。マカロニ・ウエスタンというジャンルを確立した。  
[▶本文に戻る](#)

---



## Cameron (Crowe)

キャメロン（・クロウ） ★（1957-）。アメリカの映画監督。代表作に『ザ・エージェント』（'96年）、『あの頃ペニー・レインと』（2000年）など。  
[▶本文に戻る](#)

---

## Elizabethtown

『エリザベスタウン』 ★アメリカ映画（'05年）。監督キャメロン・クロウ。出演キルスティン・ダンスト。  
[▶本文に戻る](#)

---

## The Calcium Kid

『チャンピオン 明日へのタイトルマッチ』 ★イギリス映画（'04年）。監督アレックス・デ・ラコフ。牛乳配達人（ブルーム）が、ひょんなことからボクシングのチャンピオンと試合をすることになる。  
[▶本文に戻る](#)

---



# 語注

## be headed (for~)

(〜に向かって) 進む、向かう

[▶ 本文に戻る](#)

## can be

★正しくは can give you。

[▶ 本文に戻る](#)

## fortress mentality

★fortress は「要塞<sup>ようさい</sup>、とりで」の意。fortress mentality は本来、「ほかからの攻撃を避けるために要塞の中にこもるような精神状態」「周囲の批判に過剰反応し、理論武装する状態」を指すが、ここでは文字どおり、物理的に「要塞の中で周囲から守られた状態にある」ということ。

[▶ 本文に戻る](#)

## walk off ~

〜を立ち去る

[▶ 本文に戻る](#)

## endanger

危険にさらす

[▶ 本文に戻る](#)

## embrace

喜んで受け入れる

[▶ 本文に戻る](#)

## to have movies to be made

★本来は、to have movies made、または movies to be made。

[▶ 本文に戻る](#)

## ensure

確実にする、保証する

[▶ 本文に戻る](#)

## go down

成功する

[▶ 本文に戻る](#)

## hang out

ぶらぶらする、ぶらぶらして時を過ごす

[▶ 本文に戻る](#)

## paparazzi

パパラッチ、(有名人を追い掛け回す) フリーのカメラマン

[▶ 本文に戻る](#)

## place

家、別荘

[▶ 本文に戻る](#)

## respectful

敬意を示す、礼儀をわきまえた、尊重する

[▶ 本文に戻る](#)

## unobtrusive

控えめな、遠慮がちな、慎み深い

[▶ 本文に戻る](#)

## welcoming

友好的な

[▶ 本文に戻る](#)







## how

★= that。口語的な表現。

[▶本文に戻る](#)

## What are you thinking at, when . . .

★at は不要。途中で表現を変えている。本来は "What do you think when that happens?" と言うべき。

[▶本文に戻る](#)

## experienced

★本来、had experienced と言うべき。

[▶本文に戻る](#)

## lead

主役

[▶本文に戻る](#)

## intimidated

おじけづいた、委縮した

[▶本文に戻る](#)

## subsequently

続いて、後に

[▶本文に戻る](#)

## go about one's daily life

普通に生活する

[▶本文に戻る](#)

## for the sake of ~

～のために

[▶本文に戻る](#)

## I would say ~

～だと思う、私の意見では～だ

[▶本文に戻る](#)

## happened

★本来、had happened と言うべき。

[▶本文に戻る](#)

## they

★I の言い間違い、あるいは the crew（撮影班）を意味していると思われる。ここでは前者として訳出した。

[▶本文に戻る](#)

## people'd

★= people would

[▶本文に戻る](#)

## be taken along with the flow

★本来、go with the flow（流れに身を任せる）という表現だが、ブルームは go with を be taken along with（連れて行かれる）に変えることで、「（自分の意思とはかかわりなく）流される」というニュアンスを出している。

[▶本文に戻る](#)

## families and, excited to be out

★and と言い掛けて取り消し、families excited または、families, and they were excited と言おうとしたと考えられる。

[▶本文に戻る](#)

## surly

不機嫌な、無愛想な、ぶっきらぼうな ★ハリウッドスターは売れると無愛想になるという一般的な印象から、記者は冗談でこう言っている。

[▶本文に戻る](#)

## reflect

回想する、思い起こす

[▶本文に戻る](#)



## It's still sort of pinching myself

★It's still like I'm sort of pinching、または I'm still sort of pinching のつもり。

[▶本文に戻る](#)

---

## count one's lucky stars

幸運に感謝する ★本来、thank one's lucky stars か、count one's blessings。ここでは2つの表現を混同してしまったものと考えられる。

[▶本文に戻る](#)

---

## a body of work

★= one's whole career、accomplishment、achievement。a body of ~ は「一連の～、大量の～」。

[▶本文に戻る](#)

---



## sure

★ブルームは[sɔ:]と発音しているが、正しくは[[ó:r]または[[úəɹ]。

[▶本文に戻る](#)

---

## this script

★『キングダム・オブ・ヘブン』の脚本のこと。

[▶本文に戻る](#)

---

## cowardly

憶病な

[▶本文に戻る](#)

---

## polar opposite

正反対

[▶本文に戻る](#)

---

## albeit . . .

たとえ...でも、...にもかかわらず ★発音は[əˈlbɪt]。

[▶本文に戻る](#)

---

## reluctant

いやいやながらの、不承不承の

[▶本文に戻る](#)

---

## spaghetti western

マカロニ・ウエスタン ★イタリア人製作の西部劇。

[▶本文に戻る](#)

---



## weight

重り ★正しくは weights。

[▶本文に戻る](#)

---

## pound

ポンド ★1 ポンドは約454グラム。15～20ポンドは6.8～9 キログラム。

[▶本文に戻る](#)

---

## try and be that presence

★= try to have that image (of a real man)

[▶本文に戻る](#)

---

## blacksmith

鍛冶屋

[▶本文に戻る](#)

---

## at the end of the day

結局

[▶本文に戻る](#)

---

## great costume and makeup --

★great costume and makeup people（素晴らしい衣装スタッフとメーキャップ・スタッフ）と言おうとしたと思われる。

[▶本文に戻る](#)

---

## time

★正しくは times。

[▶本文に戻る](#)

---



## trilogy

3 部作

[▶ 本文に戻る](#)

---

## talk about ~

～とはまさにこのことだ、まったくすごい～だ

[▶ 本文に戻る](#)

---

## quarter

クォーター ★フットボールの 1 試合の時間を 4 等分した単位。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## epic

大作、叙事詩的な映画

[▶ 本文に戻る](#)

---

## quirky

風変わりな、奇妙な

[▶ 本文に戻る](#)

---

## which will probably become, you know, which sort of came out

★you know を挟んで、which sort of came out に言い換えている。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## play

注目、関心

[▶ 本文に戻る](#)

---

## we'll see

どうなることやら、成り行きを見守ろう、じきにわかるさ

[▶ 本文に戻る](#)

---

## keep it real

自分を見失わない、自分の心に正直になる

[▶ 本文に戻る](#)

---





Nicole Kidman

写真 : Startraks/ アフロ







クールビューティーが「普通」にあこがれる可憐な魔女を好演

## Nicole Kidman

“I think the overall idea of the film is that to fall in love requires a little magic.”

「この映画全体のテーマは、恋に落ちるためには少しばかり魔法が必要だ、ということなんじゃないかしら？」

### Supervising Editor's Comment

全体的に強い癖はないが、①[ei]が[ai]に近くなる（トラック10のstrangest）、②語末や子音前の[r]が発音されない（同girl,learn）、③米音の[a:r]が[a:]になる（トラック11のharness）など、豪州訛りが随所に見られる。ただ、米国英語の影響も受けているせいか、これらは必ず現れるわけではない。

話し方は落ち着いていて、安心して聞ける。また、比較的短い発言で聞き手と交替するため、情報過多とならず聞き取りやすい。

Interview Data	
収録日	2005年6月5日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	普通
発音	やや訛りあり

ニコール・キッドマン

Nicole Kidman

1967年6月20日、アメリカ・ハワイ州生まれ。3歳の時に父親の出身地オーストラリアに帰国。地元でテレビや映画への出演を重ね、『デイズ・オブ・サンダー』（'90年）でトム・クルーズと共演。'90年12月にクルーズと結婚したが、のちに離婚。代表作に、『誘う女』（'95年、ゴールデン・グローブ主演女優賞受賞）、『めぐりあう時間たち』（'03年、同賞／アカデミー主演女優賞受賞）、『奥さまは魔女』（'05年）など。可憐な美女から大女優への階段を一步步つ上るニコール・キッドマンが、『奥さまは魔女』で演じた「2度目の魔女」について、映画界に入った当時のこと、そして歌って踊るペンギンの吹き替えに挑戦した『ハッピー・フィート』について、明快な口調で語る。



Nicole Kidman seems to be the busiest actress in Hollywood. In this interview, she talks about her latest film [\*Bewitched\*](#), her first time at a Hollywood studio, and various new projects she's been working on.



---

## Remaking *Bewitched*

DL Track10

用語解説 語注

---

**Reporter:** Was part of the attraction of doing this, that it was kind of a [release](#) for you to do a light movie [as opposed to](#) the heavy dramas that you usually do?

**Nicole Kidman:** Yeah, and also because I'd watched the series as a kid, and there seemed something quite fun, know, the idea of having watched something as a little girl and then being able to step into it as a woman and kind of pay [homage](#) to it.

**Reporter:** It is beloved by many generations.

**Kidman:** Yeah, well [I'm astounded at](#) how . . .

**Reporter:** Were you [hesitant](#)?

**Kidman:** Um, I mean I think you're always hesitant about any movie, so . . . I mean, everything that you [try do](#), whether it be [adapting](#) a novel or trying to do a remake of a TV series ---- in the strangest way, remaking a TV series has far less kind of [onus](#) on it than trying to do [Portrait of a Lady](#). But I think with the lessons you learn, is that you do not try to stay within the [confinements](#) of what's been set. And that's where I think [Nora](#) kind of [tackled](#) it quite well. That even though you're doing a remake, she was able to find another way of telling a story with this film.

**Reporter:** Almost everyone who was in the original series is no longer alive. In terms of doing a remake, was that a concern for you?

**Kidman:** Well, [Elizabeth Montgomery](#)'s husband is in the film. And he also directed a lot of the series, but he's a, an extra in, in one of the [things](#). But he would visit the set a lot, and I always felt slightly uncomfortable that, "Oh my God, he was looking at me thinking, 'She's not at all like her.'"

**Reporter:** Did you get a sense of what he was thinking?

**Kidman:** No, 'cause he was more just sort of coming to watch with his family and stuff like that.

translation ►



**Reporter:** This is the second time you've played a witch . . .

**Kidman:** I haven't ever, sort of, thought about it as . . . I mean, this was something very separate [to \*Practical Magic\*](#), it's not like there was some kind of [thread](#) there or anything.

**Reporter:** Are you [drawn to](#) fantasy characters? I suppose it allows you to use your imagination more than you can in other films.

**Kidman:** It's kind of nice to be able to, if [you're pissed off](#), walk through and blow up the [cappuccino](#) machine, and, make a dog jump into your arms and make [him speak in tongues](#). I think that that's sort of funny and cool. But at the same time, obviously, I think the concept is that everyone wishes they could do a little magic. And I think the [overall](#) idea of the film is that to fall in love requires a little magic.

**Reporter:** How hard is it to [strike](#) a [ladylike](#) pose on a [broomstick](#)?

**Kidman:** Um, they had a [harness](#). Oh, truly. You get harnessed on and then they lift it up. You're like flying and you're thinking, and you're saying, "Does this look OK?" "Cross your legs!" So it's a little difficult.

**Reporter:** Did you have to work on [the nose twitch](#) or did that come naturally to you?

**Kidman:** Oh no, I needed a mirror and I needed the [slow-mo](#) on the video, on the [VCR](#). And I would put her nose in slow motion and, and then I would put the mirror, and I would, kind of, try to [mimic](#) it. And my mom would say, "No, that wasn't very good, try again."

**Reporter:** If you could be a witch in real life, what would you use your power for?

**Kidman:** Um, well ---- to get heavy ---- I do a lot of [fund-raising](#) for women's cancer, so I probably would choose to [eradicate](#), not just women's cancers but all cancer, so. That would be a good thing.



# The Lights on Broadway

DL Track12

用語解説 語注

**Reporter:** I know you often go to plays; what was the last one you saw?

**Kidman:** Uh, [Light in the Piazza](#). And I'll watch the [Tonys](#) tonight. I've seen almost everything. Obviously, I love the theater, so being in New York, it's great.

**Reporter:** There's a scene in *Bewitched* where you and Will are kind of playing around on the [soundstage](#). I was wondering if you'd wanted to do that sort of thing when you first started making movies.

**Kidman:** Yeah. [There's times](#) when I would walk onto the studio [lot](#), and there [is](#) something magical. And I think you forget because, you know, you're doing it a lot these days. But I remember the first time I came to America and I walked onto the [Paramount](#) lot and I went, "Oh, so [this is like what it is!](#)" I mean, it inspires [awe](#). It just does. Because of the history, you know the people that have walked the same steps you've walked. And there's times now, especially in the evening, when you're walking through those places and there's that kind of beautiful twilight, and you're just going home when you can kind of feel the ghosts.

tanslation ▶



# A Singing Penguin

DL Track13

用語解説 語注

**Reporter:** What are you going to do next?

**Kidman:** Well, no, that's . . . I've just had a huge break.

**Reporter:** You did?

**Kidman:** Yeah, and now I'm [gonna](#) go away again when I finish this film, but I'm not saying where.

**Reporter:** Where did you go?

**Kidman:** I went to Australia. I [took my whole family away](#) for Christmas. And we always do a big Christmas holiday, but I now don't tell anybody where I go or what I do because it gets [publicized](#), and then I can't go back.

**Reporter:** Is there a musical for you [coming up](#)?

**Kidman:** I did this animated thing with [George Miller](#), and, uh, it was called [Happy Feet](#). So I got to sing a little bit. I'm a penguin ---- I hope a cute penguin.

**Reporter:** It sounds great.

**Kidman:** Very good, I mean he's obviously a huge talent, George, and he hasn't made a film for so long, so.

**Reporter:** What are you singing?

**Kidman:** Uh, just [bits and pieces](#). I'm a very small role. I'm a big penguin, but a small role. OK, from *Bewitched* to a penguin. Bye.

translation ▶

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Jeff Manning*



ニコール・キッドマンは、ハリウッドで最も多忙な女優のようです。このインタビューで彼女は、最新作『奥さまは魔女』について、また初めてハリウッドのスタジオに入った時のことや、携わっているさまざまな新しいプロジェクトについて、話してくれます。



## 『奥さまは魔女』のリメイク

DL Track10

記者：この役をやる魅力としては、いつも出演されているシリアスなドラマとは対照的な軽い映画をやることで気分が解放されるというようなこともあったのでしょうか？

ニコル・キッドマン：ええ、それと、このテレビシリーズを子どものころ見ていたものですから、なかなか楽しいことじゃないかと思ったんです・・・少女だったころに何かの番組を見ていて、大人になってからその世界に入り込んで、いわば敬意を表することができるという発想はね。

記者：多くの世代に愛されている番組ですからね。

キッドマン：そうですね、（すごく人気があるので）驚いているんです・・・

記者：ためらいはありましたか？

キッドマン：うーん、つまり、どんな映画をやるときでも、ためらいはあると思うんです、ですから・・・つまり、どんなことをやるにしても、それが小説の映画化であれ、テレビシリーズのリメイクの試みであれ——とてもおかしいことなんですけど、テレビシリーズのリメイクは、『ある貴婦人の肖像』をやろうとするのに比べると、はるかに、いわばプレッシャーが少ないんです。でも、教訓から言えると思うのは、既成の枠にとらわれないようにするべきだということです。そして、ノーラ（・エフロン）はそういう点で、とてもうまく取り組んだんじゃないでしょうか。リメイクでありながら、彼女はこの映画で、話を語る別の方法を見つけることができたのです。

記者：オリジナルのシリーズの関係者のほとんどの方が、すでに他界されています。リメイクを作るということに関して、その点は気になりましたか？

キッドマン：実は、エリザベス・モンゴメリーさんのご主人が、映画に出演されています。そして、彼はテレビシリーズの多くを監督なさった方でもあるのですが、数あるシーンのある一場面で、エキストラとして出演されているんです。でも、よく現場に来ていらつしやいました。私は、いつもちょつと落ち着かなくて、「ああ、どうしよう、私のことを見て、『彼女とは似ても似つかない』って思っただけでいいわ」と感じていました。

記者：彼がどう思っていたのか、おわかりになりましたか？

キッドマン：いえ、どちらかというと、ただご家族と一緒に見学しに来ているといった感じでいらしていましたから。

【原文】 [▶](#)



# 魔女の演技

 [DL](#)  [Track11](#)

記者：あなたが魔女を演じられたのは、今回が2度目ですが・・・

キッドマン：そういうふうには、何というか、考えたことはないですね・・・というのも何しろ、これは『ブラクティカル・マジック』とはまったく別物でしたし、何かつながりのようなものがあるわけではありませんから。

記者：ファンタジーの役柄には魅力を感じられますか？　ほかの映画に比べて、より想像力を働かせることができるのではないと思うのですが。

キッドマン：例えば、頭にきたときに、（部屋を）突っ切りながらカプチーノメーカーを爆発させたり、犬を自分の腕の中に飛び込ませたり、（ジャックに）訳のわからない言葉を話させたり、といったことができるのはちょっと楽しいですよ。そんなことができれば、面白いし、すてきだと思います。でも同時に、きっと、（この映画の）コンセプトは、誰だって少しばかり魔法が使えたらいいのにと願っている、ということでしょうね。そしてこの映画全体のテーマは、恋に落ちるためには少しばかり魔法が必要だ、ということなんじゃないでしょうか？

記者：ほうきにまたがって、上品なポーズを決めるというのは、どれほど難しいものですか？

キッドマン：えっと、固定用ベルトがあつたんです。あ、本当ですよ。縛り付けられて、それからスタッフが引き上げるんです。それで空中に浮かんでいるようにしながら、「これでおかしくない？」と思ったり言ったりして。「足を交差させて！」なんて言われたりね。ですから、なかなか大変でしたよ。

記者：例の鼻の動きは、練習が必要でしたか、それとも、自然にできたのですか？

キッドマン：とんでもない、鏡が必要で、ビデオ、VCRでスローモーションの動きを確認する必要がありました。彼女（テレビ版サマンサ）の鼻をスローモーションにして、それから鏡を目の前に置いて、ちょっとまねしてみるんです。すると母が、「駄目、いまいちだったわ、もう1回やってみて」という感じでした。

記者：現実に魔女になれたとしたら、その力を何のために使いますか？

キッドマン：うーん、そうですね―― まじめな話をすると―― 私は女性のがん（撲滅）のために資金を集める活動に力を入れているものですから、たぶん女性のがんに限らず、すべてのがんを撲滅することを選ぶのではないかと思います。それができたら素晴らしいでしょうね。

【原文】 [▶](#)



# ブロードウェーの輝き

 **DL**  **Track12**

記者：舞台をよくご覧になっていらっしゃるんですね。一番最近では、何をご覧になりましたか？

キッドマン：えっと、『ライト・イン・ザ・ピアッツァ』です。それから、今夜はトニー賞（授賞式）を見ます。ほとんどの作品を見ているんですよ。正真正銘の舞台好きなので、ニューヨークにいるのは最高です。

記者：『奥さまは魔女』の中で、あなたとウィルが、サウンドステージの中で遊び回っているような場面がありますね。映画に出演され始めたころ、あなたも、ああいうことをしたいと思われましたか？

キッドマン：ええ。撮影所によく歩いて行つた時期があります。そこには何か魔法のようなものがあつたんです。そして、そういう気持ちは忘れてしまうと思うんです、だって、そう、最近ではしょっちゅうそういう経験をしているわけですから。でも、私が初めてアメリカに来て、パラマウントのスタジオに足を踏み入れたとき、「うわあ、これが撮影所つものなのね！」って言ったことを覚えています。つまり、そこにいると畏敬の念がわくものなのです。本当にそうなんです。なぜなら、歴史がありますから。自分が歩いてきたのと同じ道を歩いてきた人たちがいるんだなって。そして今でもたまに感じるのが、特に夕方ですね、そうしたスタジオ内を歩いていると、そこには、あの美しいたそがれが広がっていて、家に帰る道すがらでも、影のような存在を、何というか、感じられるんです。

【原文】[▶](#)



# 歌うペンギン

 **DL**  **Track13**

記者：次は何をなさる予定ですか？

キッドマン：そうですねえ、それは・・・つい最近長い休暇を取ったところなんです。

記者：そうなんですか？

キッドマン：ええ、そして、この映画を終えたら、また出かける予定です。どこに行くかは言いませんよ。

記者：どこに行っていたらしたのですか？

キッドマン：オーストラリアに行ってきました。クリスマスに、家族全員を連れて行ったんです。私たちはいつでもクリスマス休暇を盛大にお祝いします。でも今は、どこに行くか、何をするのか、誰にも言わないようにしています。だって、世間に知れ渡ると、二度とそこには行けなくなってしまうものですから。

記者：近々、ミュージカルにご出演なさるご予定ですか？


キッドマン：ジョージ・ミラーさんと、アニメーション映画を1本やりました。そして、えっと、タイトルは、『ハッピー・フィート』です。それで、少し歌う場面がありました。ペンギンとして—— かわいいペンギンだといいいのですが。

記者：楽しそうですね。

キッドマン：最高ですよ、だって、間違いなく、ものすごい才能をお持ちですから、ジョージは。そして、ずいぶん長い間、映画を撮っていたらなかったわけですから。

記者：何を歌ってらっしゃるんですか？

キッドマン：えっと、（いろんな曲を）ちよつとずつ歌っているだけです。とっても小さな役なんです。大きいペンギンなんですけど、役は小さいんです。そう、『奥さまは魔女』からペンギンへ、というわけですね。それでは。

[【原文】](#) 



# Vocabulary List

## A

- adapt** （映画などに）改作する、脚色する
- as opposed to ~** ~と対照的に、~に対立するものとして
- awe** いけい いふ 畏敬、畏怖

## B

- be astounded at ~** ~にびっくり仰天する、~に驚嘆する
- be pissed off** 頭にくる、腹が立つ
- bits and pieces** 断片的なもの
- broomstick** ほうきの柄

## C

- cappuccino** カプチーノ ★あわ立てたミルクを加えたエスプレッソコーヒー。
- come up** 近づく
- confinement** 限定、制限

## D

- draw A to ~** Aを~に引き寄せる、Aを~に引き付ける

## E

- eradicate** 根絶する、撲滅する

## F

- fund-raising** 基金募集、寄付金集め

## H

- harness** 装着帯、固定用ベルト
- hesitant** ちゅうちょ ためらう、躊躇する
- homage** 尊敬、敬意

## L

- ladylike** しとやかな、上品な
- lot** 一区画、映画撮影場

## M

- mimic** まねる、模倣する

## O

- onus** 負担、責務
- overall** 全体的な

## P

- publicize** 公表する、公にする

## R

- release** 解放、救出

## S

- slow-mo** スローモーション ★= slow motion
- speak in tongues** 意味のわからない言葉を話す
- strike** （態度・姿勢を）とる

## T

- tackle** （~に）取り組む、（~を）つかまえる
- take ~ away** ~を連れ去る
- thread** 脈絡、筋

## V

- VCR** ビデオデッキ ★= video cassette recorder



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	キッドマンはインタビューの中で、自分の少女時代の夢について話している。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	キッドマンは子どものころ、「奥さまは魔女」のテレビシリーズを見ていた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	映画『奥さまは魔女』はテレビシリーズのリメイクであるため、監督もキッドマンも、できるだけオリジナルに合うように細心の注意を払った。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	今回の『奥さまは魔女』には、オリジナルのテレビシリーズの関係者は一人もいなかった。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	キッドマンは別の映画で魔女を演じたことがある。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ほうきにまたがったり、鼻を動かしたりする演技はなかなか難しかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	現実に魔女になれば、戦争撲滅のために魔法を使いたいとキッドマンは言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	キッドマンは映画に出演し始めたころ、自転車で撮影所に通っていた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	キッドマンは、クリスマスにこっそり一人でオーストラリアに行ってきた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	アニメーション映画の吹き替えをやったとき、キッドマンはペンギンを演じたが、少し歌う程度で重要な役柄ではなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	キッドマンはインタビューの中で、自分の少女時代の夢について話している。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	キッドマンは子どものころ、「奥さまは魔女」のテレビシリーズを見ていた。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	映画『奥さまは魔女』はテレビシリーズのリメイクであるため、監督もキッドマンも、できるだけオリジナルに合うように細心の注意を払った。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	今回の『奥さまは魔女』には、オリジナルのテレビシリーズの関係者は一人もいなかった。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	キッドマンは別の映画で魔女を演じたことがある。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ほうきにまたがったり、鼻を動かしたりする演技はなかなか難しかった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	現実に魔女になれば、戦争撲滅のために魔法を使いたいとキッドマンは言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	キッドマンは映画に出演し始めたころ、自転車で撮影所に通っていた。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	キッドマンは、クリスマスにこっそり一人でオーストラリアに行ってきた。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	アニメーション映画の吹き替えをやったとき、キッドマンはペンギンを演じたが、少し歌う程度で重要な役柄ではなかった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# 用語解説

## **Bewitched**

『奥さまは魔女』 ★アメリカ映画（2005年）。監督ノーラ・エフロン。出演ニコール・キッドマン、ウィル・フェレル、シャーリー・マクレーン。往年の人気テレビシリーズ「奥さまは魔女」（1964-72）をベースに、落ち目の俳優と、人間界に舞い降りてきた魔女の恋愛模様をコミカルに描く。  
[▶本文に戻る](#)

## **Portrait of a Lady**

『ある貴婦人の肖像』 ★イギリス映画（1996年）。監督ジェーン・カンピオン。出演ニコール・キッドマン、ジョン・マルコヴィッチ。ヘンリー・ジェームズ原作の長編小説の映画化。19世紀のヨーロッパを舞台に、キッドマン演じる主人公イザベルがさまざまな愛に揺れ動く姿を描く。  
[▶本文に戻る](#)

## **Nora (Ephron)**

ノーラ（・エフロン） ★（1941-）。アメリカの映画監督・脚本家。代表作に、『めぐり<sup>あ</sup>えたら』（'93年）、『ユー・ガット・メール』（'98年）など。脚本家として、『シルクウッド』（'83年）、『恋人たちの予感』（'89年）、『めぐり逢えたら』で3度アカデミー賞にノミネートされている。  
[▶本文に戻る](#)

## **Elizabeth Montgomery**

エリザベス・モンゴメリー ★（1933-95）。アメリカの女優。オリジナルのテレビシリーズ、「奥さまは魔女」（1964-72）で、主人公の魔女サマンサ役を演じた。  
[▶本文に戻る](#)



## Practical Magic

『プラクティカル・マジック』 ★アメリカ映画（1998年）。監督グリフィン・ダン。出演ニコール・キッドマン、サンドラ・ブロック。魔法の力を持つ姉妹の心のさずなや互いの恋模様を描くファンタジックな物語。

[▶本文に戻る](#)

---

## the nose twitch

例の鼻の動き ★テレビ版「奥さまは魔女」でサマンサが魔法を使うとき、呪文<sup>じゅもん</sup>を唱えたり、杖を振り回したりするのではなく、鼻をびくびくと動かすのがお決まりの仕草になっていたことを指している。

[▶本文に戻る](#)

---



## **(The) Light in the Piazza**

『（ザ・）ライト・イン・ザ・ピアッツァ』（原題） ★1953年のイタリアを旅する母と娘の物語を描いた、エリザベス・スペンサーの小説が原作の舞台。2004-05年度のトニー賞では、11部門にノミネートされ、6部門で受賞している。

[▶本文に戻る](#)

---

## **Tonys**

トニー賞 ★= Tony Awards。アメリカの演劇賞。

[▶本文に戻る](#)

---

## **Paramount (Pictures)**

パラマウントピクチャーズ ★アメリカの大手映画会社の一つ。

[▶本文に戻る](#)

---



## George Miller

ジョージ・ミラー ★（1945-）。オーストラリアの映画監督・脚本家。代表作に「マッドマックス」シリーズ（'79年、'81年、'85年）、『ベイブ／都会へ行く』（'98年）。

[▶本文に戻る](#)

## Happy Feet

『ハッピー・フィート』 ★オーストラリア映画（2007年3月17日日本公開予定）。監督ジョージ・ミラー。声の出演イライジャ・ウッド、ロビン・ウィリアムズ、ヒュー・ジャックマン、ニコール・キッドマンほか。南極を舞台に、音痴だがタップ・ダンスが得意なコウテイペンギンの子供、マンブル（ウッド）の奮闘を描いたミュージカル仕立てのCGアニメ。キッドマンは、マンブルの母親ノーマ・ジーンの声優として出演している。

[▶本文に戻る](#)



# 語注

## release

解放、救出  
[▶本文に戻る](#)

## as opposed to ~

～と対照的に、～に対立するものとして  
[▶本文に戻る](#)

## homage

尊敬、敬意  
[▶本文に戻る](#)

## be astounded at ~

～にびつくり仰天する、～に驚嘆する  
[▶本文に戻る](#)

## hesitant

ちゅうちょ  
ためらう、躊躇 する  
[▶本文に戻る](#)

## try do

★try and do、あるいは try doing のつもりと思われる。  
[▶本文に戻る](#)

## adapt

(映画などに) 改作する、脚色する  
[▶本文に戻る](#)

## onus

負担、責務  
[▶本文に戻る](#)

## confinement

限定、制限  
[▶本文に戻る](#)

## tackle

(～に) 取り組む、(～を) つかまえる  
[▶本文に戻る](#)

## things

★ここでは scenes (場面) の意味。  
[▶本文に戻る](#)



## to

★fromの方が一般的。

[▶本文に戻る](#)

## thread

脈絡、筋

[▶本文に戻る](#)

## draw A to ~

Aを～に引き寄せる、Aを～に引き付ける

[▶本文に戻る](#)

## be pissed off

頭にくる、腹が立つ

[▶本文に戻る](#)

## cappuccino

カプチーノ ★あわ立てたミルクを加えたエスプレッソコーヒー。

[▶本文に戻る](#)

## him

★ここでは、ウィル・フェレルが演じるジャックを指す。

[▶本文に戻る](#)

## speak in tongues

意味のわからない言葉を話す

[▶本文に戻る](#)

## overall

全体的な

[▶本文に戻る](#)

## strike

(態度・姿勢を)とる

[▶本文に戻る](#)

## ladylike

しとやかな、上品な

[▶本文に戻る](#)

## broomstick

ほうきの柄

[▶本文に戻る](#)

## harness

装着帯、固定用ベルト ★次の文の **harnessed** は動詞形の過去分詞形で、「結び付けられた」の意味。

[▶本文に戻る](#)

## slow-mo

スローモーション ★= slow motion

[▶本文に戻る](#)

## VCR

ビデオデッキ ★= video cassette recorder

[▶本文に戻る](#)

## mimic

まねる、模倣する

[▶本文に戻る](#)

## fund-raising

基金募集、寄付金集め

[▶本文に戻る](#)



## eradicate

根絶する、撲滅する

[▶ 本文に戻る](#)

---



## soundstage

サウンドステージ ★映画撮影のための防音スタジオ

[▶本文に戻る](#)

---

## There's times . . .

★正しくは There were times . . . 。その後に出てくる there's times . . . は、正しくは there are times . . . 。

[▶本文に戻る](#)

---

## lot

一区画、映画撮影場

[▶本文に戻る](#)

---

## is

★正しくは was 。

[▶本文に戻る](#)

---

## this is like what it is

★正しくは this is what it is like 。

[▶本文に戻る](#)

---

## awe

いけい いふ  
畏敬、畏怖

[▶本文に戻る](#)

---



## gonna

★= going to

[▶ 本文に戻る](#)

---

## take ~ away

～を連れ去る

[▶ 本文に戻る](#)

---

## publicize

公表する、公にする

[▶ 本文に戻る](#)

---

## come up

近づく

[▶ 本文に戻る](#)

---

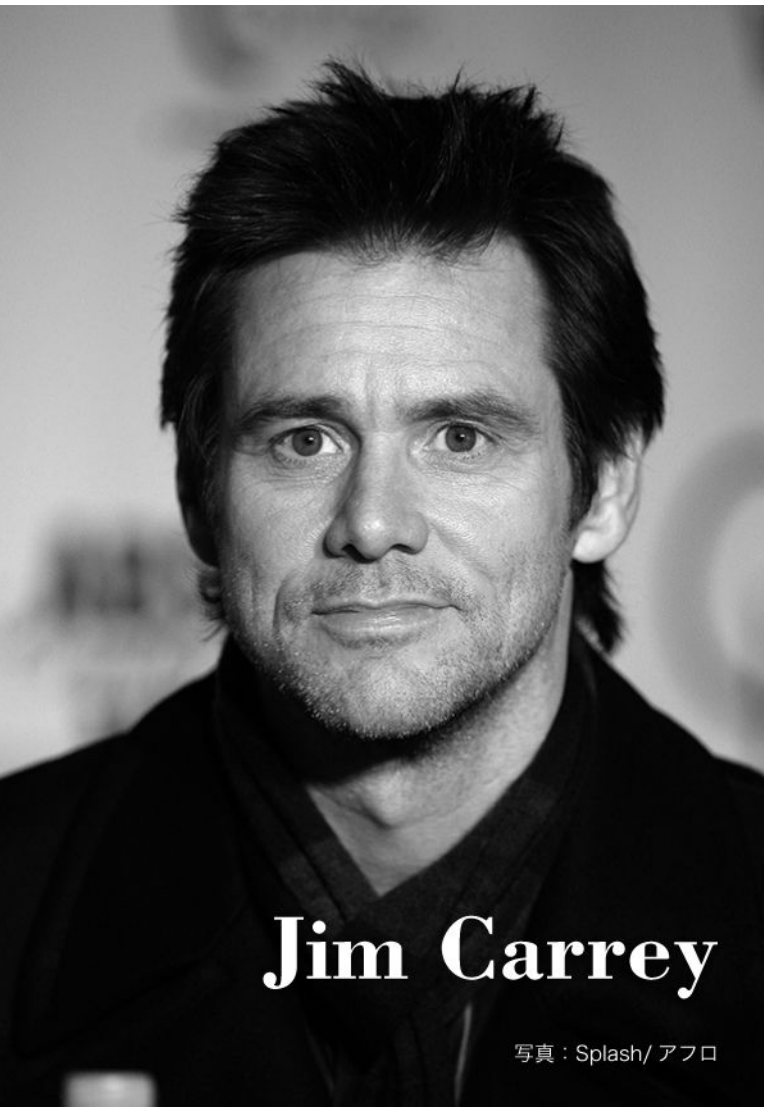
## bits and pieces

断片的なもの

[▶ 本文に戻る](#)

---





Jim Carrey

写真 : Splash/ アフロ







# Jim Carrey

“I don’t know how to define myself and hopefully I will never find out.”

「僕は自分自身をどう定義していいかわからないし、できれば一生知りたくないな」

## Supervising Editor’s Comment

発音は比較的明瞭だが、かなり早口で滑らかなため、音声の聞き取りだけでなく、大量の情報をどう処理するかが攻略のポイントとなる。そのためには、過去の出演作などの背景知識が必要だ。

また、このインタビューでは素直な答えが多いが、ユーモアのある人はよく意外なことやひねったことを言い出す。彼のような人物の場合、その辺も頭に入れておこう。

Interview Data	
収録日	2004年12月5日
収録地	ビバリーヒルズ（アメリカ）
スピード	速い
語彙	難しい
発音	明瞭

ジム・キャリー

Jim Carrey

1962年1月17日、カナダ・オンタリオ州生まれ。15歳からトロントのコメディークラブに出演、19歳でロサンゼルスに移る。テレビドラマ『In Living Color』で人気を博し、初主演映画『エース・ベンチュラ』（'94年）でスターの仲間入りを果たす。強烈な個性を持つコメディアンとしての面と、繊細な演技者としての面を併せ持つ。代表作に、『マスク』（'94年）、『トゥルーマン・ショー』（'98年）、『エターナルサンシャイン』（2004年）など。

変幻自在な役作りで、見る者を常に驚きと笑いで包むジム・キャリーが、狡猾な伯爵に扮した出演映画『レモニー・スニケットの世にも不幸な物語』について、「自分自身を演じること」について、アメリカ国籍を取得したことについて、彼一流の軽妙洒脱な話しぶりで語る。



Jim Carrey, one of the more famous comedic actors of our day, is known for his [versatile](#) acting skills. Here he talks about his latest film, [\*Lemony Snicket's A Series of Unfortunate Events\*](#), in which he transforms himself into the [cunning](#) and [dastardly Count Olaf](#), as well as various elements which reveal a part of this entertaining actor's life.



---

## Jim Carrey Playing Himself

DL Track16

用語解説 語注

---

**Reporter:** A pretty simple question -- I just wanted to ask you about the character, Count Olaf, how you created that. What elements were in there? Whether you were thinking of any [ham actors](#) in particular?

**Jim Carrey:** Yeah. Uh, [not particular](#). [Vocally](#) I was trying to get a kind of a little bit of an [Orson Wellesian kinda](#) thing going on, with [a sprinkle of Count Chocula](#) kinda thing. But you know, I mean [as far as the character goes](#) he was, you know, I was trying to [fashion](#) him [after](#), kind of like a [bird of prey](#). Or the type of bird that waits on the beach till the nest is unguarded, and then steals the eggs. You know? He's that guy. [Physically](#) I wanted to be like the books, like the illustrations from the books that kids are used to. But he turned out looking like my dad actually, which is really [freaky](#). Yeah, my family is constantly like, "[Man](#), [dude](#), we're seeing pictures. What are you doing, what are you doing, man?"

**Reporter:** You wore the costumes in rehearsals too?

**Carrey:** Yeah, you know, the makeup in a movie like this is such a great [odyssey](#), because, you know, first of all they're shaving my head off . . . it's like, you don't know what you're gonna get. And I did it for [Man on the Moon](#) and, it just is never comfortable to do, for no good reason. And I had the big, long [acrylic](#) fingernails that I had to walk around with and stuff like that. And I looked really freaky. And it's OK, because I have [license](#) to do that.

**Reporter:** Count Olaf's [specialty](#) is [impersonation](#). And you seem to like playing characters that require you to totally transform yourself. What about this transformation attracts you?

**Carrey:** I love transforming. I love it. It's like Christmas morning to me. When you get in the makeup [trailer](#) and you start [playing around with](#) things and [throwing pieces together](#). At one point we had a [Don King](#) wig on backwards [strapped](#) to the back of my head, and I was like, you know, I looked like a [frigging hood ornament](#) from a [Chevy](#) or something like, it was [weird](#). Uh, but we experiment. We [came up with](#) thirty different characters that didn't get in the movie and, I don't know. The whole process is exciting. It's such a fun thing to [masquerade](#), [period](#). You know, it's just a fun thing anyway. So, uh, there's that and, I don't know, just many different reasons to do it.

translation ►



## Two Jim Carreys

DL Track17

用語解説 語注

**Reporter:** Your career has really been distinguished by your earlier roles which were much more [bombastic](#) and sort of, [projected](#) outwards, and then your more recent ones were much more [subtle](#). Do you see this role as sort of a [synthesis](#) of those two things at the same time?

**Carrey:** I think the two me's are definitely meeting in the middle [in some respects](#) in this. And, I don't know, I just feel incredibly lucky to be able to [go all over the place](#). So I seem to have [tripped into a, a time](#) of my career, or whatever, that people rarely get to do . . . the [diversity](#) of roles that I'm doing. So I feel incredibly lucky. Uh, [that being said](#), it also is happening because I want it, and because I know that I have that side of myself to express and it's all part of it.

**Reporter:** So far, which movie [forced you to portray](#) your deepest emotions?

**Carrey:** I definitely think *Eternal Sunshine* was, uh . . . not only the depth of emotion and the feeling of loss that the character was going through but just the idea of being less [accessible](#), you know? As a person on film, to [hold back](#) completely and let the audience come to you was just a different kind of thing for me. I'm generally -- play fairly [colorful](#) characters who come out of the screen, and this one was inviting you to come in, you know. And it was different.

**Reporter:** You said that there are two Jim Carreys. Which one are we going to see from now on? The *Lemony Snicket* Jim Carrey? Or the *Eternal Sunshine* Jim Carrey?

**Carrey:** I will never, ever reveal my secret. Everybody seems to be really [fascinated](#) about who I really am. Or maybe they're just saying that. But I get that a lot, like, "Who are you?" I don't know how to define myself and hopefully I will never find out. I just wanna play every part as [they come](#) and do it in a really original way. That's all.

translation ▶



## Can Humor Save the World?

DL Track18

語注

**Reporter:** Do you think humor can save the world?

**Carrey:** Humor? Ah, no, but they can make it a little bit more [palatable](#), I think, you know what I mean? I don't [kid myself](#) into thinking I'm changing the world with this stuff, but I know that people can enjoy themselves for a couple of hours. I do get into that [head space](#) sometimes. I don't really wanna, like, just kind of walk through the world and not do anything with this [gift](#) -- whatever it is. And so, yeah, for me when I really [sit down and think about](#) it, sometimes I'm a [Band-Aid](#), and sometimes I'm a little bit of the [cure](#), but it's not gonna change the world.

**Reporter:** You obviously like to entertain people a lot, so what are the things in life that make you laugh the most?

**Carrey:** I laugh at mistakes, you know? I laugh when people [screw up](#), basically. That's my [big thing](#). 'Cause I can kinda see a joke coming [from a while away](#). So [sitcoms](#) to me I just sit there and go "[gank](#)-gank-gank, and [one plus two is . . .](#)" and all that stuff a lot of times. The things that really get me laughing are ridiculous things, when people make mistakes, when people, you know, fall off their [horse](#).

tanslation ▶



## People's Expectations

DL Track19

用語解説 語注

**Reporter:** So tell me. You've been on [60 Minutes](#). You've been talking about [Prozac](#), about quitting drugs, quitting alcohol. What's the worst thing about being a [celeb](#)?

**Carrey:** The worst thing about being a celeb, is -- you know I talked about this on [Oprah](#) -- just the idea of sometimes, and it's probably true of many [walks of life](#), you know, that you can't be yourself all the time. Sometimes you have to [toe the line](#) and do what you have to do, you know? I like this movie but it's -- plenty of times when people have to [go out and do](#) this kind of thing when they don't even like the movie, you know, and so you just like hate yourself afterwards. You're just like, "Ah, I hate myself, I'm such a liar." You know? It's hard. I'm not saying any of mine, but expectation is a hard thing to deal with -- people's expectations, sometimes. But life is good, you know. Life is good.

tanslation ▶



# Dual Citizenship

DL Track20

語注

**Reporter:** Um, you just became an American citizen. I know you're very clear that it's [dual citizenship](#). And I just want to . . .

**Carrey:** Well I have to be . . .

**Reporter:** I know.

**Carrey:** . . . because Canadians, they'll be very hurt if I didn't say that I love that place. Obviously I don't wanna like [negate](#) where I come from. It's a beautiful place and beautiful people, so.

**Reporter:** I wondered when you first decided that you wanted to be an American citizen, and do you feel different now that you are one?

**Carrey:** Wow, I feel so powerful on the world stage. I mean the [germ](#) of it basically has been for years I've been here, so . . . Elections come by and things like that and things that I should be involved in, because I actually do contribute . . . you know, that made me wanna be a part of it. I have a daughter, who's a California girl. And so I wanna share that with her.

And I love this country. I think it's a great country. I think, at the very least, [the ideal](#) of this country is [intact](#) and beautiful. The [execution has a little bit to be desired](#) right now, but I think it's a beautiful idea, America, and it is a beautiful place with people who know what they like and are confident and give you confidence when you [set out on](#) a journey and you say this is what I wanna be and they [go](#), "OK." And there's something about the way Americans [mythologize](#) themselves and have confidence in themselves that I really love.

translation ►

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Jack Merluzzi*



当代きつての名コメディ俳優の一人、ジム・キャリーは、その多才な演技力で知られています。今回、彼は、狡猾<sup>こうかつ</sup>で卑劣なオラフ伯爵に変身した最新映画『レモニー・スニケットの世にも不幸せな物語』の話や、愉快的俳優である自分の人生を垣間見せてくれる、さまざまな事柄について語ってくれます。



# 自分自身を演じる

 **DL**  **Track16**

記者：非常に単純な質問です ― オラフ伯爵というこの登場人物について伺いたかったのですが、この役をどのようにしてつくり上げたのでしょうか？　どんな要素が入っていたのですか？　誰か特定の演技過剰な俳優を思い浮かべていらっしゃいましたか？


ジム・キャリー：そうですね。まあ、特に誰かを思い浮かべていたわけではありません。声は、オーソン・ウェルズ的な感じを少しばかりと、カウント・チョキユラ風味をほんのちょっぴり加えてみました。ですがまあ、この人物に関して言うと、<sup>もうきん</sup>猛禽類のようなものを参考にして役作りをしました。つまり、巣が無防備になるまで浜辺で待ち構えていて、卵を盗むようなタイプの鳥です。わかります？　この男はそういうやつです。外見は、原作に似せたいと思いました、子どもたちが見慣れた本の挿絵どおりにね。ところが実際には、彼の姿はうちの父親そっくりになったんです、これは本当に怖いですよ。そう、うちの家族はいつもこうですよ、「おい、おまえ、おれたちは映画を見るぞ、何してるんだ？　何してるんだよ、え？」ってね。

記者：リハーサルでも衣装を着けていたんですか？

キャリー：そうですね、この手の映画のメイクには実に膨大な手間暇がかかります。というのも、まずは僕の髪をすっきりそり落として・・・これからどうなるかわかったもんじゃないって感じです。『マン・オン・ザ・ムーン』でもやりましたが、気持ちのいいものじゃありませんね、理由はうまく言えませんが。さらに、付けたまま動き回らなければならない大きな長いアクリル製のつめだとか、そういったものもあります。おかげで、見るも恐ろしい姿になりましたよ。でも大丈夫、僕にはそうしていいというお許しが出ているんです。

記者：オラフ伯爵の特技は変装です。あなたも、ご自分をすっきり変えてしまわなければならないような役柄を演じるのがお好きなのですね。こうした変身の魅力はどこにあるのでしょうか？

キャリー：変身は大好きですよ。大好きです。僕にとってはクリスマスの朝みたいなものです。メイク用のトレーラーに入ると、その辺のものをいじくり回したり、あれこれ組み合わせたりし始めるんです。ある時、ドン・キングのかつらを僕の後頭部に逆さまに留めたら、まるで、シボレーか何かのおかしなボンネット飾りみたいになって、すごく変でしたよ。でも、実験するわけです。僕らは、映画には使われなかったけれど、**30**ものさまざまなキャラクターを考え出しました。何て言えばいいのかな。その一連の過程すべてがわくわくするんです。仮装するのはすごく楽しいことです、それが結論。とにかく、ただ楽しいんです。まあ、それはありますが、わかんないな、とにかく、変身するにはいろんな理由があります。

[【原文】](#) 



## 2人のジム・キャリアー

 **DL**  **Track17**

記者：あなたのキャリアは、初期の、かなり大げさに外に発散する役柄で非常に名高かったわけですが、比較的最近の役柄はもつとずっと繊細ですよ。今回の役柄は、この2つを一度に、ある意味合体させたものとお考えですか？

キャリアー：この役柄では、確かに幾つかの意味で、2人の僕が中間地点で出会っていると思います。それに何というか、いろいろな役を演じられるのは信じられないくらいラッキーだと感じています。どうやら僕は自分のキャリアとでもいうべきものの中で、ほかの人がめったに到達できない段階に至ったみたいです・・・演じる役の多様性に関して。だからものすごくラッキーだと感じています。まあ、とはいえ、こうなったのは自分が望んでいるからでもあるし、自分の中に表現すべきそういう側面があることがわかっているからでもあるし、そういうのもみんな仕事の一部ですからね。

記者：これまでで最も深い感情表現をする必要があったのはどの映画ですか？

キャリアー：間違いなく『エターナルサンシャイン』だと思います・・・主人公が経験していた感情の深さや喪失感だけでなく、取っ付きにくい人物であるという着想からしてもね。映画の登場人物で、自分は完全に（感情を）抑えて、観客にこちらに近寄ってきてもらうなんて、僕にとっては勝手の違うことでした。僕は通常——その、スクリーンから飛び出してくるような、かなり派手な役を演じていますが、この役は観客を中に招き入れていました。そこが違いましたね。

記者：2人のジム・キャリアーがいるとおっしゃいましたね。今後はどちらを拝見することになるのでしょうか？『レモニー・スニケット』的ジム・キャリアーでしょうか？『エターナルサンシャイン』的ジム・キャリアーでしょうか？

キャリアー：僕の秘密は絶対に教えませんよ。誰もが本当の僕に興味津々のようです。まあ、口先だけかもしれませんがね。でも、「あなたはどんな人？」といった質問をよく受けます。僕は自分自身をどう定義していいかわかりませんし、できれば一生知りたくありません。来た役を一つひとつ演じたいだけです、それも本当に独自の演じ方でね。それだけです。

【原文】[▶](#)



# ユーモアは世界を救うか？

 **DL**  **Track18**

記者：ユーモアで世界を救うことができますか？

キャリー：ユーモアで？　いえ、そうは思いませんが、ユーモアがあれば世界をちょっとだけ心地良くすることはできると思いますよ、わかるでしょ？　こんなもの（ユーモアのある映画）で世界を変えようなんて思い違いはしちゃいませんが、観客が2時間ばかり楽しく過ごせることは知っています。確かに、時々そんな妄想に入り込むことはありますがね。世界を巡り歩いていながら、この才能を――それが何であれ――使わずにいるなんてことは、とてもしたくはありません。だから、そう、時折しみじみそんなことを思っ、自分のことをバンドエイドだとか、少しばかり救いになっているとか時々考えることはありますが、それで世界が変わるわけはありません。

記者：言うまでもなくあなたは人を楽しませるのがとてもお好きなのですが、この世であなたご自身を一番笑わせるのはどんなことですか？

キャリー：僕は間違いに笑いますね。基本的に、人がへまをしでかしたときに笑います。それが僕のツボですね。だって僕には、（ここで）ジョークを言うんだろ？　な、というのがはつきり見えてしまうものですから。だからシチュエーションコメディなんて僕にとっては、座って見ていると「ガクッガクッガクッ、1足す2は・・・」てなことにしょっちゅうなります。僕が本当に笑ってしまうのは、バカみたいなことです、人が間違いをしでかしたり、馬から落ちたり、といったときです。

【原文】[▶](#)



# 世間の期待

[DL](#) [Track19](#)

記者：教えてください。あなたは『60ミニッツ』に出演されましたね。抗うつ剤に関する話や、薬物を断ったこと、アルコールを断ったことについて話をなさっていました。有名人でいることで、一番嫌なことは何でしょう？

キャリー：有名人でいることで一番嫌なことは—— これは『オブラ・ウィンフリー・ショー』でも話しましたが—— 時によつて、まあどんな職業でもおそらくそうなのでしょうが、常にあるがままの自分ではいられないということです。時には義務に従い、やらなきゃいけないことをやらなきゃいけない、ということですよ。僕はこの映画が好きですよ、でも—— 役者って、好きでもない映画なのに、こういったこと（映画のPRのために記者会見を開くこと）をしなければならない場合がよくあって、後で自己嫌悪に陥ったりしますよね。「あーあ、自分が嫌になるよ、僕は太うそつきだ」というふうに。でしょ？ つらいですよ。どれも僕のことじゃないですよ、でも期待に応えるのは大変なことです—— 世間からの期待は、時にね。でも人生は楽しいですよ。人生は楽しい。

[【原文】](#) [▶](#)



# 国籍を2つ得た今

 [DL](#)  [Track20](#)

記者：アメリカ市民におなりになったばかりですね。二重国籍だということははっきりさせていらっしゃいますよね。お尋ねしたいのは・・・

キャリー：そうしなきゃいけないんです・・・

記者：でしょうね。

キャリー：・・・だって、カナダの皆さんは、僕があ国を好きだと言わなかったら、ひどく傷つくでしょうから。当然、僕だって出身地を否定するようなことはしたくありませんよ。きれいな土地だし、すてきな人たちですからね。

記者：アメリカ市民になりたいと初めて決意なされたのはいつで、そしてそうなられた今、違ったふうに感じていらっしゃるかどうか伺いしたいのですが。

キャリー：うん、この世界で大きな力を持つてるような気がするね。実は、その気持ちの芽生えはこの国に住んで長く感じていました・・・。それに、選挙も近付いてきたし、そういうことが、参加すべきことがいろいろとあって、だって僕は実際ちゃんと貢献してますから・・・つまり、そういったことから僕も仲間入りしたくなったんです。僕には娘がいて、彼女はカリフォルニアっ子です。だから彼女と同じ立場を分かち合いたいですし。

それに僕はこの国が大好きなんです。素晴らしい国だと思います。少なくとも、この国の理想は健全で美しいと思います。実行面は今はまだちょっと改善の余地ありますが、考え方は素晴らしいですよ、アメリカは。それにここは、好みがはっきりしていて、自信にあふれていて、目的に向かって進み始めてこういうふうになりたいんだと話すと、「よし」と言って、自信を与えてくれる人たちの住む、すてきな国です。それにアメリカ人が自分たちを神格化して自信を持つ態度には何か引き付けられるものがあって、僕はすごく好きなんです。

【原文】[▶](#)



# Vocabulary List

## A

- a sprinkle of** ~ ほんの少量の～、ごくわずかの～
- accessible** (人が) 近付きやすい、話し掛けやすい、愛想のいい
- acrylic** アクリルの
- after** ~ ～に倣って、～をまねて
- as far as ~ go** ～について言えば、～に関する限り

## B

- bird of prey** もうきん 猛禽、肉食鳥
- bombastic** 大げさな、仰々しい

## C

- cunning** 悪賢い、ずるい
- cure** 回復、救済

## D

- dastardly** 卑劣な、ひきょう者の
- diversity** 多様性、相違

## E

- execution** 実行、遂行

## F

- fascinate** 興味をそそる
- fashion** (～を) 作り上げる、(～を) 形成する
- frigging** ひどい、めっちゃめちな
- freaky** 奇妙な、怖い、異常な

## G

- germ** 発生段階、芽生え
- gift** 授かった能力、才能
- go** 言う
- go out and do** ～するための努力をする、わざわざ～する

## H

- ham actor** 演技過剰の俳優、大根役者
- head space** (妄想的な) 考え方 ★ = space in my head
- hold back** 言わずにおく、自制する

## I

- impersonation** 人まね、成り済まし
- in some respects** 幾つかの点で、ある意味で
- intact** 健全な、傷のない

## K

- kid oneself** 思い違いをする、甘い考えを持つ

## M

- masquerade** 仮装する
- mythologize** 神話化する

## N

- negate** 否定する、打ち消す

## O

- odyssey** 長い遍歴、知的探究、大叙事詩

## P

- palatable** 口当たりのいい、快い、心地良い
- play around with** ~ ～をもてあそぶ
- project** 投影する、演じる

## S

- screw up** ヘマをしでかす、大失態を見せる
- set out on** ~ ～に出発する



- sit down and think about ~** ~についてじっくり考える
- specialty** 専門、得意芸
- strap** 固定する
- subtle** 繊細な、かすかな
- synthesis** 合成、統合

T

---

- that being said** とはいうものの
- throw ~ together** ~を素早く組み合わせる
- toe the line** 義務に従う、務めを果たす

V

---

- versatile** 多才な、万能の、器用な
- vocally** 声に関して

W

---

- walk of life** 社会的地位、職業
- weird** 奇妙な、風変わりな



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ジム・キャリーと言えば、悲劇俳優の第一人者である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	キャリーは、自分が演じたオラフ伯爵の声を、自分の父親の声に似せて演出した。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	キャリーはリハーサルでも衣装を着けて演じる。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	変身するのはとにかく楽しい。メイクなどに膨大な時間はかかるが、仕上がったときは何とも興奮する、とキャリーは言っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	2種類のジム・キャリーがいて、今後どちらのジム・キャリーを演じていくかについては、自分の中では決めているが公表はしないと言っている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	キャリーは、ユーモアとは一時的な楽しさを演出するのみならず、世の中を変える力も持ち備えていると考えている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	キャリーを一番笑わせるのは、人がへまをしたときであるという。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	有名人で一番嫌なことは、常にあるがままの自分でいられないことだと多くの有名人は言うが、キャリーはそうは感じていない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	キャリーはアメリカ生まれだが、カナダの美しさに魅かれて、カナダの市民権を取った。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	キャリーは、アメリカという国の理想や、人々の自信を持つ態度が好きだと言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions				難易度	Yes	No
1	ジム・キャリーと言えば、悲劇俳優の第一人者である。			A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	キャリーは、自分が演じたオラフ伯爵の声を、自分の父親の声に似せて演出した。			C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	キャリーはリハーサルでも衣装を着けて演じる。			A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	変身するのはとにかく楽しい。メイクなどに膨大な時間はかかるが、仕上がったときは何とも興奮する、とキャリーは言っている。			B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	2種類のジム・キャリーがいて、今後どちらのジム・キャリーを演じていくかについては、自分の中では決めているが公表はしないと言っている。			C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	キャリーは、ユーモアとは一時的な楽しさを演出するのみならず、世の中を変える力も持ち備えていると考えている。			B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	キャリーを一番笑わせるのは、人がへまをしたときであるという。			A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	有名人で一番嫌なことは、常にあるがままの自分でいられないことだと多くの有名人は言うが、キャリーはそうは感じていない。			B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	キャリーはアメリカ生まれだが、カナダの美しさに魅かれて、カナダの市民権を取った。			B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	キャリーは、アメリカという国の理想や、人々の自信を持つ態度が好きだと言う。			B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# 用語解説

## **Lemony Snicket's A Series of Unfortunate Events**

『レモニー・スニケットの世にも不幸せな物語』 ★アメリカ映画（2004年）。監督ブラッド・シルバーリング。出演ジム・キャリー、メル・ストリープ、ジュード・ロウ。レモニー・スニケット作の人気童話「世にも不幸なできごと」シリーズの映画化。両親を亡くし遺産を相続した兄弟が、次々と苦難に見舞われる冒険物語。

[▶本文に戻る](#)

## **Count Olaf**

オラフ伯爵 ★ジム・キャリーが『レモニー・スニケットの世にも不幸せな物語』で演じる人物。遺産欲しさに子どもたちの命を狙う。怪しげな劇団を主宰し、変装を得意とする。

[▶本文に戻る](#)

## **Orson Wellesian**

オーソン・ウェルズ風の ★オーソン・ウェルズ（1915-85）はアメリカの俳優。監督・製作・脚本を担当し、出演もした『市民ケーン』（'41年）でアカデミー脚本賞を受賞。そのほかの代表作に『第三の男』（'49年）、『オーソン・ウェルズのおセロ』（'52年）など。

[▶本文に戻る](#)

## **Count Chocula**

カウント・チョコキュラ ★アメリカの食品メーカー General Mills 社製シリアルの販促用キャラクター。ドラキュラ伯爵風。

[▶本文に戻る](#)

## **Man on the Moon**

『マン・オン・ザ・ムーン』 ★アメリカ映画（1999年）。監督ミロス・フォアマン。出演ダニー・デビート、コートニー・ラブ。35歳で ようせつ 夭折 した実在のコメディアン、アンディ・カウフマンの生涯を描く伝記映画。キャリーはこの作品でゴールデン・グローブ賞コメディ／ミュージカル部門の主演男優賞を受賞した。

[▶本文に戻る](#)

## **Don King**

ドン・キング ★（1931-）。モハメド・アリやマイク・タイソンなどの試合を手掛けたボクシングのプロモーター。逆立てた髪型がトレードマーク。

[▶本文に戻る](#)



**Eternal Sunshine (of the Spotless Mind)**

『エターナルサンシャイン』 ★アメリカ映画（2004年）。監督ミシェル・ゴンドリー。出演ケイト・ウィンスレット、キルスティン・ダンスト。けんか別れた恋人が手術で自分に関する記憶を消去していたことにショックを受けた主人公（キャリア）が、自らもその手術を受けて体験する心的風景を描く。

[▶本文に戻る](#)

---



## 60 Minutes

『60ミニッツ』 ★アメリカ CBS テレビの報道ドキュメンタリー。1968年以来続く長寿番組。

[▶本文に戻る](#)

---

## Prozac

プロザック ★抗うつ剤の商標名。

[▶本文に戻る](#)

---

## (The) Oprah (Winfrey Show)

『オブラ（・ウィンフリー・ショー）』 ★黒人の女性司会者、オブラ・ウィンフリー（1954-）がホストを務めるトークバラエティー番組。

[▶本文に戻る](#)

---



## 語注

### versatile

多才な、万能の、器用な  
[▶ 本文に戻る](#)

### cunning

悪賢い、ずるい  
[▶ 本文に戻る](#)

### dastardly

卑劣な、ひきょう者の  
[▶ 本文に戻る](#)

### ham actor

演技過剰の俳優、大根役者  
[▶ 本文に戻る](#)

### not particular

★ not in particular のつもり。  
[▶ 本文に戻る](#)

### vocally

声に関して  
[▶ 本文に戻る](#)

### kinda

★ = kind of  
[▶ 本文に戻る](#)

### a sprinkle of ~

ほんの少量の～、ごくわずかの～  
[▶ 本文に戻る](#)

### as far as ~ go

～について言えば、～に関する限り  
[▶ 本文に戻る](#)

### fashion

(～を) 作り上げる、(～を) 形成する  
[▶ 本文に戻る](#)

### after ~

～に倣って、～をまねて  
[▶ 本文に戻る](#)

### bird of prey

もうきん  
猛禽、肉食鳥  
[▶ 本文に戻る](#)

### physically

身体的に  
[▶ 本文に戻る](#)

### freaky

奇妙な、怖い、異常な  
[▶ 本文に戻る](#)

### man

おい ★気軽な呼び掛け。  
[▶ 本文に戻る](#)



## dude

よお ★気軽な呼び掛け。

[▶本文に戻る](#)

## odyssey

長い遍歴、知的探究、大叙事詩

[▶本文に戻る](#)

## acrylic

アクリルの

[▶本文に戻る](#)

## license

特別に許可されていること、例外的自由 ★ I have license to do = I'm allowed / free to do

[▶本文に戻る](#)

## specialty

専門、得意芸

[▶本文に戻る](#)

## impersonation

人まね、成り済まし

[▶本文に戻る](#)

## trailer

トレーラー、移動住宅 ★映画のロケでは、楽屋として使われる。

[▶本文に戻る](#)

## play around with ~

~をもてあそぶ

[▶本文に戻る](#)

## throw ~ together

~を素早く組み合わせる

[▶本文に戻る](#)

## strap

固定する

[▶本文に戻る](#)

## frigging

ひどい、めっちゃめっちゃな

[▶本文に戻る](#)

## hood ornament

ボンネットに付ける飾り

[▶本文に戻る](#)

## Chevy

(車の) シボレー ★ = Chevrolet。Chevy の発音は[[évi]。

[▶本文に戻る](#)

## weird

奇妙な、風変わりな

[▶本文に戻る](#)

## come up with ~

~を思い付く、~を発見する

[▶本文に戻る](#)

## masquerade

仮装する

[▶本文に戻る](#)

## period







## **bombastic**

大げさな、仰々しい

[▶本文に戻る](#)

---

## **project**

投影する、演じる

[▶本文に戻る](#)

---

## **subtle**

繊細な、かすかな

[▶本文に戻る](#)

---

## **synthesis**

合成、統合

[▶本文に戻る](#)

---

## **in some respects**

幾つかの点で、ある意味で

[▶本文に戻る](#)

---

## **go all over the place**

★字義どおりに訳すと「至る所に行く」となるが、ここでは「いろいろな役を演じる」と訳出した。

[▶本文に戻る](#)

---

## **tripped into a time**

★ = arrived at a time

[▶本文に戻る](#)

---

## **diversity**

多様性、相違

[▶本文に戻る](#)

---

## **that being said**

とはいうものの

[▶本文に戻る](#)

---

## **forced you to portray**

★ has forced ...の方が文法的により適切。portray は「描き出す、表現する、演ずる」。

[▶本文に戻る](#)

---

## **accessible**

(人が) 近付きやすい、話し掛けやすい、愛想のいい

[▶本文に戻る](#)

---

## **hold back**

言わずにおく、自制する

[▶本文に戻る](#)

---

## **colorful**

華やかな、派手な、生き生きした

[▶本文に戻る](#)

---

## **fascinate**

興味をそそる

[▶本文に戻る](#)

---

## **they come**

★直前の every part を受けるので、本来は it comes となる。

[▶本文に戻る](#)

---



## palatable

口当たりのいい、快い、心地良い

[▶本文に戻る](#)

## kid oneself

思い違いをする、甘い考えを持つ

[▶本文に戻る](#)

## head space

(妄想的な) 考え方 ★ = space in my head

[▶本文に戻る](#)

## gift

授かった能力、才能

[▶本文に戻る](#)

## sit down and think about ~

~についてじっくり考える

[▶本文に戻る](#)

## Band-Aid

(ばんそうこの商標) バンドエイド、応急処置、一時的な対応

[▶本文に戻る](#)

## cure

回復、救済

[▶本文に戻る](#)

## screw up

へまをしでかす、大失態を見せる

[▶本文に戻る](#)

## big thing

大事なこと、肝心な点

[▶本文に戻る](#)

## from a while away

★ see ~ from a mile away (～がはっきりわかる、～を敏感に察する) のつもりで from a while away と言ってしまったと思われる。

[▶本文に戻る](#)

## sitcom

シチュエーションコメディ、シットコム、連続放送コメディ ★ = situation comedy

[▶本文に戻る](#)

## gank

★ここでは「ガクッ」という擬態、あるいは「何言ってんだよ」とあきれた気持ちを表す。

[▶本文に戻る](#)

## one plus two is

1 足す 2 は ★ 答えや結果が明らかに見えているものの例え。

[▶本文に戻る](#)

## horse

★正しくは horses。

[▶本文に戻る](#)



## celeb

著名人、有名人 ★ = celebrity

[▶ 本文に戻る](#)

---

## walk of life

社会的地位、職業

[▶ 本文に戻る](#)

---

## toe the line

義務に従う、務めを果たす

[▶ 本文に戻る](#)

---

## go out and do

～するための努力をする、わざわざ～する

[▶ 本文に戻る](#)

---



## dual citizenship

二重国籍

[▶本文に戻る](#)

---

## negate

否定する、打ち消す

[▶本文に戻る](#)

---

## germ

発生段階、芽生え

[▶本文に戻る](#)

---

## the ideal

★ the ideals のつもりと思われる。

[▶本文に戻る](#)

---

## intact

健全な、傷のない

[▶本文に戻る](#)

---

## execution

実行、遂行

[▶本文に戻る](#)

---

## has a little bit to be desired

少しばかり望む余地がある、望まれる部分が多少残っている ★ = is a bit less than desirable 。 A leaves a lot to be desired. (Aには遺憾な点が多い) の形でよく使われる表現。

[▶本文に戻る](#)

---

## set out on ～

～に出発する

[▶本文に戻る](#)

---

## go

言う

[▶本文に戻る](#)

---

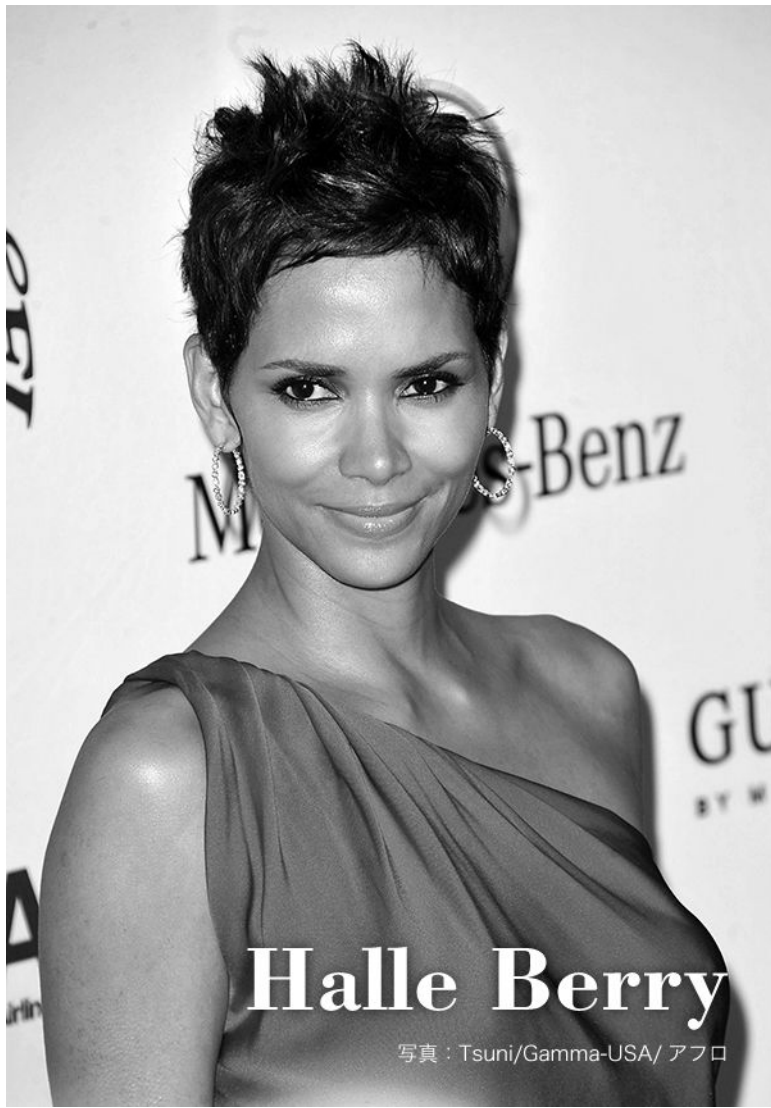
## mythologize

神話化する

[▶本文に戻る](#)

---





Halle Berry

写真：Tsun/Gamma-USA/ アフロ







オスカー女優が語る癒やし、逆境、カタルシス

# Halle Berry

“What might seem draining to someone else is the joy of it for me.”

「ほかの人の目には、精神をすり減らしているように映るかもしれないことも、私にとっては喜びなのよ」

## Supervising Editor's Comment

彼女の話す英語には、アフリカ系アメリカ人特有の訛りはない。やや早口だが、発音は明瞭で音の崩れも少ない。文体も平易で話も具体的だ。物静かに話すため、押し付けがましさがない。全体的に聞き取りやすく、わかりやすい英語である。

なお、Halleの発音は[hæli]だ。「ハル」ではなく「ハリー」のほうが原音に近い。

Interview Data	
収録日	2003年10月26日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	明瞭

ハル・ベリー

Halle Berry

1966年8月14日、アメリカ・オハイオ州生まれ。準ミス・アメリカに選ばれた後、モデル、テレビドラマ主演を経て、『ジャングルフィーバー』（'91年）で映画デビュー。『X-メン』（2000年）などを経て『チョコレート』（'02年）で有色人種の女性として初のアカデミー主演女優賞に輝く。そのほかの代表作に『ソードフィッシュ』（'01年）、『007／ダイ・アナザー・デイ』（'02年）、『キャットウーマン』（'04年）など。『チョコレート』で黒人女性初のアカデミー主演女優賞を受賞した後も、積極的に新しい役柄に挑戦し続けるハル・ベリーが、『キャットウーマン』や『ゴシカ』で演じた役柄について、人生について、母親への思いについて語る。落ち着いた話しぶりが彼女の魅力を感じさせるインタビュー。



After winning an [Academy Award](#) in 2002, Halle Berry has been [daringly](#) playing roles of great variety. Here she talks about [Catwoman](#), her current film, [Gothika](#), whose DVD has just been released and the guidance she received from her mother.



**Reporter:** Halle, a lot of us are looking forward to seeing you as Catwoman. Can you talk about the attraction to that? And did you ever [dress up as](#) Catwoman as a child? Or are you going to wear the mask in this movie? And what do you, what do you tell us about it?

**Halle Berry:** Um, OK, yeah, I did dress up as Catwoman -- as an adult, actually, like about [five Halloweens ago](#). And, I do wear a mask in [this one](#). And what I like a lot about this script is that it [harkens back to](#) the Catwomen of the past. Like we're not presenting that I am the only Catwoman. I'm one of nine Catwomen. We believe [there are nine catwomen in this life](#), and I'm one of them. I'm gonna be the sixth or the fifth one. And so, there are scenes where they talk about, "Yeah, you know, that really great Catwoman on the East Coast," which [is supposed to be Michelle Pfeiffer](#). You know, so it [leaves room for us to appreciate](#) the ones of the past and also make a space for this new Catwoman version which is mine, who's a little more 2004. The costume is a little bit more sexy than the costumes of the past, she's a little bit more urban. Um, and [hopefully](#) we'll find a right [tone](#) for her that will make her like the other ones, but somehow different at the same time.

tanslation ▶



**Reporter:** [Mathieu](#) said he [got the biggest kick out of](#) taking [two beautiful women](#) and [trashing](#) them.

**Berry:** He loved it. He loved it, and we did too. Yeah, I think it's really [cathartic](#) to not to have to worry about your looks, especially in a time and in an industry that [it's, sometimes it becomes](#) all about that. It's nice to say, "Hey, it's really not all about that for us."

**Reporter:** Because I know in sessions like this, we've talked about how much fun it is to [dress up](#) . . .

**Berry:** It is. And I don't think you can enjoy dressing up if you don't really dress down. And you can't enjoy really dressing down if you don't really dress up. You know, I think that's how -- it's like [if you can't](#) really feel pain if you haven't felt joy. So I think it's the same [theory](#) in a way.

**Reporter:** Why did you personally request that [Robert Downey Jr.](#) be [cast](#)?

**Berry:** I just think he's one of this generation's finest actors. You know, and I think, like everybody, for some reason, [there's](#) those people that no matter how many times they [screw up](#), you still have an [affinity](#) for them, because [deep down](#) you know that they're a [good soul](#) that's struggling with [the disease that just has them in their grasp](#). And I think everybody wants to try to always give him a chance, and he's a good guy. He's a good guy.

tanslation ▶



# I Want to Try New Things

DL Track25

用語解説 語注

**Reporter:** I'd like to ask you about changing your look. You became such a[n] [archetype](#) with your short hair. And it was with you for a while. And now you have a completely different look. What is your feeling on [reinventing](#) yourself, or moving forward?

**Berry:** I think just [boredom](#). You know, it's boring having short hair [all your life](#). You can't do much with it. And I think as I change and as I grow, [I wanna try new things, different things, and, um, really not a lot of thought really goes into it](#). It's just how I'm feeling at the time, and I've changed my hair several times throughout the course of my career, but it seems that the short hair is what became [synonymous](#) with me. But I've had different kinds of hair always, really.

**Reporter:** Your roles have been very emotionally [draining](#), and really, the character you bring them to form [in such true light](#). Is there ever [a need](#) for you to just say, "OK, my next one will be a comedy, because this is so much that I've put [on my plate](#), like -- ?"

**Berry:** Um, I haven't [had the luxury in my career really to say](#), "OK, now I'm gonna do this and now I'm gonna do that." I kind of just [go with](#) when I get material that [comes my way](#) that I really like. I never think about the draining part of it, because what might seem draining to someone else is the joy of it for me. It seems draining but it's really cathartic for me. [At the end of the day](#), physically I might feel tired, and a [good](#) week of rest will heal that. But the actual work of it is what I really love to do, and it's cathartic. I get to work through some of my own real-life issues -- most of my own real-life issues through my work. So I look forward to doing it.

**Reporter:** Doesn't [that little gold man](#) give you a little bit of a, uh, you know, kind of a, [he walks in the room ahead of you](#) even in some cases, and don't you get a chance to, uh, [pick and choose](#)?

**Berry:** But he's so new. I've only had him like a little over a year and a half. [In] my 12-year career, I've never had that luxury. Only recently am I starting to have an ability to say, "OK, now I'd like to do something like this, and now I'd like to do something" -- but that's just so new for me. I haven't really experienced that too long.

translation ▶



## What Gives Me Positive Karma

DL Track26

用語解説 語注

**Reporter:** Halle, are you a [spiritual](#) person? And if so, what kind of keeps you [grounded](#) and gives you positive [karma](#) with all of the stuff that usually goes on?

**Berry:** . . . That goes on. Really spiritual, very grounded. I have a really grounded mother that has always been, um, very [supportive](#) of me, and always reminding me that we're all here with a [purpose](#). And [as a kid](#), she used to always ask me at least -- sometimes it used to [drive me crazy](#) -- she'd always ask me, "OK, what do you think your purpose is?" Like, "Why are you here?" I'm like, "Mom, you just asked me that last week. Hasn't changed." But she was always forcing me to really [investigate](#) why I'm here, and what [was I meant to do](#) here, and what am I learning while I'm here.

And I think throughout my life there've been times when I haven't been able to [latch onto](#) that [philosophy](#) as [readily](#) as I would've liked to, but [all in all](#) that's sort of been the philosophy of my life, and I believe that we're here for a reason. We deal with the [downs](#) because they're [obstacles](#) put in our way to force us to grow. And without those, we never can really feel joy fully if we haven't really been, sort of, to those valleys.

**Reporter:** When you were talking about your mother earlier, I'm just wondering, has your appreciation for her changed now that [you've been a mother](#)?

**Berry:** Oh, yeah. I did that before I became a mother, you know. When I left home and [moved out on my own](#), I said, "How do you live Mom? How do you [make it](#)?" Like, "How do you . . ." Yeah, I've always appreciated her, though. It's not just now that I'm a mother. I've always known. And she's moving out here to California with me now. So I feel like, as she's getting older, like now, I get to take care of her, you know, and that's a really good thing.

translation ▶

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Brian Peck*



2002年にアカデミー賞を受賞してからというもの、ハル・ベリーは非常にバラエティーに富んだ役柄を大胆に演じています。今回、彼女は最新映画『キャットウーマン』と、DVDが発売されたばかりの『ゴシカ』、そして母親から受けた教えについて語ってくれます。



# 『キャットウーマン』

 [DL](#)  Track23

記者： ハル、私たちの多くがあなたのキャットウーマンを拝見するのを楽しみにしています。その魅力についてお話しいただけますか？　子どものころ、キャットウーマンの扮装したことがありますか？　この映画の中でそのマスクをかぶられるのですか？　それについて何かお話しいただけますか？

ハル・ベリー： ええ、いいですよ。そう、確かにキャットウーマンの扮装をしました —— 実は、大人になってから、確か5年ほど前のハロウィーンのときに。そして、この映画でももちろんマスクを着けます。この脚本でとても気に入っているところは、過去のキャットウーマンたちを思い起こさせてくれるということです。私を唯一のキャットウーマンとして見せるわけではなくて、私は9人のキャットウーマンのうちの1人なんです。この映画の中ではこの世に9人のキャットウーマンがいて信じられていて、私はそのうちの1人。たぶん6番目か5番目ですね。それで、映画の中で、人々が「そうだ、ほら、東海岸にいる例のすごい美人のキャットウーマン」と話す場面があるんですが、それはミシェル・ファイファーのことなんです。こうして、先輩たちを称賛する余地も残されているし、私が演じる今回の新版キャットウーマンの居場所もできるわけです。今回はちょっとばかり**2004年**風です。コスチュームは過去のものより少しだけセクシーで、キャットウーマンも少しだけ都会的になりました。ですから、ほかのバージョンと似ているけれども同時にどこか違うという、ちょうどいい雰囲気を出せるといいんですけど。

【原文】 [▶](#)



# 『ゴシカ』

 [DL](#)  [Track24](#)

記者：マシュー（・カソビッツ監督）は、美女2人を撮影してボロボロに壊すのが一番楽しかったと話しています。

ベリー：楽しんでましたね。彼も心から楽しんでましたし、私たちも楽しかったです。そう、思うに、見た目に気を使う必要がないというのは実に気持ちがいいものです、時としてそれがすべてになってしまう時代と業界にあつてはなおさら。「ねえ、私たちにとっては本当に、それがすべてじゃないのよ」と言えるのは気持ちがいいわ。

記者：このような会見で、ドレスアップするのがすごく楽しいというお話をしたことがあるのを覚えているのですが・・・

ベリー：楽しいですね。同時に、すごくカジュアルな服装をすることがなければ、ドレスアップする楽しみも味わえないと思うんです。また、ちゃんとドレスアップすることがなければ、本当にカジュアルな服装をする楽しみも味わえません。まあ、思うにそれは—— 喜びを感じたことがなければ本当の痛みもわからない、というのと似ています。つまり、ある意味で、同じ理屈だと思います。

記者：なぜ、個人的にロバート・ダウニー Jr. が出演することを希望されたのですか？

ベリー：それは単純に、彼がこの世代で最も優れた俳優の一人だと思うからです。まあ、それに私の考えでは、誰でもそうでしょうが、どういうわけか、何度失敗を繰り返してもやはり憎めない人というのがいて、それというのも、私たちは心の底で、彼らが自分たちをがっかりとつかまえている病気と闘っている善人だということがわかってるからなんです。それに、誰もがいつも彼にチャンスを与えようとしているように思えます。だって、彼はいい人なんです。いい人ですよ。

【原文】[▶](#)



# 新しいことを試してみたい

 [DL](#)  [Track25](#)

記者：外見を変えることについてお伺いします。あなたはショートヘアの理想なお手本のようになられました。そして、しばらくの間そうでしたが、今はすっかりイメージチェンジされましたね。自分を作り直すことや、前に進んでいくことをどう感じていらっしゃるでしょうか？


ベリー：とにかく飽きてしまうんですね。ずっとショートヘアでいるのは退屈ですよ。ショートだと大して工夫のしようもないですからね。それに私は、自分の変化や成長に合わせて、新しいこと、いろいろなことを、あまり考え込まずに試していきたいと思っています。ただ単純にそのとき自分がどう感じているかということなんです。これまで（女優としての）キャリアの中で何度も髪型を変えてきたんですよ。でも、どうやらショートヘアは私とイコールになってしまったみたいです。でも私は、これまでずっといろいろな髪型にしてきたんですよ、本当は。

記者：あなたがこれまで演じてきた役柄は、精神をすり減らすようなもので、そして本当に、あなたはそういった役柄をとってもリアルに演じていらっしゃる。あなたにとって、「よし、今回の仕事は重過ぎたから次はコメディーにしよう、例えば——」と言いたくなることはありますか？

ベリー：私のキャリアの中で、「さて、今度はこれをやろう、そして今度はあれをやろう」なんて言えるようなぜいたくができた試しは実際ないんですよ。本当に気に入った素材が手元に来たらオーケーを出すくらいなものです。精神をすり減らすという部分については考えもみません。というのも、ほかの人の目には精神をすり減らしているように映るかもしれないことも、私にとっては喜びだからです。精神をすり減らしているように見えるでしょうが、私にとっては、まさにカタルシスを与えてくれるんです。結果的に、肉体的な疲れを感じるかもしれませんが、それはゆっくり1週間も休めば治ります。それより、仕事そのものが心から好きなので、気持ちが洗われるんです。自分の実生活の問題のうちの幾つかも解決できてしまうんです—— 仕事を通じて、実生活のほとんどの問題をね。ですから、役を演じるのを楽しみにしています。

記者：例の小さな金色の人（オスカー像）が、少し融通をつけてくれないんですか、何というか、例えば、場合によっては彼が先に立って製作室に入っていき、あなたが（役柄を）えり好みできることはないのですか？

ベリー：でも、彼はまだ来たばかりですからね。彼を手にして1年半ちょつとにしかありません。12年間仕事をしてきて、そんなぜいたくができたことはありません。やつと最近になって言えるようになってきました、「そうね、今度はこんなのをやってみたいな、今度は何かやってみたいわ」って—— でも、それは私にとってまだまだ目新しいことなんです。そんなに長い経験があることじゃありません。

[【原文】](#) 



# 前向きになる秘訣

**DL** **Track26**

記者：ハルさん、あなたは精神主義的な人ですか？　そうだとしたら、言ってみれば浮き足立たず、いつも起こっているさまざまな事態に前向きな雰囲気に対処できるひけつ  
秘訣は何ですか？

ベリー：・・・起こっている事態にね。私はとても精神主義的で、地にしっかり足が着いています。私には、私をいつも支えてくれて、いつも私たちは誰でも目的があつてこの世にいるのだということを私に思い出させてくれる、とても地に足の着いた母がいます。子どものころ、母はいつも私に尋ねました、とにかく ―― 時に嫌になるくらい ―― いつもこう尋ねました、「いいこと、あなたの目標は何だと思う？」と。「あなたはなぜこの世にいるの？」という感じで。私はもう「ママ、それ先週も聞いたわ。変わってないって」という感じで。それでも母はいつも、なぜ自分がここにいるのか、ここで何をすべきなのか、ここにいる間に何を学んでいくのかをちゃんと深く掘り下げようと、私にしつこく言っていました。

そして、この半生において、その哲学を思うようにはすんなり理解できなかったときもあつたのですが、総じていえば、これが私の人生哲学だつたと思います。そして私は、私たちは理由があつてこの世にいるのだと信じています。私たちは逆境に立ち向かいますが、それは逆境とは私たちを否応なく成長させるために行く手に立ちふさがっている障害だからです。そしてそういうものがなければ、私たちは本当に、心から喜びを感じることはできません。そういう谷に陥つたことがなければね。

記者：先ほどお母様のお話をなさいましたが、ちょっとお聞きしたいと思います、ご自身が母親になってからお母様への感謝の念に変化はありましたか？

ベリー：ええ、そうですね。自分が母親になる前から感謝はしていました。私が家を出て一人暮らしを始めたときも、「暮らし向きは怎なの？　ママ、どんなふうにやつてるの？」と言っていました。「どうしてる・・・？」という感じで・・・そうです、でも、いつもずっと感謝していました。自分が母親になつたからではありません。常に感じていました。母は今度、このカリフォルニアに引っ越してきて、私と同居します。ですから私の気持ちとしては、母が老いつつある今、自分が母の面倒を見られるようになって、それはとてもうれしいことです。

【原文】[▶](#)



# Vocabulary List

## A

- affinity** 親近感、好ましさ
- all in all** 総じて、全体的に
- all one's life** ずっと
- archetype** 模範、手本

## B

- be meant to do** ～することになっている、～すべきである
- be supposed to be** ～ ～であることになっている
- boredom** うんざりさせるもの

## C

- cast** 配役する ★過去・過去分詞も同形。
- cathartic** カタルシスの、浄化作用のある、気持ちをすっきりさせる ★発音は [kəθɑːrtik]。
- come one's way** ～の手に入る、～に転がり込む

## D

- daringly** 大胆不敵に、勇敢に
- deep down** 心の底では、根底では
- down** （複数形で）逆境、不遇
- draining** （気力や体力などを）すり減らすような、疲弊させるような
- dress up as** ～ ～の扮装<sup>ふんそう</sup>をする
- drive** ～crazy ～をいらいらさせる

## G

- get a kick out of** ～ ～を大いに楽しむ、～を享受する
- go with** ～ ～に同意する、～を（納得のいくものとして）選び取る
- good** たっぷりの、丸ごとの
- good soul** いい人、善人
- grounded** 地に足の着いた、基礎のしっかりした

## H

- harken back to** ～ ～を思い起こさせる ★ = hark back to ～
- have the luxury to do** ～する余裕がある、～するわがママが許される
- hopefully** ～ 願わくは～、～だろうと期待する

## I

- in true light** 本当の姿が見えるように、あるがままで
- investigate** 探求する、掘り下げて調べる

## K

- karma** カルマ、業、（人の持つ）独特の雰囲気

## L

- latch onto** ～ ～を理解する
- leave room for A to do** A に～する余地を残す、A に～させてくれる ★ = allow A to do
- lift up** ～ ～（元気など）を奮い起こす

## M

- make it** やっていく、暮らしていく
- move out on one's own** 家を出て独り暮らしを始める、独り立ちする

## O

- obstacle** 障害
- on one's plate** やるべきことを抱えて

## P

- philosophy** 考え方、持論
- pick and choose** えり好みする、上等のものばかり選ぶ

## R

- readily** すぐに、容易に
- reinvent** 一から作り直す

## S



- spiritual** 精神主義的な、宗教的な
- supportive** 協力的な、支えとなる
- synonymous** 同義の、同一視される

T

---

- theory** 理論、理屈
- tone** 雰囲気、スタイル
- trash** ボロボロにする、完全に壊す



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ハル・ベリーは子どものころにキャットウーマンの扮装をしたことがある。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	この映画のストーリーの中では、キャットウーマンは1人ではなく複数いることになっている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ベリーのキャットウーマンは、過去のものよりセクシーで都会的である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ベリーは、ドレスアップとドレスダウンする楽しみは、喜びと痛みを経験するのと似たところがあると言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ベリーは、シンプルなショートヘアが好きで、それに飽きることはない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ベリーが髪型を変えるときは、気分ではなく、自分が置かれた状況をよく考えてから決める。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	ベリーは、演じる役柄については、自分に向いていると思われるものだけを妥協せずに厳選してきた。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	周囲の人はベリーのことを精神主義的とか哲学的だというのが、彼女自身はそうは思っていない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ベリーは子どものころ、自分の母親に、何を目標として、なぜこの世にいるのか、と繰り返し聞いていた。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	「人は理由があつてこの世にいる」というのがベリーの信条だ。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ハル・ベリーは子どものころにキャットウーマンの扮装をしたことがある。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	この映画のストーリーの中では、キャットウーマンは1人ではなく複数いることになっている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ベリーのキャットウーマンは、過去のものよりセクシーで都会的である。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ベリーは、ドレスアップとドレスダウンする楽しみは、喜びと痛みを経験するのと似たところがあると言う。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ベリーは、シンプルなショートヘアが好きで、それに飽きることはない。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	ベリーが髪型を変えるときは、気分ではなく、自分が置かれた状況をよく考えてから決める。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	ベリーは、演じる役柄については、自分に向いていると思われるものだけを妥協せずに厳選してきた。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	周囲の人はベリーのことを精神主義的とか哲学的だというのが、彼女自身はそうは思っていない。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	ベリーは子どものころ、自分の母親に、何を目標として、なぜこの世にいるのか、と繰り返し聞いていた。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	「人は理由があつてこの世にいる」というのがベリーの信条だ。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# 用語解説

## Academy Award

アカデミー賞 ★アメリカ映画芸術科学アカデミーの会員投票によって選ばれる、世界で最も権威のある映画賞。毎年3月に、前年1月～12月に公開された作品を主な対象として決定される。ベリーは2001年度作品『チョコレート』で主演女優賞を受賞した。

[▶本文に戻る](#)

## Catwoman

『キャットウーマン』 ★アメリカ映画（2004年）。監督ピトフ。人気映画「バットマン」シリーズの敵役キャットウーマンが主役の作品。企業の秘密を目撃し殺害された女性が、セクシーなキャットウーマン（ベリー）となってよみがえる。

[▶本文に戻る](#)

## Gothika

『ゴシカ』 ★アメリカ映画（'03年）。監督マシュー・カソビッツ。女子刑務所の精神科病棟を舞台に、少女の幽霊を見てしまった精神科医（ベリー）が、身に覚えのない夫殺しの罪で収容され、恐ろしい体験をする。

[▶本文に戻る](#)

## there are nine catwomen in this life

★9という数は、"A cat has nine lives and a woman has nine cat's lives."（ネコは9つの命を持ち、女はネコ9匹分の命を持つ）ということわざが基になっている。

[▶本文に戻る](#)

## Michelle Pfeiffer

ミシェル・ファイファー ★（1957-）。アメリカの女優。『バットマン・リターンズ』（'92年）でキャットウーマンを演じた。代表作に『危険な関係』（'88年）など。

[▶本文に戻る](#)



## Mathieu (Kassovitz)

マシュー（・カソビッツ） ★（1967-）。フランスの映画監督・脚本家・俳優。『ゴシカ』の監督。『カフェ・オ・レ』（'93年）で監督デビュー。代表作は『クリムゾン・リバー』（2000年）。また、俳優として『フィフス・エレメント』（'97年）、『アメリ』（2001年）などに出演。

[▶本文に戻る](#)

## two beautiful women

★『ゴシカ』の主演、ハル・ベリーとベネロベ・クルスのこと。

[▶本文に戻る](#)

## Robert Downey Jr.

ロバート・ダウニー Jr. ★（1965-）。アメリカの俳優。'80年代にテレビ番組『サタデー・ナイト・ライブ』でコメディアンとして活躍。『チャーリー』（'92年）のチャップリン役でアカデミー主演男優賞ノミネート、英国アカデミー主演男優賞受賞。『ゴシカ』では、主人公の精神科医（ベリー）を愛し苦悩する同僚医師を演ずる。そのほかの出演作に『レス・ザン・ゼロ』（'87年）、『ナチュラル・ボーン・キラーズ』（'96年）、『相続人』（'97年）など。麻薬不法所持で逮捕歴があり、人気テレビドラマ『アリー・myラブ』出演中にも薬物問題を起こして途中降板している。

[▶本文に戻る](#)

## the disease that just has them in their grasp

★上記ロバート・ダウニーJr.も患った麻薬中毒を指す。have ~ in one's grasp は「～をがっちりつかまえる」。

[▶本文に戻る](#)



## that little gold man

★アカデミー賞受賞者に授与される金メッキのオスカー像を指す。

[▶本文に戻る](#)

---

## he walks into the room ahead of you . . .

★アカデミー賞受賞者というステータスが先に立って（都合をつけてくれる）、という意味。

[▶本文に戻る](#)

---



## you've been a mother

★ベリーは、ミュージシャンの元夫エリック・ベネイと、彼の前妻との間の娘を、自分の養子に迎えて育てている。

[▶本文に戻る](#)

---



## 語注

### daringly

大胆不敵に、勇敢に  
[▶ 本文に戻る](#)

### dress up as ~

ふんそう  
～の 扮装 をする  
[▶ 本文に戻る](#)

### five Halloweens ago

5年前のハロウィーンに  
[▶ 本文に戻る](#)

### this one

★映画『キャットウーマン』を指す。  
[▶ 本文に戻る](#)

### harken back to ~

～を思い起こさせる ★ = hark back to ~  
[▶ 本文に戻る](#)

### be supposed to be ~

～であることになっている  
[▶ 本文に戻る](#)

### leave room for A to do

Aに～する余地を残す、Aに～させてくれる ★ = allow A to do  
[▶ 本文に戻る](#)

### hopefully~

願わくは～、～だろうと期待する  
[▶ 本文に戻る](#)

### tone

雰囲気、スタイル  
[▶ 本文に戻る](#)



## get a kick out of ~

～を大いに楽しむ、～を享受する

[▶本文に戻る](#)

## trash

ボロボロにする、完全に壊す

[▶本文に戻る](#)

## cathartic

カタルシスの、浄化作用のある、気持ちをすっきりさせる ★発音は[kəθɑːrtik]。

[▶本文に戻る](#)

## it's, sometimes it becomes

★ it's も it も不要。

[▶本文に戻る](#)

## dress up

着飾る、ドレスアップする ★dress down は反意表現で、「ラフな服装をする」の意味。

[▶本文に戻る](#)

## if you can't

★ if は不要。

[▶本文に戻る](#)

## theory

理論、理屈

[▶本文に戻る](#)

## cast

配役する ★過去・過去分詞も同形。

[▶本文に戻る](#)

## there's

★ there're のつもり。

[▶本文に戻る](#)

## screw up

へまをしでかす、大失敗する

[▶本文に戻る](#)

## affinity

親近感、好ましさ

[▶本文に戻る](#)

## deep down

心の底では、根底では

[▶本文に戻る](#)

## good soul

いい人、善人

[▶本文に戻る](#)



## archetype

模範、手本  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## reinvent

一から作り直す  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## boredom

うんざりさせるもの  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## all one's life

ずっと  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## I . . . really not a lot of thought goes into it.

★ = I don't think too deeply about it.  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## synonymous

同義の、同一視される  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## draining

(気力や体力などを) すり減らすような、疲弊させるような  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## in true light

本当の姿が見えるように、あるがままで  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## a need

★ a necessity の言い間違い。  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## on one's plate

やるべきことを抱えて  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## have the luxury to do

～する余裕がある、～するわがママが許される  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## go with ~

～に同意する、～を(納得のいくものとして) 選び取る  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## come one's way

～の手に入る、～に転がり込む  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## at the end of the day

結局のところ  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## good

たっぶりの、丸ごとの  
[▶ 本文に戻る](#)

---

## pick and choose

えり好みする、上等のものばかり選ぶ  
[▶ 本文に戻る](#)

---







## spiritual

精神主義的な、宗教的な

[▶ 本文に戻る](#)

## grounded

地に足の着いた、基礎のしっかりした

[▶ 本文に戻る](#)

## karma

カルマ、業、（人の持つ）独特の雰囲気

[▶ 本文に戻る](#)

## supportive

協力的な、支えとなる

[▶ 本文に戻る](#)

## purpose

目標、目的、意図

[▶ 本文に戻る](#)

## as a kid

★文の主語は she（母親）なので、「私が子どものころ」と言うなら when I was a kid の方がよい。

[▶ 本文に戻る](#)

## drive ~ crazy

～をいらいらさせる

[▶ 本文に戻る](#)

## investigate

探求する、掘り下げて調べる

[▶ 本文に戻る](#)

## be meant to do

～することになっている、～すべきである

[▶ 本文に戻る](#)

## latch onto ~

～を理解する

[▶ 本文に戻る](#)

## philosophy

考え方、持論

[▶ 本文に戻る](#)

## readily

すぐに、容易に

[▶ 本文に戻る](#)

## all in all

総じて、全体的に

[▶ 本文に戻る](#)

## down

（複数形で）逆境、不遇

[▶ 本文に戻る](#)

## obstacle

障害

[▶ 本文に戻る](#)

## move out on one's own

家を出て独り暮らしを始める、独り立ちする

[▶ 本文に戻る](#)



## make it

やっていく、暮らしていく

[▶ 本文に戻る](#)

---





Naomi Watts

写真：AP/ アフロ







# Naomi Watts

“If I got famous and busy at the age of 22, I don’t think I would have made the right decisions.”

「22歳のときに有名になり、多忙になっていたとしたら、正しい決断ができなかったと思うわ」

### Supervising Editor’s Comment

affair（トラック29）が「アフエー」に近く発音されている。**[eə(r)]**が長母音化するのは英国や豪州で聞かれる音形だ。それ以外に目立った英国訛りや豪州訛りはない。米国英語のように、語末や子音前の**[r]**が響くこともある。全体的には癖のない発音と言える。

発音に比べると、内容の理解はやや難しいかもしれない。話していることの多くが、具体的なことよりも、感じたことについてだからだ。

Interview Data	
収録日	2004年7月24日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	普通
発音	明瞭

ナオミ・ワッツ  
**Naomi Watts**  
1968年9月28日、イギリス・サセックス生まれ。14歳の時にオーストラリアに移住。シドニーの演劇学校で学び、'86年に映画デビュー。長くヒット作に恵まれなかったが、デビッド・リンチ監督の『マルホランド・ドライブ』（2001年）で主演に抜擢されて脚光を浴び、『ザ・リング』（'02年）の世界的な大ヒットにより一躍トップスターとなる。『21グラム』（'03年）で、アカデミー主演女優賞にノミネートされた。『マルホランド・ドライブ』、『21グラム』でブレイクしたオーストラリア出身の女優ナオミ・ワッツが、浮気と不倫をテーマにした出演作*We Don't Live Here Anymore*について、また、これまでのキャリアについて真摯に語る。同郷のニコール・キッドマンとの友人関係についても披露。



With the [spectacular](#) performance in [Mulholland Drive](#) and the success of [21 Grams](#) for which she won an [Oscar](#) nomination, Naomi Watts is now one of Hollywood's [hottest commodities](#). Here she talks about [infidelity](#) and her current film, [We Don't Live Here Anymore](#), her career so far, and her friendship with fellow [Aussie Nicole Kidman](#).



**Reporter:** What's your immediate response when you hear that someone's [cheating on](#) another? It seems like most of us have a natural sort of [revulsion](#).

**Naomi Watts:** Yeah.

**Reporter:** Is that yours as well?

**Watts:** Oh yeah. No, it's [horrible](#). I mean, I've had that happen to me before and, you know, but it's very human. I mean, I think what this film will [hopefully](#) do will teach us as it that we, this is what we must not do. Um, and obviously the vital element that's missing in all of their lives is the communication. And perhaps if that was there we would never have got to that place. I mean, particularly for Edith, who is so dead inside and so afraid to [voice](#) her needs. And she's [worked out](#) a way to survive and [hold on to](#) the life that she has. You know, she does not wanna destroy or lose her marriage, but in the end, I think, by making this, [instigating](#) this [affair](#), it's in the hope that she will save it. (It) [Backfires](#) horribly, but she saves herself -- and I think that's what needed to be done -- and the child, more importantly.

**Reporter:** It seems to me that there's a challenge of . . . Characters are doing [such things](#) to, to each other and they're [self-destructive](#) as well as destroying each other. Are you worried about [sympathy](#) for them, because . . .

**Watts:** Yes, but you know, I think that's life. I mean, we are capable of doing terrible things to ourselves and each other, and yeah, I really had a tough time with the [material](#) on many levels, but -- in the same way that you do -- but I still feel that there is something in this movie that is truly human. And although we hope never to get to that point, but maybe it helps us think about what we have and what we can do and must do to avoid such a crisis, uh, and such an [undoing](#) of our relationships. And those are the films I like doing, where they're [thought-provoking](#) and, you know, "Let's see what there is." You know, "What can we [measure up](#)?" and "What can we take out of our own lives?" and "How can we be better?"



**Reporter:** It's interesting [you described your career as -- was it "Short-lived so far"?](#)

**Watts:** Oh, it's, no, I know, but I'm just talking . . . people only know my career from *Mulholland Drive* [onwards](#). So that's, when I say short-lived, I'm thinking of that period.

**Reporter:** My question is: It's just been . . . and everything you've done has really moved you forward. But way back when, when you were living in Australia, and you had -- you were this girl with this dream. How did you believe in yourself? What is that system that allowed you to believe in yourself that you knew that you would [wind up](#) here today?

**Watts:** I did not know I would wind up here today, and I [vacillated](#) between thinking I was [insane](#), this is never gonna work out, but also I had a belief that I would just [be content with](#) being an actor, an actor [for hire](#). I didn't ever [presume](#) or dream as far as this; it would be way too [far-fetched](#). You know? I just always knew that I loved to act, and that's what I wanted to do.

**Reporter:** Did you [model your career after someone](#) else? I mean, I ask this question frequently, and [I discovered](#) there is no [recipe](#) for success in terms of one's belief in oneself.

**Watts:** No. I mean, you certainly are [inspired](#) by many people's stories -- and hopefully, because this is a good story -- you know, everything happens so late in life, because we all go through a huge amount of [paying our dues](#) and struggling. And so maybe for that reason it might give people hope. It happened the right way [round](#) for me. I don't think [if I got famous](#) and busy at the age of 22, I don't think I would have made the right decisions. I wouldn't have [been equipped to know](#) myself enough and say this is what I wanna do. I would've probably got [talked into doing](#) a [paycheck](#) or, you know, "All right, OK, yes!" So, I think, for me it feels right. Yeah. And I think it's very hard -- [there's](#) very few people who [transcend](#) that, getting everything, you know, too much too soon. I think your work is much harder ahead of you if -- usually it can happen in the reverse way, so I think it's, for me, better.



## Relationship with Nicole

DL Track31

[用語解説](#) [語注](#)

**Reporter:** Forgive me for not knowing this, I apologize. But your name and Nicole Kidman's are always together. Is it family, or is it just that you two know each other?

**Watts:** Just that we know each other and we're Australian, I think, and we're friends. I mean, I don't know. Did you know that we were friends?

**Reporter:** That I knew.

**Watts:** Oh, yeah. Right.

**Reporter:** But if I found (out) you were cousins . . .

**Watts:** No, nothing. No related . . . no relations in that way.

**Reporter:** You have such a remarkable resemblance to each other.

**Watts:** I don't know why people say that, because they do say it a lot and we really don't look like each other. We might have [mannerisms](#), you know -- but we're very different. We grew up in different ways and . . . But we're friends. I suppose you are influenced by each other, you know, when you're friends.

**Reporter:** Do you and Nicole ever look at each other and laugh to think of the way it all turned out?

**Watts:** Oh yeah. Not all the time, 'cause, you know, when you're in it, you're in it. But there was a moment last year -- when she had just got her [Cold Mountain](#) script and I'd just got my *21 Grams* script and we were reading scenes to each other and having a [good old chuckle](#). Like, "Can you believe we're doing what we love to do and with this [caliber](#) of people!?"

translation [▶](#)

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Steve Martin and Claire O'Connor*



『マルホランド・ドライブ』での目を見張る演技と、アカデミー主演女優賞候補となった『21グラム』の成功で、ナオミ・ワッツはいまやハリウッドで最も売れっ子のスターの1人です。ここでは、不倫、最新作 ***We Don't Live Here Anymore*** について、これまでのキャリア、そして同じオーストラリア出身の、ニコール・キッドマンとの友情について、話してくれます。



# コミュニケーションの欠落

 [DL](#)  Track29

記者：誰かがパートナーを裏切って浮気をしている、という話を聞いて、とっさに何をお感じになりますか？　大方の人間は、当然強い嫌悪感を覚えるように思いますが。

ナオミ・ワッツ：ええ。

記者：あなたもそうですか？

ワッツ：もちろんです。というより、本当にひどいことですよ。何しろ、私自身、過去にそういう目に遭ったことがあるものですから。でも、とても人間くさいことではあるんですよ。願わくは、この映画（*We Don't Live Here Anymore*）が、こういうことはしてはいけないんだということを説くものになってくれれば、と思います。そして彼ら登場人物たち全員の人生において明らかに欠けている重要な要素は、コミュニケーションなんですよ。ひょつとすると、コミュニケーションがあつたなら、私たち（登場人物）はあんな事態に陥ることもなかったのかもしれませんが。つまり、心がまひしていて、自分の望みを口にすることをひどく恐れているイーデイスに関しては特にそうだと思います。彼女は、何とか耐え忍んで、現在の生活にしがみつ়く方法を考え出したのです。結婚生活を駄目にしたり、失ったりしたくないのです。でも結局、こうすること、この情事を引き起こすことで、結婚生活を守りたいと望んでるんですよ。それがひどく裏目に出るわけですが、それでも彼女は自分自身を救い―― 結局はああする必要があつたのだと思います―― より重要なことには、子どもも救うんです。

記者：かなり難しい面があるように見えるんですが・・・登場人物たちは互いに傷つけ合っていて、お互いを破滅させるだけでなく、自己破壊的ですよね。彼らに対する（観客の）共感という点で不安はありませんか、何しろ・・・

ワッツ：そうですね、でも、それが人生だと思います。だって、人は自分自身やお互いに対して、ひどい仕打ちをできるわけですし、そうですね、この映画の題材には、いろいろなレベルで本当に苦労しました―― あなたがおっしゃるような意味でね―― でも、それでもこの映画には、人間の本質を突く何かがあると感じています。あそこまで行き着くのは願ひ下げですが、この映画は、自分が手にしているものや、あのような危機、あのような人間関係の崩壊を避けるためにわれわれができること、しなくてはいけないことについて、考える手掛かりになってくれるかもしれません。そして、そういうものこそが、私がやりたい映画なんです。いろいろ考えさせられて、ほら、「何があるのか見てみよう」とか「何を達成できるのか?」「自分の人生から何をを得ることができるのか?」そして「どうすればより自分を高めることができるのか?」というような（ことを考えさせてくれる映画ですね）。

【原文】[▶](#)



# 懸命の努力が実を結ぶ

 [DL](#)  Track30

記者：あなたのご自身のキャリアをこう説明されたのは面白いですね —— 「始まったばかり」でしたっけ？


ワッツ：あら、いいえ、ただ話の流れでそう言っているだけで・・・みなさん、『マルホランド・ドライブ』以降の私のキャリアしかご存じないから。始まったばかり、というのも、それ以降のことについて言っているんです。

記者：私の質問は、とにかく・・・一つひとつの作品が、本当にあなたを前進させてきました。でもはるか以前、まだオーストラリアに住んでいらしたころ、あなたは夢を抱いた1人の少女でした —— あなたはどうやって自分自身を信じたのですか？　今このような成功を取めるであろうことを、あなた自身に確信させたのは、どのような気の持ちようだったのでしょうか？

ワッツ：まさかここまで来られるなんて思ってもいなかったですし、（女優になろうだなんて）正気じゃない、決してうまくいくわけない、という気持ちと、とにかく役者にさえなればアルバイト程度だって構わない、という思いとの間で揺れていました。まさかここまで来られるとは夢にも思いませんでしたし、そんなこと、あまりに大それていますから。そうじゃないですか？　演じることが大好きで、これこそが自分のやりたいことだと、ずっとわかっていただけなんです。

記者：どなたかご自分のキャリアの模範にされた方がいらっしゃいましたか？　この質問はよくするのですが、自分を信じるという点で成功の秘訣ひけつというものはないということがわかったので。

ワッツ：ありませんね。つまり、もちろん、いろいろな方の話を聞いて勇気づけられますけど —— 願わくは、これはいい話ですからね —— 一生懸命努力して、苦しみながら頑張るからこそ、人生のかなり後の方になっていろんなことが実を結ぶんです。私自身の経歴も、そういう意味で、皆さんに勇気を与えることができるかもしれません。私にとっては、うまい具合に事が進んだと思っています。22歳のときに有名になり、多忙になっていたとしたら、正しい決断をすることができなかったんじゃないかと思います。自分自身を知り、私がやりたいのはこれだと言う能力が備わっていなかったでしょうね。口車に乗せられてお金目当てに仕事をしたり、（どんな話が来ても）「わかりました、やります、ええ！」みたいになって。ですから、私にはこれでよかったんだと思います。ええ。実際とても大変なことだと思いますよ —— すべてを手にすること、あまりに多くをあまりに早く手に入れてしまうことを超越できる人は、そういないと思います。そういう場合の方が、先々ずっと苦勞が多いんじゃないでしょうか —— 往々にして先細りになりかねないですから、私にとってはこれでよかったと思います。

[【原文】](#) 



# ニコール・キッドマンとの関係

DL Track31

記者：事情にうとくて申し訳ありません。でも、あなたのお名前とニコール・キッドマンの名前は、いつも一緒に見掛けるのですが。ご親戚なのですか、それとも単にお知り合いというだけなのでしょうか？

ワッツ：単に知り合いというだけで、2人ともオーストラリア人だからだと思いますけど、それに友達ですしね。だからかしら。私たちが友達ということはご存じでした？

記者：それは知っていました。

ワッツ：ええ、そうなんですよ。

記者：でも、実はいとこだとわかったら・・・

ワッツ：いいえ、違います。親類じゃないです・・・そういう関係はありません。

記者：お2人が、とてもよく似ていらっしゃるものですから。

ワッツ：なぜ皆さんがそうおっしゃるのかわかりません、だってよく言われますけど、私たちは全然似ていませんもの。（同じような）特徴があるのかもしれませんが、例えば——でも、私たち、全然違うんですよ。育ち方も違いますし・・・でも友達ですからね。友達同士、互いに影響を受け合うことはあるんじゃないでしょうか。

記者：ニコールさんと顔を見合わせて、すべてがこういうふうになったことを喜んだりはなさいますか？

ワッツ：それはもう。四六時中ではないですけど。だって、その渦中にいるときは、その瞬間を生きていますから。でも、去年でしたか——ニコールがちょうど『コールドマウンテン』の脚本を、私は『21グラム』の脚本を受け取ったばかりのところで、お互いに自分の場面を読み合いながら、くすくす笑い合っていたんですよ。「大好きなお芝居をこんなにすごいレベルの人たちと一緒にやっているなんて、信じられる！？」なんて言ってね。

【原文】▶



# Vocabulary List

## A

- affair** 情事、浮気
- Aussie** オーストラリア人

## B

- backfire** しつぺ返しをくらう、裏目に出る
- be content with** ~ ~で（ほどほど）満足している
- be equipped to do** ~するだけの能力を備えている

## C

- caliber** 才能、力量、価値
- cheat on** ~ ~に隠れて浮気をする
- commodity** 値打ちのあるもの、貴重なもの

## F

- far-fetched** 信じ難い
- for hire** 賃金を取って ★ アメリカ英語では for rent が一般的。

## G

- good old chuckle** ★ old は good chuckle (= laugh) を強めている。chuckle は「くすくす笑い、含み笑い」。

## H

- hold on to** ~ ~にしがみつく
- horrible** ものすごい、すさまじい
- hot** 話題の、目下人気の、売れ筋の

## I

- infidelity** 不義、不倫
- insane** 正気でない
- inspire** 刺激する、気持ちを強く動かす
- instigate** 扇動して（～を）起こさせる

## M

- mannerism** 癖、特徴
- material** 題材、素材
- measure up** （一定の標準などに）達する
- model after** ~ ~を（行為などの）模範とする

## O

- onwards** 前方へ
- Oscar** オスカー ★アカデミー賞受賞者に毎年与えられる小型の黄金立像。

## P

- pay one's dues** ★ = work hard、do what one has to do
- presume** 想像する

## R

- recipe** ひけつ 秘訣、妙案
- revulsion** 強い嫌悪 ★ = disgust

## S

- self-destructive** 自滅的な
- spectacular** 目を見張る、見応えのある
- sympathy** 同情、共感

## T

- talk into doing** （人を）説得して～させる
- thought-provoking** いろいろ考えさせられる、示唆に富む
- transcend** 超える、超越する

## U

- undoing** 取り消し、破滅 ★ = coming apart、falling apart、dissolution

## V

- vacillate** 揺れる、揺れ動く、ためらう



□voice 声に出す、言葉に表す

W

---

□wind up ~ ~に行き着く

□work out ~ ~を練って作る、~を考え出す



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	不倫について、ワッツは、やってはならないことだが、同時に人間らしさを感じる一面もあると考えている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ワッツは、自分の映画の登場人物たちに欠けている重要な要素は、コミュニケーションであると考えている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ワッツは、「人間関係の崩壊」といったテーマの映画には、どちらかといえば出演したくなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ワッツはアメリカ出身である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ワッツは子供のころから女優になる夢を持っていた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ワッツは、自分が女優としてここまで成功するとは思っていなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	若いころに努力し苦労を経るからこそ、人生の後半において身を結ぶ、というのは女優業には通用しないとワッツは考える。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ワッツとニコール・キッドマンはいとこ関係である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ワッツとキッドマンは、育ち方も近くて、互いに影響を受け合って、とても似ているとワッツは思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ワッツとキッドマンは、仕事について互いに話をすることがある。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	不倫について、ワッツは、やってはならないことだが、同時に人間らしさを感じる一面もあると考えている。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ワッツは、自分の映画の登場人物たちに欠けている重要な要素は、コミュニケーションであると考えている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ワッツは、「人間関係の崩壊」といったテーマの映画には、どちらかといえば出演したくなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	ワッツはアメリカ出身である。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	ワッツは子供のころから女優になる夢を持っていた。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ワッツは、自分が女優としてここまで成功するとは思っていなかった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	若いころに努力し苦労を経るからこそ、人生の後半において身を結ぶ、というのは女優業には通用しないとワッツは考える。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	ワッツとニコール・キッドマンはいそこ関係である。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	ワッツとキッドマンは、育ち方も近くて、互いに影響を受け合って、とても似ているとワッツは思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	ワッツとキッドマンは、仕事について互いに話をすることがある。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



## 用語解説

### **Mulholland Drive**

『マルホランド・ドライブ』 ★アメリカ映画（2001年）。監督デビッド・リンチ。ロサンゼルスの中にある道、マルホランド・ドライブで起きた自動車事故に端を発する、2人の女性をめぐるミステリー。ワッツは本作で、全米批評家協会主演女優賞を受賞。

[▶本文に戻る](#)

### **21 Grams**

『21グラム』 ★アメリカ映画（2003年）。監督アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ。心臓移植をめぐる絡み合う3人の男女の運命を描く。ワッツは本作で、'04年度アカデミー主演女優賞にノミネートされた。

[▶本文に戻る](#)

### **We Don't Live Here Anymore**

『夫以外の選択肢』 ★アメリカ映画（'04年）。監督ジョン・キューラン。2組の夫婦の破滅的な不倫関係を描いた作品。ワッツはそのうちの一人、イーディスを演じている。

[▶本文に戻る](#)

### **Nicole Kidman**

ニコール・キッドマン ★（1967-）。オーストラリアの女優。代表作に『誘う女』（'95年）、『ムーラン・ルージュ』（'01年）、『めぐりあう時間たち』（'03年）、『コールドマウンテン』（'03年）など。ワッツとは、女優になる以前、あるコマーシャルのオーディションで知り合ってから友人。

[▶本文に戻る](#)



## Cold Mountain

『コールドマウンテン』 ★アメリカ映画（2003年）。監督アンソニー・ミンゲラ。出演ニコル・キッドマン、ジュード・ロウ、レニー・ゼルウィガー。アメリカの南北戦争を背景に、時代にほんろう 翻弄 されながらも、純愛を貫こうとする男女のラブ・ストーリー。  
[▶本文に戻る](#)

---



# 語注

## spectacular

目を見張る、見応えのある

[▶本文に戻る](#)

## Oscar

オスカー ★アカデミー賞受賞者に毎年与えられる小型の黄金立像。

[▶本文に戻る](#)

## hot

話題の、目下人気の、売れ筋の

[▶本文に戻る](#)

## commodity

値打ちのあるもの、貴重なもの

[▶本文に戻る](#)

## infidelity

不義、不倫

[▶本文に戻る](#)

## Aussie

オーストラリア人

[▶本文に戻る](#)

## cheat on ~

～に隠れて浮気をする

[▶本文に戻る](#)

## revulsion

強い嫌悪 ★ = disgust

[▶本文に戻る](#)

## horrible

ものすごい、すさまじい

[▶本文に戻る](#)

## hopefully

願わくは

[▶本文に戻る](#)

## voice

声に出す、言葉に表す

[▶本文に戻る](#)

## work out ~

～を練って作る、～を考え出す

[▶本文に戻る](#)

## hold on to ~

～にしがみつく

[▶本文に戻る](#)

## instigate

扇動して（～を）起こさせる

[▶本文に戻る](#)

## affair

情事、浮気

[▶本文に戻る](#)

## backfire



しつぺ返しをくろう、裏目に出る

[▶ 本文に戻る](#)

---

## such things

あんなこと ★ここでは映画の中で登場人物たちがお互いに傷つけ合うこと。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## self-destructive

自滅的な

[▶ 本文に戻る](#)

---

## sympathy

同情、共感

[▶ 本文に戻る](#)

---

## material

題材、素材

[▶ 本文に戻る](#)

---

## undoing

取り消し、破滅 ★ = coming apart、falling apart、dissolution

[▶ 本文に戻る](#)

---

## thought-provoking

いろいろ考えさせられる、示唆に富む

[▶ 本文に戻る](#)

---

## measure up

(一定の標準などに) 達する

[▶ 本文に戻る](#)

---



## you described your career as -- was it "Short-lived so far"?

★編集上カットした部分で、ワッツは、自分の女優としてのキャリアは現時点でまだ始まったばかりである、と話している。

[▶本文に戻る](#)

## onwards

前方へ

[▶本文に戻る](#)

## wind up ~

～に行き着く

[▶本文に戻る](#)

## vacillate

揺れる、揺れ動く、ためらう

[▶本文に戻る](#)

## insane

正気でない

[▶本文に戻る](#)

## be content with ~

～で（ほどほど）満足している

[▶本文に戻る](#)

## for hire

賃金を取って ★ アメリカ英語では for rent が一般的。

[▶本文に戻る](#)

## presume

想像する

[▶本文に戻る](#)

## far-fetched

信じ難い

[▶本文に戻る](#)

## model A after B

Aを（行為などの）Bに合わせる

[▶本文に戻る](#)

## I discovered

★正しくは、I've discovered。

[▶本文に戻る](#)

## recipe

ひけつ

秘訣、妙案

[▶本文に戻る](#)

## inspire

刺激する、気持ちを強く動かす

[▶本文に戻る](#)

## pay one's dues

★ = work hard、do what one has to do

[▶本文に戻る](#)

## round

★ = around。ここでは right way を強めるために用いている。

[▶本文に戻る](#)

## if I got famous

★正しくは、if I had got famous となる。

[▶本文に戻る](#)



## be equipped to do

～するだけの能力を備えている

[▶本文に戻る](#)

---

## talk into doing

(人を)説得して～させる

[▶本文に戻る](#)

---

## paycheck

★ここでは、「お金目当てに仕事をする」といったニュアンスで用いていると思われる。

[▶本文に戻る](#)

---

## there's

★正しくは there're。

[▶本文に戻る](#)

---

## transcend

超える、超越する

[▶本文に戻る](#)

---



## mannerism

癖、特徴

[▶本文に戻る](#)

---

## good old chuckle

★ old は good chuckle (= laugh) を強めている。chuckle は「くすくす笑い、含み笑い」。

[▶本文に戻る](#)

---

## caliber

才能、力量、価値

[▶本文に戻る](#)

---











『マトリックス』のアクションスターが挑戦したシニカルなコミックヒーロー

## Keanu Reeves

“I would love to play Constantine again, as long as I worked with the same people.”

「同じスタッフと一緒にやれるなら、コンスタンティンはぜひもう一度演じてみたいんだ」

### Supervising Editor's Comment

端正な顔立ちに比べて、声は低くこもったような感じで、話し振りもややまつたりしている。ただ、発音にはあまり癖がない。

しかし、インタビューの内容を理解するためには、まず彼の出演作について知っていることが前提となる。記者の質問は長く、ポイントをつかみづらい。答えるリーブスも、話の展開があまり整然としておらず、表現もやや難しいので、話の流れを読みにくい。

Interview Data	
収録日	2005年1月30日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	難しい
発音	やや聞き取りにくい

キアヌ・リーブス

Keanu Reeves

1964年9月2日、レバノン・バイルートで中国系アメリカ人の父とイギリス人の母との間に生まれる。6歳の時にカナダに移住。高校在学中に俳優を志し、地元のテレビドラマや映画に出演。『リバーズ・エッジ』（'86年）で注目を集め、『ビルとテッドの大冒険』（'89年）、『ハートブルー』（'91年）などで人気俳優に。代表作に、『スピード』（'94年）、『マトリックス』3部作（'99年～2003年）、『コンスタンティン』（'05年）など。

「マトリックス」シリーズで確固たる地位を確立したキアヌ・リーブスが、大人気コミックを基にした主演映画『コンスタンティン』で表現したかったこと、次回作への意欲、俳優という職業や演じることへの思い入れについて語る。



Where's Keanu in the post-[Matrix](#) years? Last year he appeared in [Something's Gotta Give](#). Here, he talks about this year's release, [Constantine](#), which is based on the comic book [Hellblazer](#), and his childhood interests in film and acting.



---

## Self-interested -- with a Heart

DL Track34

用語解説 語注

---

**Reporter:** What was your [familiarity](#) with the *Hellblazer* comic books and how did you feel about some of the changes, such as the fact it was changed from U.K. to U.S. and that type of thing?

**Keanu Reeves:** I wasn't familiar with the character before I read the script, and when the script came to me, that aspect of the character -- being based in London and, being English -- had changed already. Uh, so I wasn't aware of that.

When I read the script and then familiarized myself with the work, I saw that what was important was really the essence of Constantine, you know. And we worked really hard to keep that aspect of it, because it's really what it's all about. You know, that kind of [hard-edged](#), [hard-boiled](#), [world-weary](#), [cynical](#), [fatalistic](#), [nihilistic](#), [self-interested](#), with a heart . . . guy. And, and I think we did. I mean I hope so. And I hope that fans of the comic don't feel that we [sabotaged](#) something that is so well-loved, you know?

**Reporter:** My question is on this. We saw you [last time](#) as [the Hamptons](#)' doctor, romantic, in love and everything. Now this: back to the, sort of like, the darkness. Do you look [in opposition to](#) what you've just done or are you more attracted to do -- after doing it all these years -- to something more [serious](#) or something? What was it about the character of Constantine that made you say, "I'm gonna give a year plus of my life to this"?

**Reeves:** Um, well, I, I first [came across](#) the script when I was [working on](#) *The Matrix* in Sydney, Australia. I was working on working. And so the scripts came to me and I read it and really enjoyed it. And it took, I guess, from my first reading to [principal photography](#) was over a year and a half.

So . . . and in terms of making choices, it's just trying to have, a kind of variety of genre and character. But I said yes to it while I was making *The Matrix* because I didn't feel that I was repeating myself in it, you know. Constantine's a very [extroverted](#) role. You know the whole . . . and so much about it was very different to me than the experience I was having in [Constantine](#). But it was still a great script and a great idea and a great character.

tanslation ▶



## Another Franchise?

DL Track35

用語解説 語注

**Reporter:** Having [come off](#) *The Matrix*, three *Matrix* films, how do you feel about [the possibility of this becoming another franchise](#)? Does that worry you? I mean, obviously you want it to be successful, but do you ever worry about [tainting](#) the original by trying to, you know, [outdo](#) the first film and not [living up to](#) expectations and such? How do you feel about that?

**Reeves:** Well, we'd better not do that, 'cause that'd [suck](#). Um, my contract didn't have a second film in it, but, um, myself and some of the producers and Francis Lawrence, the director, [and I certainly would](#) -- because we fell in love with the guy. I fell in love with the guy. I had one of the best times I've ever had working on a film, working on this particular project. And so, we would talk about, like, "What could we do?" "What happens to Constantine?" And I'm like, "He's a [heroin addict](#) in Morocco," you know? And you know, "He's got a [spell](#): and he's killing people; and he's trying not to kill people, so he's [knocking himself out](#)." So, and then, [Akiva Goldsman](#) was like, "No, he wants to stop [Revelations](#)."

So we would do these kinds of things, and ultimately it is up to the audience because, you know, that would mean that the studio would have [resources](#) to [go forward with](#) it. But I would love to play Constantine again, as long as I worked with the same people. I mean, definitely Francis Lawrence and Akiva Goldsman and, and everyone involved in this project, 'cause I could not imagine doing this without everyone involved. But I loved playing the guy.

tanslation ▶



**Reporter:** Keanu.

**Reeves:** Hello.

**Reporter:** Hello. [Shia](#) mentioned in his interview with us that he felt that \*each role that you took was also seeking a certain respect for your [craft](#) as an actor. And you just spoke on the joy and the interest that you get. What do you get from acting at this point, because you do have an amazing résumé, so you're obviously doing it for a continued purpose?

**Reeves:** I really love it. [It's my craft.](#) When I was 15, I went up to my mother, "Is it OK if I'm an, if I'm an actor?" She was like, "Whatever you want, dear." And, uh, you know, within three weeks I was [enrolled](#) in an acting class dealing with [Uta Hagen's \*Respect for Acting\*](#). Um, and acting itself is -- and I've heard [Anthony Hopkins](#) say this -- and it's, you know, you learn it by doing it. And it's like painting, I would imagine. The craft of it, the skill of it, the way that you work the paint, the way that you can act. I mean, it's something that, you know, the more you do it, the more you know it, and for me, it's what I love, you know. A good day on the set, creating a work, a piece, the [collaboration](#), the expression, is a [hoot](#). No, I, no, I love it. I love it. I love it. And hopefully it'll continue.

tanslation [▶](#)



## Early Inspiration for Acting

DL Track37

用語解説 語注

**Reporter:** Keanu, you talked a little bit about your love of acting, and at 15 you asked your mom if you could do this.

**Reeves:** I was a good boy. It wouldn't have mattered what she said, by the way, but you know.

**Reporter:** My question to you is that even before that -- like really early on as a kid, when you first realized you could love something sort of outside of yourself -- what inspired you in, or who, or what did they say that made you actually want to [think outside the box](#) in that way?

**Reeves:** I had an experience once in second grade. You know how people often talk about how they see a fireman -- [oftentimes](#) it's mostly firemen or policemen -- they see a fireman and they [go](#), "Oh, I wanna be that." and they don't know why. I remember this teacher and these two actors came from high school, and they came to do a class with, you know, the second graders just to do [improvs](#) and theater games. And I remember I was looking up at them and I was like, "I wanna do that." I have no idea what that means.

Yeah, and also my stepfather, I remember he's a director, and I went to a couple of rehearsals when I was younger. And I was a fifth, I was a production assistant on a production he was doing. I was bringing soda to [Lilian Gish](#) when [Star Wars](#) was coming out. And she's like, "Cinema these days . . ." And, you know, and I had read a book about [D.W. Griffith](#) so, you know, when I was 14, so it was like, "I know what you mean." You know, so it was a, um, it was a great honor for me. Great honor for me. She was a lovely, lovely lady.

So I was always around it. I was going to, you know, theaters, rehearsals with my stepfather when I was a kid. And, so I guess it's part of my tradition.

translation ▶

*Interviewed by Andy Cocker / Planet Syndication  
Narrated by Jeff Manning and John Rankin*



「マトリックス」シリーズ以後、キアヌは何をしているのでしょうか？ 昨年、彼は『恋愛適齢期』に出演しました。ここでは、漫画の『ヘルブレイザー』を基にした、今年公開の新作『コンスタンティン』について、そして、子どものころから映画と演じることに興味を持っていたことを語ってくれます。



# 思いやりのあるわがまま

 [DL](#)  [Track34](#)

記者：漫画本の『ヘルブレイザー』のことは、どの程度ご存じでしたか？ それに、幾つかの変更について、例えば（設定が）イギリスからアメリカに変わったとか、その種のことについては、どうお感じになりましたか？


キアヌ・リーブス：脚本を読むまで、このキャラクターについて知識はなくて、脚本が手元に届いたときには、このキャラクターのそうした側面 —— ロンドンが舞台で、イギリス人という設定のことですけど —— は、すでに変更になっていました。えっと、ですから、そのことは知りませんでした。

脚本を読んで、この作品をよく理解できてからは、本当に重要なのは、ジョン・コンスタンティンの本質だということがわかりました。そして、私たちはその側面を保つよう、すごく頑張りました。だって、まさにそれがすべてですからね。そう、ああいう、切れ者で、タフで、<sup>えんせい</sup>厭世的で、シニカルで、宿命論者で、ニヒリストで、自分本位で、でも気持ちの優しい・・・やつです。そして、うまくいったんじゃないかな。つまり、そうだといいと思っています。そして、原作のファンの皆さんに、あれほど愛されているキャラクターをめちゃくちゃにしたと思われないように願っています。

記者：私がお聞きしたいのは次のことです。前作ではあなたは、ロマンチストで、恋に落ちたりいろいろする、ハンプトン地区の医者を演じられました。そして今回はこれ（ジョン・コンスタンティン役）です。いってみれば、再び暗い役に戻ったわけですね。演じ終えたものと反対のものをお探しになるのですか —— それとも —— これだけ長い間やってこられたので —— より硬派なものなどに引かれていらっしゃるのですか？ コンスタンティン役の何に引かれて、「人生の中の1年余りの時間をこれに費やそう」と決意なさったのですか？

リーブス：うーん、そうですね、この脚本と初めて出合ったのは、オーストラリアのシドニーで『マトリックス』を撮っていた時のことです。仕事探しにかかっていました。そういうわけで、脚本が私の手元に届いて、読んでみたところ、本当に面白かったんです。最初に読んだときから、実際の撮影に入るまで、確か1年半以上かかりました。

そして・・・（自分が出演する映画の）選択ということに関していえば、とにかくいろいろなジャンルや役柄を演じようと努めています。でも、なぜ『マトリックス』の撮影中にこれをやると返事したかというと、これなら、（『マトリックス』の）繰り返しにはならないと感じたからです。コンスタンティンは、極めて外向的な役柄です。そして私から見て、この映画は全体的に・・・かなりの部分で、当時『マトリックス』で経験していたことと、とても違っていました。それでも、素晴らしい脚本、素晴らしいアイデア、そして素晴らしい役柄だと思ったのです。

[【原文】](#) 



# 『コンスタンティン』続編は？

 DL  Track35

記者：『マトリックス』を、「マトリックス」3部作を終えられたところで、本作もまたフランチャイズ化される可能性があることについて、どのようにお考えですか？ ご心配ですか？ というのも、当然、この作品も成功してほしいと思っていらっしゃるでしょうけれど、最初の映画を超えようとしながらも期待に応えることができなかつたりして、元の映画に傷を付けてしまうんじゃないかとご心配になることはありますか？ それについてはどうお考えでしょうか？

リーブス：じゃあ、続編は作らない方がいいですね。そうなったら最悪ですからね。えっと、私の契約には、続編の話は入っていませんでしたけど、私自身、それに数人のプロデューサーとフランシス・ローレンス監督、それに私も、確かに——なにしろ、私たちはこの男（コンスタンティン）にほれ込んでしまったものですから。私自身、ほれ込んでしまいました。このプロジェクトにかかわって、これまで映画を撮影してきた中でも1、2を争うくらい楽しい時間を過ごすことができました。それで、みんなで、そう、「<sup>のろ</sup>どういうことができるかな？」「コンスタンティンはこれからどうなるのか？」なんて話したりしました。僕が「やつはモロッコに住んでいてヒロイン中毒になっている。呪われていて、人殺しをしてるんだけど、でも人殺しをしないように必死になってるんだ」とか言うと、そこでアキヴァ・ゴールドズマンが、「いや、やつは黙示録を食い止めたんだ」とくるわけです。

そういうわけで、私たちはよくこんな話をしていたのですが、最終的には観客の皆さん次第です。そうなれば（観客の要望があれば）、製作会社も続編を作る資金を出せますから。でも、同じスタッフと一緒にやれるなら、コンスタンティンはぜひもう一度演じてみたいと思います。つまり、フランシス・ローレンス、アキヴァ・ゴールドズマンはもちろんのこと、このプロジェクトに携わったみんなとやりたいですね、だってこれにかかわった人たち抜きで演じることは考えられませんから。いずれにせよ、この男を演じるのはすごく楽しかったです。

【原文】[▶](#)



# 大好きな職業

 [DL](#)  [Track36](#)

記者：キアヌさん。

リーブス：こんにちは。

記者：こんにちは。シアさんが、私たちとのインタビューの中で、あなたは、新たな役を引き受けるたびに、役者としての職業に対して、ある種の敬意を表す方法も模索しているように感じる、と話していらっしゃいました。そしてつい先ほど、（演じることで）感じる喜びとご興味について話されました。演じるということで、今の時点で何を得ていらっしゃるのですか？

リーブス：本当に好きでたまらないんですよ。私の天職なんです。15歳のとき、母のところに行って、「僕が、僕が俳優になっても構わない？」と聞きました。母は「あなたのやりたいようになさい、坊や」という感じでした。それで、3週間後には、ユタ・ヘーゲンの『リスペクト・フォー・アクティング』を用いた演劇教室に入っていました。それに、演じることそのものは——アンソニー・ホプキンスさんが同じことをおっしゃっているのを聞いたことがあります——それは、やりながら学んでいくもので、それはおそらく絵を描くことに似ているんじゃないでしょうか。そのための技だとか、技術だとか、絵の具を扱う方法だとか、演じる手法だとか。つまり、やればやるほど、より多くを知ることができるので、私にとってはそういうところがいいんです。現場でうまくいった日、作品、映画をつくり出すこと、共同制作、表現、みんなめっちゃくちゃ面白いです。いえ、いや、本当に好きなんです。大好きですね。これからも続けていけることを願っています。

【原文】[▶](#)



# 演じることへの目覚め

 **DL**  **Track37**

記者：キアヌさん、あなたは演じることの喜びについて少しお話しになりましたが、**15歳**のときに、お母さまにこれをやってもいいかお聞きになったのですね。

リーブス：いい子だったんです。母がどう答えようが関係なかったんです、実のところは。でも、わかりますよね。

記者：私の質問は、それ以前に —— 本当に幼い子どものころ、言ってみれば、自分以外の何かを愛することが可能だと初めて気付いたとき —— 何があなたに影響を与えて、もしくは誰が何と言って、あなたが既成の枠組みにとらわれない考え方をしたいと思わせたのでしょうか？

リーブス：私が小学校2年生だったときに、こういう経験をしたんです。消防士を見て —— たいていの場合、それはたいがい消防士か警察官ですけどね —— 消防士を見て、「うわあ、あれになりたい」と言うんだけど、自分でもどうしてかわからないって話、よく聞きますよね？ 私の場合も、ある先生と2人の演劇青年が高校からやって来たことがあるんです。彼らは授業をしに2年生のクラスに来て、ただアドリブや、演劇ごっなどをやるだけなんですけどね。覚えているのは、彼らを見上げて、私は「（大きくなったら）あれをやりたい」なんて言いました。どういうつもりだったのか、まったくわかりませんけどね。

そう、それに私の義理の父が、確か監督でして、子どものころに、父のリハーサルに2、3回行きました。5年生のとき、父が監督していた劇の製作アシスタントをやりました。リリアン・ギッシュさんにソーダを運んで、ちょうど『スター・ウォーズ』が公開されたころでした。そして彼女は、「近ごろの映画っていうのはまったく・・・」という感じで。それで私は**D・W・グリフィス**監督に関する本を読んでいたものですから、そう、**14歳**のころにね、ですから私は、「同感です」と言ったのです。ですから、それはもう、ものすごく光栄なことでした。非常に光栄なことでしたね。彼女は、それはそれはすてきな女性でした。

ですから、常に（役者という職業の）身近にいたと言えます。子どものころ、義理の父と、劇場やらリハーサルやらに行っていました。ですから、それは私の生活習慣の一部と言えるでしょうね。

【原文】[▶](#)



# Vocabulary List

## C

- collaboration** 共同制作、協力
- come across** ~ ~に出くわす
- come off** ~ ~を達成する、~をやり終える
- craft** 技能、スキル、（特殊な技術を必要とする）職業 ★ **craft** は **trade**、**job**、**work** の中で、最も優雅なニュアンスがある。
- cynical** 皮肉な、冷笑的な、シニカルな

## E

- enroll** 入学する、入会する
- extroverted** 外向型の、外向性の強い

## F

- fatalistic** 宿命論者の

## G

- go** （〜と）言う ★ = say

## H

- hard-boiled** 硬派の、タフな、非情な、情にほだされない
- hard-edged** 鋭い、厳しい
- heroin addict** ヘロイン中毒者

## I

- improv** 即興、アドリブ ★ = improvisation
- in opposition to** ~ ~に対立して

## K

- knock oneself out** 全力を尽くす

## L

- live up to** ~ ~（期待）に沿う、~（評判など）に恥じない行動をする

## N

- nihilistic** 虚無主義的な、ニヒリスト的な

## O

- oftentimes** しばしば ★ = often
- outdo** （〜に）勝る、（〜を）出し抜く

## P

- principal photography** 実際の撮影 ★ **pre-production**（ブリ・プロダクション〔脚本、配役など、撮影に入る前の作業の総称〕）と、**post-production**（ポスト・プロダクション〔編集や特殊効果など、撮影後の作業の総称〕）に対し、実際の撮影の段階を指す。**principal** は「主要な」。

## R

- resources** 資源、財源 ★通例複数形。

## S

- sabotage** 故意に破壊する
- self-interested** 利己的な、私利を図る
- serious** 硬い、まじめな、（陽気さがなく）考え込んだ
- spell**<sup>じゅもん</sup> 呪文、魔法
- suck** 最悪だ、最低だ

## T

- taint** （評判などを）汚す、傷つける
- think outside the box** 既成の枠組みにとらわれない考え方をする ★ = think differently

## W

- world-weary**<sup>えんせい</sup> 厭世的な



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	リーブスは <i>Hellblazer</i> のコミックを、映画の脚本を読む以前に読んでいたので、この役柄については親しんでいた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	コンスタンティンの役柄は、「マトリックス」シリーズで演じていたのと同様に内向的なものであった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<i>Matrix</i> の撮影をしている最中に、リーブスは <i>Constantine</i> の脚本を読み、この映画への出演を決めた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<i>Constantine</i> の撮影は、これまで映画をやってきた中で、最も楽しんできた仕事のひとつである、とリーブスは言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	リーブスは、同じスタッフと仕事ができるなら、コンスタンティンの役をもう一度演じたいと思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	リーブスが15歳のとき、母親に「俳優になっても構わないか」と聞いたところ、母親は強く反対した。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	リーブスは、演技というものは一種の生まれ持った才能であって、やっていくうちに学んでいくのとは少し違うと述べている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	リーブスは子どものころ、消防士や警察官になりたいと思っていた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	リーブスが演劇をやりたいと思ったのは、小学校2年生のときである。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	リーブスは子どものころから、映画に関係した環境にいた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	リーブスは <i>Hellblazer</i> のコミックを、映画の脚本を読む以前に読んでいたので、この役柄については親しんでいた。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	コンスタンティンの役柄は、「マトリックス」シリーズで演じていたのと同様に内向的なものであった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<i>Matrix</i> の撮影をしている最中に、リーブスは <i>Constantine</i> の脚本を読み、この映画への出演を決めた。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<i>Constantine</i> の撮影は、これまで映画をやってきた中で、最も楽しんできた仕事のひとつである、とリーブスは言う。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	リーブスは、同じスタッフと仕事ができるなら、コンスタンティンの役をもう一度演じたいと思っている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	リーブスが15歳のとき、母親に「俳優になっても構わないか」と聞いたところ、母親は強く反対した。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	リーブスは、演技というものは一種の生まれ持った才能であって、やっていくうちに学んでいくのとは少し違うと述べている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	リーブスは子どものころ、消防士や警察官になりたいと思っていた。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	リーブスが演劇をやりたいと思ったのは、小学校2年生のときである。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	リーブスは子どものころから、映画に関係した環境にいた。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# 用語解説

## **(The) Matrix**

『マトリックス』 ★アメリカ映画（1999年）。監督ラリー・ウォシヤウスキー、アンディ・ウォシヤウスキー。出演キアヌ・リーブス、ローレンス・フィッシュバーン、キャリー＝アン・モス。ここでは『マトリックス リローデッド』（2003年）、『マトリックス レボリューションズ』（'03年）を含む3部作のこと。

[▶本文に戻る](#)

## **Something's Gotta Give**

『恋愛適齢期』 ★アメリカ映画（'03年）。監督ナンシー・マイヤーズ。出演グイアン・キートン、ジャック・ニコルソン、キアヌ・リーブス。熟年カップルのラブストーリー。リーブスは、年上の女性（キートン）と恋に落ちる、ハンプトン在住の青年医師役を演じている。

[▶本文に戻る](#)

## **Constantine**

『コンスタンティン』 ★アメリカ映画（'05年）。監督フランシス・ローレンス。出演キアヌ・リーブス、レイチェル・ワイズ。人気コミック『ヘルブレイザー』の映画化。リーブスは、主人公の探偵ジョン・コンスタンティン役を演じている。

[▶本文に戻る](#)

## **Hellblazer**

『ヘルブレイザー』 ★ジェイミー・デラノ、ガース・エニス著。人気探偵コミックス。

[▶本文に戻る](#)

## **last time**

前回 ★『恋愛適齢期』のこと。

[▶本文に戻る](#)

## **the Hamptons**

ハンプトン地区 ★ハンプトンは、ニューヨーク州南東部のロングアイランド島にある高級リゾート地。イーストハンプトン、サウスハンプトンなど幾つかの町を含む地域の総称として、複数形で **the Hamptons** と呼ぶ。

[▶本文に戻る](#)



## Akiva Goldsman

アキヴァ・ゴールドズマン ★（1962-）。アメリカの脚本家・映画プロデューサー。『ビューティフル・マインド』（2001年）で、アカデミー最優秀脚色賞を受賞している。『コンスタンティン』では製作を担当。

[▶本文に戻る](#)

---



## Shia (LaBeouf)

シア（・ラブーフ） ★（1986-）。アメリカの俳優。出演作に『チャールーズ・エンジェル／フルスロットル』（2003年）、『アイ、ロボット』（'04年）など。『コンスタンティン』ではコンスタンティンを師と慕う助手兼ドライバー役を演じている。

[▶本文に戻る](#)

## Uta Hagen

ユタ・ヘーゲン ★（1919-2004）。アメリカの舞台女優。映画出演作に『ブラジルから来た少年』（'78年）、『運命の逆転』（'90年）など。

[▶本文に戻る](#)

## Respect for Acting

『リスペクト・フォー・アクティング』 ★（'73年刊）。ユタ・ヘーゲンによる演技指導書。

[▶本文に戻る](#)

## Anthony Hopkins

アンソニー・ホプキンス ★（1937-）。イギリスの俳優。『羊たちの沈黙』（'91年）、その続編の『ハンニバル』（2001年）、『レッド・ドラゴン』（'02年）のレスター博士役などで知られる。そのほかの代表作に『日の名残り』（'93年）、『ジョー・ブラックをよろしく』（'98年）など。

[▶本文に戻る](#)



## Lilian Gish

リリアン・ギッシュ ★（1893-1993）。アメリカの女優。グリフィス監督に見いだされた、映画創生期の大女優。代表作に『國民の創生』（1915年）、『嵐の孤児』（'21年）、そして 94歳にして主演を務めた『八月の鯨』（'87年）など。

[▶本文に戻る](#)

## Star Wars

『スター・ウォーズ』 ★アメリカ映画（'77年）。監督ジョージ・ルーカス。出演マーク・ハミル、キャリー・フィッシャー、ハリソン・フォード、アレック・ギネスほか。SF映画の金字塔。

[▶本文に戻る](#)

## D.W. Griffith

D・W・グリフィス ★（1875-1948）。アメリカの映画監督。"映画の父"と呼ばれる。代表作に『國民の創生』（'15年）、『イントレランス』（'16年）など。

[▶本文に戻る](#)



# 語注

## familiarity

よく知っていること ★次のリーヴスの発言のbe familiar with～とfamiliarize oneself with～はともに「～に精通している」の意。  
[▶本文に戻る](#)

## hard-edged

鋭い、厳しい  
[▶本文に戻る](#)

## hard-boiled

硬派の、タフな、非情な、情にほだされない  
[▶本文に戻る](#)

## world-weary

えんせい  
厭世 的な  
[▶本文に戻る](#)

## cynical

皮肉な、冷笑的な、シニカルな  
[▶本文に戻る](#)

## fatalistic

宿命論者の  
[▶本文に戻る](#)

## nihilistic

虚無主義的な、ニヒリスト的な  
[▶本文に戻る](#)

## self-interested

利己的な、私利を図る  
[▶本文に戻る](#)

## sabotage

故意に破壊する  
[▶本文に戻る](#)

## in opposition to～

～に対立して  
[▶本文に戻る](#)

## serious

硬い、まじめな、（陽気さがなく）考え込んだ  
[▶本文に戻る](#)

## come across～

～に出くわす  
[▶本文に戻る](#)

## work on～

～に取り組む  
[▶本文に戻る](#)

## principal photography

実際の撮影 ★pre-production（プリ・プロダクション〔脚本、配役など、撮影に入る前の作業の総称〕）と、post-production（ポスト・プロダクション〔編集や特殊効果など、撮影後の作業の総称〕）に対し、実際の撮影の段階を指す。principal は「主要な」。  
[▶本文に戻る](#)

## extroverted

外向型の、外向性の強い  
[▶本文に戻る](#)



## Constantine

★ *The Matrix* と言うべきところを言い間違えている。

[▶ 本文に戻る](#)

---



## come off ~

～を達成する、～をやり終える

[▶本文に戻る](#)

## the possibility of this becoming another franchise

これもまたフランチャイズ化される可能性 ★『マトリックス』同様、『コンスタンティン』もシリーズ化していくつもりかと聞いている。franchise は「チェーン化されたもの」という意味。

[▶本文に戻る](#)

## taint

（評判などを）汚す、傷つける

[▶本文に戻る](#)

## outdo

（～に）勝る、（～を）出し抜く

[▶本文に戻る](#)

## live up to ~

～（期待）に沿う、～（評判など）に恥じない行動をする

[▶本文に戻る](#)

## suck

最悪だ、最低だ

[▶本文に戻る](#)

## ... and I certainly would

★ and I certainly would like to make a sequel などと言おうとしたと思われる。

[▶本文に戻る](#)

## heroin addict

ヘロイン中毒者

[▶本文に戻る](#)

## spell

じゆもん

呪文、魔法

[▶本文に戻る](#)

## knock oneself out

全力を尽くす

[▶本文に戻る](#)

## (the book of) Revelations

ヨハネの黙示録 ★『新約聖書』の最後の文書。the Apocalypseとも言われる。善と悪の戦いと地上における裁き、善の大勝利が預言されている。

[▶本文に戻る](#)

## resources

資源、財源 ★通例複数形。

[▶本文に戻る](#)

## go forward with ~

～を遂行する ★ここでは、続編の製作に取りかかるということ。

[▶本文に戻る](#)



**... each role that you took was also seeking a certain respect for your craft as an actor.**

★ = with every role that you take, you are trying to expand your ability as an actor, out of respect for your craft.

[▶ 本文に戻る](#)

---

## **craft**

技能、スキル、（特殊な技術を必要とする）職業 ★ craft は trade、job、work の中で、最も優雅なニュアンスがある。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## **It's my craft.**

★ = It's what I do. It's my vocation. ここでは、「仕事が生き甲斐だ」というニュアンスもある。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## **enroll**

入学する、入会する

[▶ 本文に戻る](#)

---

## **collaboration**

共同制作、協力

[▶ 本文に戻る](#)

---

## **hoot**

とても面白いもの ★ = fun。皮肉で使われることが多い表現のため、続けて No, と言っていると思われる。

[▶ 本文に戻る](#)

---



## think outside the box

既成の枠組みにとらわれない考え方をする ★ = think differently

[▶ 本文に戻る](#)

---

## oftentimes

しばしば ★ = often

[▶ 本文に戻る](#)

---

## go

(〜と)言う ★ = say

[▶ 本文に戻る](#)

---

## improv

即興、アドリブ ★ = improvisation

[▶ 本文に戻る](#)

---





**Johnny Depp**

Photo:AP/ アフロ







# Johnny Depp

“I just feel really lucky to have been chosen by Tim.”

「ティムに選ばれたことは、ものすごく幸運だったと思ってるよ」

## Supervising Editor's Comment

わずかに米国南部訛り（語末や子音前の[r]が落ちることがある）がある。ややつぶやくように話すため、音がこもってしまうこともある。ただ、落ち着いた話しぶりのため、音の崩れは小さい。

インタビューは、『チャーリーとチョコレート工場』をはじめ彼の出演作品についての話がほとんどなので、それらの知識があると理解しやすいだろう。

Interview Data	
収録日	2005年6月5日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	やや聞き取りにくい

ジョニー・デップ

Johnny Depp

1963年6月9日、アメリカ・ケンタッキー州生まれ。『エルム街の悪夢』（'84年）で映画デビュー。『クライ・ベイビー』（'90年）で初主演を果たすと、以後『シザーハンズ』（'90年）、『ギルバート・グレイブ』（'93年）、『エド・ウッド』（'94年）などで、演技派俳優として頭角を現す。『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』（2003年）、『ネバーランド』（'04年）で、2年連続アカデミー主演男優賞にノミネートされた。

今、もつとも勢いのある俳優の一人、ジョニー・デップが、盟友ティム・バートン監督と組んで大ヒットを記録した出演作『チャーリーとチョコレート工場』のウォンカ役について、また、バートンとのきずなや、自分を支え続けてくれた「ファン」について実直に語る。



Johnny Depp talks about influences for the character of his current film [\*Charlie and the Chocolate Factory\*](#), playing [Barbies](#) with his daughter, and his long [collaboration](#) with [Tim Burton](#).



**Reporter:** What was the appeal of playing [Willy Wonka](#)?

**Johnny Depp:** Well . . . I was . . .

**Reporter:** Were you a [Gene Wilder](#) fan?

**Depp:** Well, I was [definitely](#) a Gene Wilder fan, but that's not what [dragged me in](#). I must say -- you know, initially, even though the material, as much as I love [Roald Dahl](#)'s works, I mean the material was one of the [seductive](#) elements, certainly -- but more than anything it was just the fact that it was Tim asking me to, to do it, you know. That, mean, you know, the fact that Tim said. Uh, so yeah, it was it, Tim, Tim was really the . . .

**Reporter:** Like a [catalyst](#)?

**Depp:** Yeah, he was the [first and foremost](#) kind of, like, diamond. And then, [as luck would have it](#), it was this material, and that character. What a great opportunity. I knew as soon as he mentioned it, and as soon as I said, "I'm in," I knew that there were great risks involved, you know, 'cause you could very easily [blow it](#). But again that's very exciting for an actor, [you know, to, the challenge](#).

**Reporter:** When you say "blow it," do you mean the risk that the fans of the book might not like your performance?

**Depp:** Fans of the book, fans of the 1971 film. Um, you know, it's a very, well-loved character -- both just fans of the book and Gene Wilder's brilliant performance in that early film. So I knew that I knew I had to go, take it somewhere far away from where Gene Wilder, the area that he had [stomped](#). And having that amazing material, you know that, by Roald Dahl, um, and trying to interpret what he might have liked to have seen in terms of cinema: "What kind of character would he have liked?" And there's such dark and light in that story, and such a [subversive](#) kind of [undertone](#) and a [twisted](#), [perverted](#) kind of side to the character, that I just, I ran in the direction that seemed right to me, you know.



## Twisted Social Skills

DL Track41

用語解説 語注

**Reporter:** In this film, do you [sort of](#) enjoy, um, playing somebody with almost [\\*no social skills](#) whatsoever?

**Depp:** Yeah. I did enjoy playing someone with no -- at least kind of slightly twisted -- social skills. Yeah, it's [good](#) fun playing characters that, for whatever reason -- you know, these characters, like Wonka, for example; [Captain Jack](#), another example; um, [Raoul Duke](#) from [Fear and Loathing](#) -- characters that can do things that I would never dream of doing, or speak to people in a way that I couldn't ever [bring myself to do](#). So there's great fun in that, great safety in it, in a weird way, you know. Once you learn how to talk like them, or be them, I guess, there's great safety in it, you know.

tanslation ▶



**Reporter:** How did you arrive at Willy Wonka's voice?

**Depp:** Um, it's funny, 'cause on Wonka . . . 'cause I would never, ever, you know when I'm by myself going through the script or anything, I would be [mortified](#) if I found myself reading as the character. I could never forgive myself for that. [So I did](#) with Wonka, was one in particular, that I did sort of test it on my daughter. I tested it on [Lily-Rose](#) to see, you know, if it felt like I was going in the right direction.

**Reporter:** Did you practice the part or do a [read-through](#) for her?

**Depp:** No, no. Just, just the voice. You know, just the sound of his voice. 'Cause a lot of times what happens is you [come up with](#) these ideas, and you never get to try them really, until maybe a read-through of the thing. [But even if you feel like](#) you're not ready to [expose](#) the guy yet -- even in a read-through, like the read-through for Wonka I read like this, just like me. So you don't really know the guy until you've been the guy. So you don't really know him 'til they [do the sticks](#) and Tim says, "Action!"

So what I did with Lily-Rose, I just, I was talking to her one day and, you know, many times we've played Barbies where she says, you know, "Daddy, don't use that voice," you know, [this and that](#), you know, "Just talk regular." But this one particular time, I started to do the Wonka voice, and she kind of [lit up](#) a little bit, like you know, and [gave me this sort of like](#), "Where's that coming from?" And I thought, "Ah, OK. I think I'm on the right track here." So . . .

translation [▶](#)



**Reporter:** Do you feel like you share an artistic vision with Tim? Do you feel like you [stand in for](#) him as a character in some of his work?

**Depp:** Uh, [boy](#). You know Tim was the guy back in 1990. The only other guy that [went out on a limb](#) and took a chance for me was [John Waters](#) on [Cry-Baby](#). Um, so, you know, so I'll always be thankful to John for that. Tim's risk was quite a bit higher, it was quite, quite a bit [heftier](#) risk, you know, to cast me in, as [Edward Scissorhands](#). And, um, that's something that I will never forget. And I know, also, over the years, he's had to [butt heads with](#) the studio people to get me, to allow me to be in the film, because I wasn't particularly popular at various studios over the years. And he fought long, hard battles and won to get me in. Um, so [that side, there's](#) a bond and a love and a respect that it'll be there forever.

The other side is, [he's . . . just](#) happens to be like, you know, one of the most interesting filmmakers of all time, you know, in my opinion. So, yeah, I just feel really lucky to have been chosen by Tim. I don't know about being his sort of, representing him, but I think we do have similar [outlook](#) on things, similar . . . sensibilities, [similar kind of](#), you know, sense of humor, sense of the [absurd](#), you know . . .

translation ►



## Becoming a Commercial Star

DL Track44

用語解説 語注

**Reporter:** You've always been a respected actor, but you're now a [commercial](#) star. You're getting at least \$37 million for the two movies --

**Depp:** Jesus! Can someone call my business manager? I have a series of questions for him.

**Reporter:** But seriously how has that changed things for you? To be respected as an actor, and suddenly to have this [box office clout](#), you know?

**Depp:** I never, I mean I never really thought about it so much. You know, somebody, mentioned something about, like, some [Forbes](#) list or something. And it just made me laugh. I mean it just didn't make any sense to me at all. But I mean, if that's where they wanna put me this week, that's great, you know. [It] Doesn't necessarily mean I'll be there next week. So I figure if this is what the [ride](#) is for the moment, great. You know, it'll always change. And at the same time, [because I've been doing the things I've, you know, I've chosen to do](#) for quite a pretty good stretch now -- [good stretch of](#) time. And that small core group of people -- I hate to use the word, and won't use the word "fans" -- you know, but this core group of people who have [stuck with](#) me all these years, you know, I feel good for them. You know. These people have stuck with me, and I'm happy for them that they are, you know, now they don't have to [hide their heads in shame](#), hang their heads in shame, at least not so much. Thanks a lot you guys.

translation ▶

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Brian Peck and Greg Dale*



ジョニー・デップは、最近の主演映画、『チャーリーとチョコレート工場』の役作りで影響を受けたものについて、愛娘とのバービー人形ごっこについて、そしてティム・バートン監督との長年にわたる協力関係について、話しています。



# 『チャーリーとチョコレート工場』

 [DL](#)  [Track40](#)

記者：ウィリー・ウォンカ役を演じることの魅力は何だったのですか？

ジョニー・デップ：そうですね・・・僕は・・・

記者：ジーン・ワイルダーのファンだったのですか？

デップ：まあ、もちろんジーン・ワイルダーのファンではありましたが、それでこの作品に出ようと思ったわけではないんです—— そう、当初は、たとえ素材そのものが、ロアルド・ダールの作品は大好きで、つまり素材は魅力的な要素の1つでした、間違いなく—— ですが、何よりも、僕にやってほしいと頼んできたのがほかならぬティムだったという事実なんです、おわかりでしょう？ つまり、ティムが言ってきたからです。ですから、そうです、ティムが、ティムこそが、その・・・

記者：きっかけのようなもの、だったのですか？

デップ：そう、彼がまず最初に、ダイヤモンドのような存在でしたね。その上、幸運にもこの素材、そしてあの役柄だったわけです。最高に素晴らしい機会ですよ。ティムから話があつた瞬間から、そして、「やります」と僕が答えた瞬間から、大きなリスクを伴うことになるってわかっていました、そう、いともたやすく台無しにしかねないわけですから。ですが、それもまた、役者にとってはすごく面白い状況なんですよ、そう、困難を伴うということは。

記者：「台無しにする」とおっしゃるのは、原作のファンが、あなたの演技を気に入らないかもしれないというリスクのことをおっしゃっているのですか？

デップ：原作のファン、1971年版映画のファンです。その、これは非常に愛されている役柄で—— 原作のファンはもちろん、あの映画でのジーン・ワイルダーの素晴らしい演技もありますからね。だからジーン・ワイルダーから、彼が足跡を残した領域から遠く離れたところに（ウォンカ像を）持つていかにくちやいけないとわかっていました。それに、あの素晴らしい素材があつて、ロアルド・ダールの、そして、それが映画になった場合ダールならどんなものを見たかただろうか、と解釈するよう試みたわけです。「どんな人物像なら気に入ってもらえたでしょうか？」ってね。そして、あの話には暗さと明るさが共存しているんですよ、さらには破滅的な感情が底流にあつて、あの役柄にはゆがんだ、倒錯したような側面があるものですから、僕はただ、自分で正しいんじゃないかと思える方向に走っていったのです。

【原文】[▶](#)



# ゆがんだ社交術

 [DL](#)  [Track41](#)

記者：この映画では、社交性がほぼ完全に欠落している人間を演じることを幾分楽しまれていますか？

デップ：そうですね。社交性がまったくない——少なくとも少々ゆがんだ——人間を演じるのは、確かに楽しかったです。そう、こういう人物を演じるのは、理由は何であれ楽しいもので——そうですね、こうした人物、例えばウォンカや、別の例を挙げると、キャプテン・ジャックや、『ラスベガスをやっつけろ』のラウル・デュークだとか——僕だったらそんなことをするなど夢にも思わないようなことをやってのけたり、自分だったら絶対にする気になれないような話し方で人に話し掛けたりするような人たちですね。ですから、それ（そういう人物を演じること）は極めて愉快ですし、変な意味で、非常に安心感があるものなんです。いったん彼らのように話すことや、彼らになり切ることを会得してしまえば、ものすごく安心感があると思います。

【原文】[▶](#)



# ウィリー・ウォンカの声

 [DL](#)  [Track42](#)


記者：ウィリー・ウォンカの声は、どうやって決められたのですか？

デップ：ええと、おかしいんですけど、というのもウォンカに関しては・・・だって、僕は絶対に、決して、そう、独りで脚本やなんかを読んでいるときに、役になり切って本読みをしていることに自分で気付いたら、恥ずかしくて死にそうになると思います。そんなことをした自分を許せないんじゃないでしょうか。それでウォンカ（の役づくり）についてやったことが、特に1つありまして、娘を相手に実験のようなことをしてみました。リリー＝ローズを相手に、そう、正しい方向に向かっているという感触を得られるか試してみました。

記者：お嬢さんを相手に、役の練習や脚本の読み合わせをなさったのですか？

デップ：いえいえ。ただ、声だけです。彼の声色だけです。なぜなら、たいていの場合、どういうことが起こるかということ、幾つかのアイデアが浮かんでも、おそらく脚本の読み合わせのときまで、実際に試すことはないわけです。でも、まだこの人物を表に出す準備ができていないと感じたとしても —— 読み合わせの段階になっても、例えばウォンカの読み合わせのとき、私はこの声、地声で読みましたから。ですから、その役柄になり切るまでは、まだまだその人物を本当に知っているとはいえません。というわけで、カチンコが鳴って、ティムが「アクション！」と言うまで、完全にはわからないのです。

ですから、私がリリー＝ローズと何をしたかといいますと、私はただ、ある日、彼女と話していて、そう、これまでも娘とバービー人形ごっこをしているときに、「パパ、そんな声を出さないで」とか何とか、「ちゃんと普通にしゃべって」なんて言われることがしょっちゅうありました。でも、このときばかりは、今回のウォンカの声色を使って話し始めると、娘の顔が、少しばかりバツと明るくなって、そう、「その声どこから出てるの？」とでも言いたげな表情を私に向けました。それで、「よし。この方向で間違っていないな」と思ったのです。ですから・・・

[【原文】](#) 



# 監督と芸術的視点を分かち合う

 [DL](#)  [Track43](#)

記者：ティムさんとは、芸術的視点を分かち合っているとお感じになりますか？ 彼の作品の幾つかでは、登場人物として監督の代わりを務めていると感じることはありますか？

デップ：うーん、そうだな。**1990**年当時、ティムしかいなかったのです。彼以外に唯一、危険を冒してまで僕に賭けてくれたのは、『クライ・ベイビー』で起用してくれた、ジョン・ウォータース監督だけでした。えっと、ですから、そのことについてはジョンにずっと感謝続けるでしょう。ティムが取ったリスクはそれよりはるかに大きいものでした、かなり、かなり大きなリスクだったんですよ、そう、僕をエドワード・シザーハズ役に据えたのはね。そして、そう、それは僕が決して忘れることのない事実なんです。そしてまた、これまでずっと彼が、僕を使うため、彼の作品に僕が出演できるようにするため、映画会社の連中と相当やり合わなければならなかったことも知っています。というのも、僕は長い間、あちこちの映画会社でそれほど人気がありませんでしたから。それで彼は、僕を出演させるために、長く困難な闘いをくぐり抜けて、勝ったのです。ですからその面では、そこにはきずなと愛と尊敬があつて、それは永久に存在し続けるでしょう。

また別の側面としては、彼は・・・偶然にも、史上最も面白い映画監督の一人だということなんです、僕に言わせると。ですから、ええ、ティムに選ばれたということとはものすごく幸運だったと思っています。僕が彼の、彼を多少なりとも象徴しているかどうかはわかりませんが、確かに物の見方が似ている部分はあるかと思えます。似たような・・・感性、似たような、そうですね、ユーモアのセンス、何をくだらないと思うかというセンスを持っているんじゃないでしょうか。

【原文】 [▶](#)



# 孤高の俳優からドル箱スターへ

**DL** **Track44**

記者：あなたは常に尊敬される役者でしたが、今ではドル箱スターでもいらっしゃいます。2本の映画（撮影中の『パイレーツ・オブ・カリビアン』の2本の続編）で、少なくとも**3700万ドル（約40億円）**の収入を得ていらっしゃって――

デップ：なんてことだ！ 誰か僕のマネジャーに電話をつないでくれますか？ 彼に聞きたいことが幾つかあるんで。

記者：でも、まじめな話、それであなたにとって物事はどんなふうになりましたか？ 役者として尊敬される存在であるばかりか、突如として興行収入に影響を持つようになるということは？

デップ：僕は、何ていうか、僕はそうしたことをあまり真剣に考えたことはないんですよ。誰かが、何か、『フォーブス』のリストか何かのことを言っていました。それを聞いても笑ってしまっただけです。何しろ、僕にとってはまったく意味のないことですから。とはいえ、今週は僕をそういう位置に置きたいというなら、それは結構な話です。だからといって、必ずしも来週もそこにいられるというわけではありません。ですから、それが今の波であるなら、それはそれで結構なことだと思っています。そんなものは、常に変わりゆくものです。それと同時に、僕は、そう、自分がやろうと決めたことを、もうかなり長いことやってきました―― ずいぶん長い間ね。そして、人々の小さなコアグループ―― この言葉を使うのが嫌いなので、「ファン」という言葉は使いませんが―― でも、長年の間僕を支持し続けてくれた、この中核的なグループがあって、彼らのためにはよかったと思っています、ええ。この人たちは、ずっと僕を応援し続けてくれましたから、彼らが、そう、（僕のファンだと名乗ることで）人目を忍んだり、恥ずかしい思いをしたりせずにすむようになったのなら、まあ少なくとも以前ほどではないなら、彼らのためにうれしく思います。皆さんありがとうございました。

【原文】[▶](#)



# Vocabulary List

## A

□**as luck would have it** 幸運にも、運良く、折よく

## B

□**blow it** (計画などを) 台無しにする

□**box office** (興行の) 売り上げ

□**boy** わあ、おや

□**bring oneself to do** ～する気になる

□**butt heads with** ～ ～と衝突する、～とぶつかる

## C

□**catalyst** 触媒の働きをする人、きっかけ

□**clout** 強い影響力、勢力

□**collaboration** 協力、協調

□**come up with** ～ ～を思い付く

□**commercial** 利益になる、もうかる

## D

□**definitely** 確かに、間違いなく

## E

□**expose** さらす

## F

□**first and foremost** いの一番に、真つ先に

## G

□**gave me this sort of like** ★= gave me this sort of look

□**go out on a limb** 危険を冒す、不利な立場になる

□**good** かなりの

□**good stretch of** ～ たくさんの～ ★stretch は「ひと続きの時間」の意。

## H

□**hefty** かなりの

□**hide one's head in shame** 恥じて人目を避ける、恥じて顔を背ける

## L

□**light up** 明るくなる

## M

□**mortify** (～に) 屈辱を感じさせる、(～を) 辱める

## N

□**no ~ whatsoever** ～のかけらもない、少しの～もない

## O

□**outlook** 見地、観点

## P

□**perverted** 倒錯の、ゆがんだ

## R

□**read-through** (劇の) 本読み、読み合わせ

□**ride** 扱い

## S

□**seductive** 魅惑的な

□**social skill** 社会能力、社交術

□**sort of** 多少、幾らか

□**stand in for** ～ の代理を務める

□**stick with** ～ ～と一緒にいる、～を支持する

□**stomp** どっしりした足取りで歩く、踏みつける

□**subversive** 破壊的な、覆すような

## T



- this and that** あれやこれや
- twisted** ゆがんだ、ハイになった

**U**

---

- undertone** 秘められた感情、底流



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	デップが <i>Charlie and the Chocolate Factory</i> に出演しようと思ったきっかけは、監督ティム・バートンの誘いが何よりも大きい。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	デップは出演を決める際に、この映画の原作や役柄についてはそれほど引かれるものはなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<i>Charlie and the Chocolate Factory</i> の原作や、1971年版映画の人気は、今回主演を演じるデップにとってプレッシャーになることはなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	この映画の主人公のように、社交性に欠ける人物を演じることは、デップにとって苦手なことであり、苦痛が多かった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	デップには娘がいて、一緒にバービー人形遊びをしたりする。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	デップは、自分の演じるウォンカの声を、自分の妻を相手に実験し、つくり出した。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	バートン監督は、これまでもデップを起用するのに映画会社と困難な交渉をやったのけてきた、とデップは言う。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	デップは、バートンの物の見方や感じ方が自分に似ていると感じている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	デップは、今やドル箱スターになったことについて、今後の映画作りでは興行収入の面で責任が重くなるという。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	デップは、自分を支持し続けてくれた人たちを「ファン」と呼ぶのを好まない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	デップが <i>Charlie and the Chocolate Factory</i> に出演しようと思ったきっかけは、監督ティム・バートンの誘いが何よりも大きい。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	デップは出演を決める際に、この映画の原作や役柄についてはそれほど引かれるものはなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<i>Charlie and the Chocolate Factory</i> の原作や、1971年版映画の人気は、今回主演を演じるデップにとってプレッシャーになることはなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	この映画の主人公のように、社交性に欠ける人物を演じることは、デップにとって苦手なことであり、苦痛が多かった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	デップには娘がいて、一緒にバービー人形遊びをしたりする。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	デップは、自分の演じるウォンカの声を、自分の妻を相手に実験し、つくり出した。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	バートン監督は、これまでもデップを起用するのに映画会社と困難な交渉をやったのけてきた、とデップは言う。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	デップは、バートンの物の見方や感じ方が自分に似ていると感じている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	デップは、今やドル箱スターになったことについて、今後の映画作りでは興行収入の面で責任が重くなるという。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	デップは、自分を支持し続けてくれた人たちを「ファン」と呼ぶのを好まない。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



## 用語解説

### ***Charlie and the Chocolate Factory***

『チャーリーとチョコレート工場』 ★アメリカ／イギリス映画（2005年）。監督ティム・バートン。児童文学の古典的作品である、ロアルド・ダール原作のファンタジー、『チョコレート工場の秘密』の2度目の映画化。

[▶本文に戻る](#)

### **Barbie (doll)**

バービー（人形） ★アメリカで人気の人形の商標名。

[▶本文に戻る](#)

### **Tim Burton**

ティム・バートン ★（1958-）。アメリカの映画監督。代表作に、『ビートルジュース』（'88年）、『バットマン』（'89年）、『マーズ・アタック！』（'96年）など。

[▶本文に戻る](#)

### **Willy Wonka**

ウィリー・ウォンカ ★小説『チョコレート工場の秘密』に登場する、チョコレート工場のエキセントリックなオーナー。

[▶本文に戻る](#)

### **Gene Wilder**

ジーン・ワイルダー ★（1933-）。アメリカの俳優。小説『チョコレート工場の秘密』が、『夢のチョコレート工場』（'71年）として最初に映画化された際、ウィリー・ウォンカ役を演じた。

[▶本文に戻る](#)

### **Roald Dahl**

ロアルド・ダール ★（1916-90）。イギリスの小説家。代表作に『おばけ桃の冒険』『マチルダはちいさな大天才』ほか。

[▶本文に戻る](#)



## Captain Jack (Sparrow)

キャプテン・ジャック（・スパロー） ★『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』でデップが演じた海賊船の船長。ローリング・ストーンズのギタリスト、キース・リチャーズを参考にしたといわれる名演技で、デップはアカデミー主演男優賞にノミネートされた。

[▶本文に戻る](#)

## Raoul Duke

ラウル・デューク ★『ラスベガスをやっつけろ』でデップが演じたドラッグ中毒のスポーツ記者。

[▶本文に戻る](#)

## *Fear and Loathing (in Las Vegas)*

『ラスベガスをやっつけろ』 ★アメリカ映画（1998年）。監督テリー・ギリアム。出演ジョニー・デップ、ベニチオ・デル・トロ。ドラッグ漬けの記者（デップ）と弁護士（デル・トロ）がラスベガスを目指すロード・ムービー。

[▶本文に戻る](#)



# Lily-Rose (Melody Depp)

リリー＝ローズ（・メロディー・デップ） ★デップと、ヴァネッサ・パラディ（フランスの歌手・女優）との間に生まれた長女。2002年には長男ジャックも生まれている。

[▶本文に戻る](#)

---



## John Waters

ジョン・ウォータース ★（1946-）。アメリカの映画監督。"悪趣味の巨匠"と称され、毒気たっぷりの作風で知られる。代表作は、『ピンク・フラミンゴ』（'72年）、『シリアル・ママ』（'94年）など。

[▶本文に戻る](#)

## Cry-Baby

『クライ・ベイビー』 ★アメリカ映画（'90年）。監督ジョン・ウォータース。出演イギー・ポップ、ウィレム・デフォー。'50年代の高校を舞台にしたミュージカル。

[▶本文に戻る](#)

## Edward Scissorhands

エドワード・シザーハンズ ★映画『シザーハンズ』（'90年）でデップが演じた主人公の名前。生みの親の発明家が完成間近に急逝し、両手が鋭いハサミという姿のままで生きていかなければならない人造人間、という役どころ。

[▶本文に戻る](#)



## **Forbes**

『フォーブス』 ★アメリカのビジネス誌。1917年創刊。Forbes list とは、同誌が毎年発表している、「最も勢力のある有名人100人」のこと。デップは2005年度のリストで7位に選ばれている。

[▶本文に戻る](#)

---

## **because I've been doing the things . . . I've chosen to do**

★デップが下積み時代から現在まで長年にわたって、ハリウッドの主流から外れるような作品選びをしながら俳優としてのキャリアを築いてきたことを指している。

[▶本文に戻る](#)

---



# 語注

## collaboration

協力、協調  
[▶ 本文に戻る](#)

## definitely

確かに、間違いなく  
[▶ 本文に戻る](#)

## drag A in ~

Aを～に引っ張り込む ★ここでは～に当たる部分（this film など）が省略されている。  
[▶ 本文に戻る](#)

## seductive

魅惑的な  
[▶ 本文に戻る](#)

## catalyst

触媒の働きをする人、きっかけ  
[▶ 本文に戻る](#)

## first and foremost

いの一番に、真っ先に  
[▶ 本文に戻る](#)

## as luck would have it

幸運にも、運良く、折よく  
[▶ 本文に戻る](#)

## blow it

（計画などを）台無しにする  
[▶ 本文に戻る](#)

## you know, to, the challenge

★you know, to be challenged と言おうとしたと思われる。  
[▶ 本文に戻る](#)

## stomp

どっしりした足取りで歩く、踏みつける  
[▶ 本文に戻る](#)

## subversive

破壊的な、覆すような  
[▶ 本文に戻る](#)

## undertone

秘められた感情、底流  
[▶ 本文に戻る](#)

## twisted

ゆがんだ、ハイになった  
[▶ 本文に戻る](#)

## perverted

倒錯の、ゆがんだ  
[▶ 本文に戻る](#)



## sort of

多少、幾らか

[▶ 本文に戻る](#)

---

## no ~ whatsoever

～のかけらもない、少しの～もない

[▶ 本文に戻る](#)

---

## social skill

社会能力、社交術

[▶ 本文に戻る](#)

---

## good

かなりの

[▶ 本文に戻る](#)

---

## bring oneself to do

～する気になる

[▶ 本文に戻る](#)

---



## mortify

(～に) 屈辱を感じさせる、(～を) 辱める

[▶ 本文に戻る](#)

---

## So I did

★So what I did のつもり。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## read-through

(劇の) 本読み、読み合わせ

[▶ 本文に戻る](#)

---

## come up with ～

～を思い付く

[▶ 本文に戻る](#)

---

## But even if you feel like . . .

★But even if you're not ready...などと言おうとして、言い直したものと思われる。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## expose

さらす

[▶ 本文に戻る](#)

---

## do the sticks

棒を鳴らす ★clapper board (カチンコ) の可動部分の棒をsticksということから、「(映画撮影用の) カチンコを鳴らす」という意味と思われる。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## this and that

あれやこれや

[▶ 本文に戻る](#)

---

## light up

明るくなる

[▶ 本文に戻る](#)

---

## gave me this sort of like

★= gave me this sort of look

[▶ 本文に戻る](#)

---



## stand in for ~

～の代理を務める

[▶本文に戻る](#)

---

## boy

わあ、おや

[▶本文に戻る](#)

---

## go out on a limb

危険を冒す、不利な立場になる

[▶本文に戻る](#)

---

## hefty

かなりの

[▶本文に戻る](#)

---

## butt heads with ~

～と衝突する、～とぶつかる

[▶本文に戻る](#)

---

## that side, there's

★正しくは on that side, there's。

[▶本文に戻る](#)

---

## he's . . . just

★正しくは he just。

[▶本文に戻る](#)

---

## outlook

見地、観点

[▶本文に戻る](#)

---

## similar kind of

★正しくは a similar kind of。

[▶本文に戻る](#)

---

## absurd

ばかばかしさ、不合理なもの ★ここでは sense of the absurd で「何をばかばかしいと思うかという感覚」を表す。

[▶本文に戻る](#)

---



## commercial

利益になる、もうかる

[▶本文に戻る](#)

---

## box office

(興行の) 売り上げ

[▶本文に戻る](#)

---

## clout

強い影響力、勢力

[▶本文に戻る](#)

---

## ride

扱い

[▶本文に戻る](#)

---

## good stretch of ~

たくさんの～ ★stretch は「ひと続きの時間」の意。

[▶本文に戻る](#)

---

## stick with ~

～と一緒にいる、～を支持する

[▶本文に戻る](#)

---

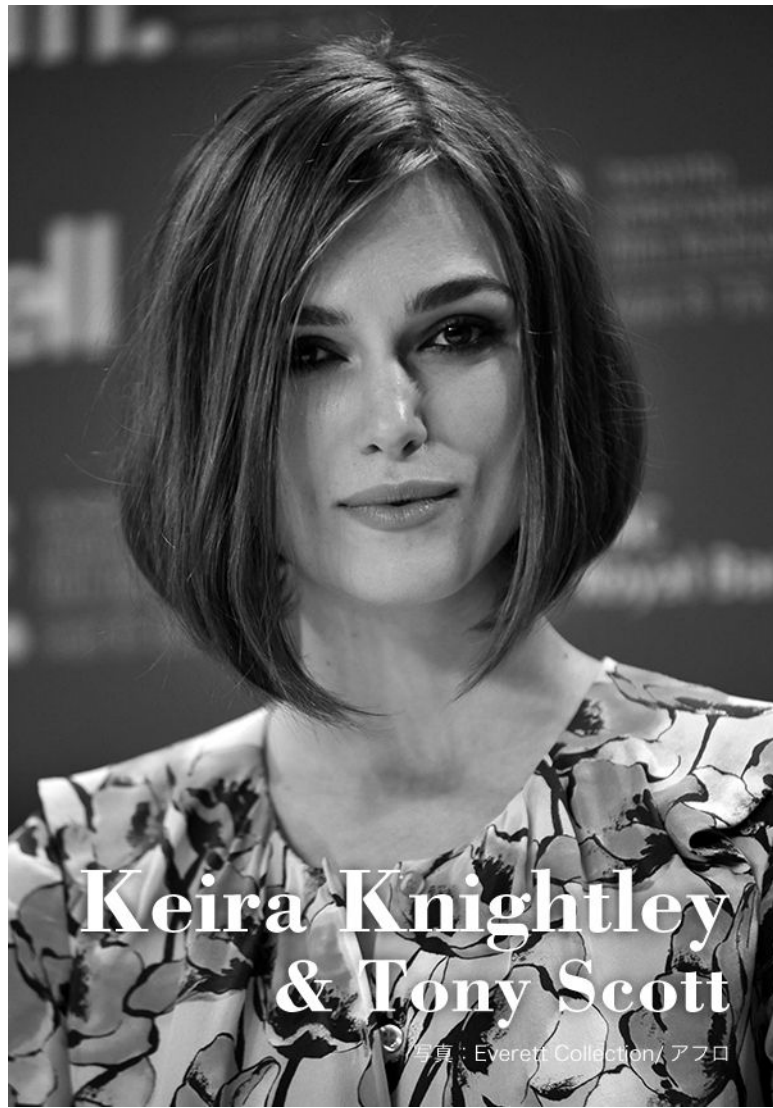
## hide one's head in shame

恥じて人目を避ける、恥じて顔を背ける ★この後の、hang one's head in shame も同じ意味。

[▶本文に戻る](#)

---





# Keira Knightley & Tony Scott

写真: Everett Collection / アフロ







イギリスの若手女優が挑んだ意欲作

# Keira Knightley & Tony Scott

“I like seeing different characters, different walks of life. I think that’s what fascinates me about it.”

「いろいろな人物やいろいろな職業を見るのが好き。私はこの仕事のその点に魅せられているんだと思うわ」

## Supervising Editor’s Comment

かなりの早口だ、しかも、一本調子で畳み掛けるように一気に話す。発音は、オーランド・ブルーム同様、英国南部の大衆的な特徴がある。語中や語末の[t]が喉を絞める音になっている点だ。このため[t]は聞こえなくなり、発音はかなり切れ切れに聞こえるようになる。なお、Knightleyの発音は[náitli:]である。

トニー・スコット監督は、訛りは目立たないが、発音が不明瞭でやや聞き取りにくい。

Interview Data	
収録日	2005年9月17日
収録地	ビバリーヒルズ（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	やや訛りあり

キーラ・ナイトレイ／トニー・スコット

Keira Knightley/ Tony Scott

キーラ・ナイトレイ

1985年3月26日、イギリス・旧ミドルセックス州生まれ。父親は舞台俳優、母親は劇作家。9歳で映画デビュー後、『スター・ウォーズ エピソード1』（'99年）で注目を集め、『パイレーツ・オブ・カリビアン』（2003年）で一躍トップスターの仲間入りを果たす。

トニー・スコット

1944年7月21日、イギリス・ストックトン生まれ。代表作に『トップガン』（'86年）、『クリムゾン・タイド』（'95年）など。

新進気鋭の若手イギリス人女優キーラ・ナイトレイが、主演映画『ドミノ』で演じた伝説の賞金稼ぎ役や、銃やギャングの世界について、共演者について、『ドミノ』監督のトニー・スコットとともに語る。同時期に撮影した文芸大作『プライドと偏見』についての話題も。



Over the past few years, Keira Knightley has expanded her [playing field](#) to not only her [native](#) Britain, but also to the U.S. Now she is one of the most [promising](#) young actresses on the screen. In this interview she talks about her recent films, *[Domino](#)* and *[Pride and Prejudice](#)* -- the first, a [biopic](#) about a [legendary bounty hunter](#), and the other, an [adaptation](#) of [Jane Austen](#)'s famous romantic novel. *Domino* director, [Tony Scott](#), joins her in this interview. Let's hear what they have to say.



---

## From *Pride and Prejudice* to *Domino*

DL Track47

[用語解説](#) [語注](#)

---

**Reporter:** Keira, this officially [marks](#) the beginning of Keira Knightley season at the theaters. We're going to be seeing a lot of you between now and the end of the year, aren't we?

**Keira Knightley:** Not too much, I've got two films coming out. But they're both very different, so I think that's all right.

**Reporter:** Well, how does that feel, the way there's going to be . . . ?

**Knightley:** It's good. You know what? I've got two projects coming out that are completely different from each other and that I am really, really, really proud of, [both](#). And I can safely say that they're two films I think I've got something in there for everybody -- got a bit of romance in *Pride and Prejudice* and rock'n'roll in *Domino*. So, [what more can an actress ask for?](#)

**Reporter:** Weren't you nervous about just jumping into it like that? I mean, your head must have been [spinning](#).

**Knightley:** Yeah, it was really, really, difficult. I was completely [freaked out](#). I had four days [in-between](#) *Pride and Prejudice* and *Domino*, and I couldn't [get my head into it](#) at all. And Tony kept on [phoning up](#) when I was on the set of *Pride* and was desperately trying to have conversations and I couldn't do it. So [on one of my days off from \*Pride and Prejudice\*](#) I was walking along the street and passed a [hairstylist's](#), and I went in and thought, "Right, I'll cut [Lizzie Bennet](#) out of my hair." So I went in and cut all my hair off. And it worked!

translation [▶](#)



**Reporter:** But especially because [she](#) was alive during the production of the filming, what does that add to the sense of responsibility? You wanna create a character, but you have a real person whose life you are sort of [portraying](#).

**Knightley:** You know what I just thought, if I was truthful to whatever emotions the character [was meant to feel](#), then I kind of figured that that was [cool](#). I just thought as long as I wasn't sort of [taking the piss out of](#) the situation, or doing a kind of very [one-dimensional take](#) on it, then that would be all right. And I did ask Domino a couple of times, you know, whether there was anything that she specifically wanted me to do or not to do, and she just kept saying, "Do what you want." So actually, I didn't feel [confined](#) by anything. It was quite free. And Tony kept saying, you know, "This is your character . . . do it." So it was fine.

**Reporter:** What's the impact of having the real-life Domino pass away before the movie comes out? I can't imagine.

**Tony Scott:** Impact? You mean in terms of -- [commercially](#)?

**Reporter:** On you.

**Scott:** On me? It was tough because, [as I say, it wasn't unexpected](#), because [\\*she had put Don Simpson](#), him and [Domino in the same sort of category](#), you know, even though I was very close to both of them. And they led such a sort of extraordinary [checkered](#) life and touched the dark side so many times. And then when it happened it wasn't something that was a total shock. It still hurt the same, though, 'cause I've known her for a long time. And she spent a lot of time with me over the years, you know, so. But the impact on the movie -- when I see the end of the movie, it gives me a tear, without sounding [corny](#), because that was always the way the movie was constructed long before she died. And her music, that voice you hear singing "[Heads You Live, Tails You Die](#)," that's her singing it. And I put it on the beginning of the movie and at the end. And that was always constructed like that, so we weren't [capitalizing, you know, off](#) her death. And the only thing that changed was "[In loving memory](#)."

translation ▶



## Clueless About Gangs

DL Track49

語注

**Reporter:** Keira, could you talk about working with guns and gangs?

**Knightley:** I've never worked with guns before. They completely freaked me out. When we did the scene with the two machine guns, I got so freaked out the first time I shot them I [burst into tears](#), which isn't very Domino at all. And then got really, really scared, and I thought, "Well, if I shoot, if I practice with these one more time, I won't actually be able to do, [with](#), the scene." So we did the first shot, and he shouted "Action!", and I was meant to [pop up](#) with the machine guns, and my knees completely [locked](#), 'cause I was so freaked out and I couldn't stand up. And he just went, "Right, OK, listen, I'm gonna shout, 'Action,' and you just start screaming, and I [guarantee](#) if you scream then you'll be able to do it." And I did. But it totally freaked me out. Completely.

**Reporter:** What a girl!

**Knightley:** [There you go!](#)

**Reporter:** What did you learn about that kind of [underside](#), or [underworld](#) that you [had no clue about](#) before doing this movie?

**Knightley:** Oh, I didn't have any clue about anything. I mean, nothing at all, and I, I still don't. I don't [pretend to know](#) anything about it. It was fascinating being, as I was a 19-year-old from London, coming in and seeing this very, well, a side of L.A. that I'd never seen before was amazing. But that's why I like what I do. I like seeing different characters, different [walks of life](#). I think that's what fascinates me about it.

translation ►



**Reporter:** How did you enjoy the [lap-dance](#) scene?

**Knightley:** Amazing! It was an amazing experience. That entire lap-dance scene was actually in my first week of filming. [So if ever](#) that's gonna kind of get you into the [mood](#), then doing something like that will! But no, I mean, the guys in that scene, I think, were members of a gang. And they were . . . I thought they were fantastic. A: fantastic actors. Really, really good. And B: terribly respectful and very nice to me.

**Reporter:** \*You were saying that the lap-dance scene came very [early on](#) in the movie.

**Knightley:** Yeah.

**Reporter:** What about the [topless](#) scene you had with [Edgar](#)?

**Knightley:** Yeah, that came quite late in the movie. '[Bout topless](#) in the middle of the desert -- I'm afraid I'm European, so I don't have a problem with showing my top half at all. So it was fine. It was quite [liberating](#), actually, doing that in the middle of the desert. I've never been topless in the desert before, so I enjoyed it. With a very beautiful [Venezuelan](#) as well, what a lucky girl!

**Reporter:** Can you both talk about working with [Mickey Rourke](#)?

**Scott:** Yeah.

**Knightley:** I love Mickey.

**Reporter:** Why?

**Knightley:** Why? I love Mickey because he's amazing, because he [can't help but be](#) who he is, and because he's one of the most sensational actors, I think, [of all time](#).

**Reporter:** Keira, could you give us just, like, one little [bite](#) about getting into *Pride and Prejudice*? I think you told us once that you were one of the kids who would rush home to watch it on [BBC](#).

**Knightley:** Well, I think *Pride and Prejudice* is one of the most beautiful books ever written, and I think that we've made a truly beautiful film. It's one of the greatest romances of all time. I [defy anyone not to](#), at least, like it.

translation ►

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Peter von Gomm*



ここ数年で、キーラ・ナイトレイは祖国イギリスだけでなく、アメリカにも活躍の場を広げ、いまや最も将来が期待される若手映画女優の一人です。このインタビューで、彼女は最近の出演作『ドミノ』や『プライドと偏見』について話してくれます——前者は、伝説的な賞金稼ぎについての伝記映画、後者は、ジェーン・オースティンの有名な恋愛小説を映画化した作品です。『ドミノ』の監督を務めたトニー・スコットもこのインタビューに参加しています。それでは、彼女たちの話を聞いてみましょう。



## 『プライドと偏見』から『ドミノ』へ

 **DL**  **Track47**

記者：キーラさん、これ（この記者会見）は、映画館でのキーラ・ナイトレイ・シーズンの開幕を高らかに告げるものですね。これから年末までに、（スクリーンで）あなたをたびたびお見掛けするわけですね？

キーラ・ナイトレイ：それほどでもないんですけど。公開予定なのは2本ですから。でも、この2つは両方ともすごくタイプの違う作品なので、いいと思いますよ。

記者：ところで、どんな感じですか、そういう（2作品が立て続けに公開されるという）のは・・・？

ナイトレイ：素晴らしいことです。だって、お互い全然タイプが違って、どっちも私がものすごく光栄に思っている2つの出演作が公開されるんですもの。そしてこの2本とも、私の演じた役は万人の心をとらえるものがあると言っていいと思います——『プライドと偏見』ではちょっとしたロマンス、『ドミノ』ではロックンロール。女優として、これ以上何を望めるでしょうか？

記者：そんなふうにそっち（『ドミノ』）にボンと飛び込むことに不安はなかったんですか？　つまり、頭がぐるぐる回っちゃったでしょう。

ナイトレイ：ええ、ものすごく大変でしたね。まさにパニック状態でした。『プライドと偏見』と『ドミノ』の間は4日しかなくて、『ドミノ』に全然集中できませんでした。『プライドと偏見』のセットに入っているときにトニーから何回も電話があつて、必死になつて話をしようとしたんですけど、できなくて。それで、『プライドと偏見』の撮影が終わったオフの日に、街を歩いていて美容院の前を通り掛かったんです。で、中に入っていって、「よし、この髪からリジー・ベネットを切り落としてやろう」と思いました。それで店に入って、髪をすっかり短くしたんです。そうしたら効果がありました！

【原文】[▶](#)



# ドミノの死

 [DL](#)  [Track48](#)

記者：ところで、特に作品の製作段階ではご本人が生きていらっしやいましたから、そのことで責任感にさらに何か加わったりしましたか？　ある人物像をつくり上げたい、でも実在の人間がいて、あなたはその人の人生をいわば演じているわけですね。

ナイトレイ：私はとにかく、どんなものであれ、その人物が抱くはずの感情に忠実であれば、それでいいんじゃないか、というふうに思ったんです。状況を見くびったり、それについてごく表面的なとらえ方をしたりしていない限り、大丈夫だろうって。ドミノに何度か実際に聞いてみたんですよ、彼女が特に私にやってほしいことや、やってほしくないことがあるかどうか。すると彼女はいつもただ「あなたのやりたいようにやって」と言っていました。ですから、実を言うと、何かに縛られている感じはなくて、まったく自由でした。トニーにもずっと、「これは君の役柄なんだ・・・。やってみなさい」と言われていました。その点はよかったですね。

記者：映画の公開前に現実のドミノが亡くなったことで、どんな影響があるのでしょうか？　私には想像がつかないのですが。

トニー・スコット：影響って？　つまり—— 興行的に、ということですか？

記者：あなたへの影響ということですか。

スコット：私への影響？　つらかったですよ。前にも申し上げたように、予想外のことでではなかっただけにね。ドン・シンブソンとドミノは同じようなタイプでしたから。私はどちらともとても親しかったです。2人とも並外れた波乱万丈の人生を送り、闇の部分に何度もかわりました。だから、ドミノが亡くなったとき、まったくの不意打ちを食らったというわけではなかったんです。つらかったことに変わりはありませんがね。彼女は長年の知り合いでしたから。何年にもわたって、多くの時間を共に過ごしましたし。ただ、映画への影響については—— 映画の結末を見ると、涙が出ますね、お涙ちょうだいな感じではなく。というのも、彼女が亡くなるずっと前から、この映画はそういうふうに構成されていましたから。そして、彼女の曲、"Heads You Live, Tails You Die" を歌っている声、あれを歌っているのは本人です。それから、映画の冒頭と結末に本人を登場させています。でも、あれはもともとそういう作りになっていたもので、ですから、その、彼女の死を利用していいわけじゃありません。変更したのは唯一「記念して」という（テロップの）ところだけでした。

[【原文】](#) [▶](#)



# ギャングという未知の世界

 [DL](#)  [Track49](#)

記者：キーラさん、銃やギャング相手の仕事について話していただけますか？

ナイトレイ：それまで銃を扱ったことはなくて、完全にパニック状態でした。2丁のマシンガンを持つシーンを撮影したとき、すっかり神経が高ぶって、初めて撃つときは泣き出してしまいました。まったくドミノらしくない話ですが。それですっかりおじけづいて、「もし撃つなら、もう1回これを練習するなら、本番のシーンはとてもやれないわ」と思いました。それで、1回目の撮影で、トニーが「アクション！」と叫ぶと、私がマシンガンを手にとり登場するはずだったんですが、パニック状態でひざがすっかり凍りついてしまい、立ち上がれませんでした。するとトニーが言ったんです、「わかった。よし、いいか、私が『アクション！』と叫んだら、とにかく悲鳴を上げてみろ。悲鳴が出せれば、必ずできる」って。で、やりました。でも、すっかりパニックでしたね。もう完全に。

記者：大した子だね！

ナイトレイ：また、そんな！

記者：この作品にかかわる前はまったく知らなかったような、そういう暗部、というか悪の世界について、何を学ばれましたか？

ナイトレイ：そう、全然知らなかったんです。つまり、何ひとつ。今でも知りません。何か知っているとかえて言うつもりはありませんし。興味深かったですよ、私はロンドン出身で19歳だったので、こういうすごく、それまで見たことのなかったロサンゼルス的一面を目にするのはすごく面白かったです。でも、だからこそ、私は自分の仕事が好きなんです。いろいろな人物やいろいろな職業を見るのが好きです。私はこの仕事のその点に魅せられているんだと思います。

【原文】[▶](#)



# ラッキーガール

 [DL](#)  [Track50](#)

記者：ラップダンスのシーンは楽しかったですか？

ナイトレイ：すごかったですよ！　素晴らしい体験でした。ラップダンスのシーンはすべて、実は私が撮影に入った最初の週に撮ったんです。まあ、もしあれでその気になるとしたら、ああいうのこそまさにそうでしょうね！　でもその、あのシーンに出てきた人たちはギャングのメンバーだったと思います。彼らは・・・彼らは素晴らしいかったわ。1つ目は、素晴らしい俳優だということ。本当に上手でしたね。そして2つ目は、とっても礼儀正しくて、私によくしてくれたんです。

記者：ラップダンスのシーンは映画のごく最初の方に出てくるとおっしゃいましたね。

ナイトレイ：ええ。

記者：エドガーさんとのトップレスのシーンについてはいかがですか？

ナイトレイ：ええ、あれはだいぶ後の方でしたね。砂漠の真ん中でトップレスになることについては――残念ながらヨーロッパ人なので、上半身をあらわにするのはまったく抵抗がないんです。ですから、大丈夫でしたよ。本当のことを言うと、砂漠の真ん中でそういうことをするのはとても解放感がありました。砂漠でトップレスという経験はなかったので、楽しかったですよ。とてもすてきなベネズエラ人男性がお相手だし、私ってほんとにラッキーね！

記者：ミッキー・ロークさんとの共演についてお話いただけますか？

スコット：ええ。

ナイトレイ：私、ミッキーが大好きなんです。

記者：なぜですか？

ナイトレイ：なぜって？　ミッキーが好きなのは、素晴らしい人だからです。彼はありのままの自分でいずにはいられない人だし、史上最も素晴らしい俳優の一人だと思うからです。

記者：キーラさん、『プライドと偏見』への取り組みについてちょっと話していただけますか？　確かあなたは以前、自分はBBC テレビであのドラマを見るために家に走って帰る子どもだった、とおっしゃっていましたが。

ナイトレイ：ええ、『高慢と偏見』はこれまでに書かれた最も素晴らしい小説の一つだと思いますし、本当に美しい映画になったと思います。時代を問わず、最高に素晴らしいロマンスの一つです。皆さん、この作品がお気に召すと思いますよ。

【原文】[▶](#)



# Vocabulary List

## A

□**adaptation** 翻案、脚色（したもの）

## B

□**be meant to do** ～するはずだ、～するとされている

□**biopic** 伝記映画 ★= biographical picture

□**bite** 少量、一かじり

□**burst into tears** わっと泣き出す

## C

□**can't help but do** ～せずにはいられない

□**capitalize off**～ ～を利用する、～に乗じる、～につけ込む ★ capitalize on～の方が一般的。

□**checkered** 変化に富んだ、多彩な、色とりどりの

□**commercially** 商業的に、営利的に

□**confine** 制限する

□**corny** 感傷的な、お涙ちょうだいの、メロドラマ的な

## D

□**defy A to do** Aに～（不可能なことを）しろと挑む

## E

□**early on** 早くに、初期に

## F

□**freak ~ out** ～をひどく興奮させる、～の自制を失わせる

□**freak ~ out** ～の気を動転させる、～にショックを与える

## G

□**get A into B** AをBに陥れる

□**guarantee** 約束する、請け合う

## H

□**hairstresser's** 美容院 ★**hairstresser** は「美容師」の意味。

□**have no clue about**～ ～のことがまったくわからない ★**clue** は「手掛かり」。

## I

□**in-between** 間に

## L

□**legendary** 伝説的な、伝説に残るような、有名な

□**liberating** 解放する、解放感がある

□**lock** 固定する

## M

□**mark** 特徴づける、目立たせる、はっきり示す

□**mood** 気持ち、気分

## N

□**native** 母国の、出生地の

## O

□**of all time** いまだかつて例を見ない

□**one-dimensional** 一次元の、表面的な、皮相的な

## P

□**phone up** 電話をかける ★= call up

□**playing field** 競技場、グラウンド、活躍の場

□**pop up** ふいに現れる

□**portray** （役を）演じる、表現する

□**pretend to do** （通常、疑問文・否定文で）あえて～しようとする

□**promising** 前途有望な、将来性のある、見込みのある

## S

□**spin** くらくらする、混乱する



## T

---

□**take the piss out of ~** ~をからかう、~をばかにする、~をおちよくる

## U

---

□**underside** 内面、裏面、よくない面

## W

---

□**walk of life** 職業、身分、社会的地位



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ナイトレイと一緒にインタビューに参加しているトニー・スコットは <i>Domino</i> の監督である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<i>Pride and Prejudice</i> と <i>Domino</i> の2作は非常にタイプの異なった作品だが、役柄を切り替えるのに苦労はなかったとナイトレイは言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ナイトレイは、実在のドミノと会って直接話をしたことはない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ナイトレイは <i>Domino</i> で実在の人物ドミノを演じたが、実在しているということで役作りが制約されることはなかったという。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	実在のドミノが映画の公開前に亡くなったことで、映画全般にわたって何カ所か変更を入れたとスコット監督は言う。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	実在したドミノ自身の歌声を映画の中で聞くことができる。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	ナイトレイは、実際に銃を撃つシーンの撮影で、初めてにもかかわらずたやすくやってのけ、スタッフを驚かせた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ナイトレイは、悪の世界については、ロンドンにいるころからある程度の知識は持っていた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ナイトレイは、ラップダンスは素晴らしい体験だったと述べている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	砂漠の真ん中でトップレスになるシーンについて、ナイトレイは、上半身をあらわにするのはまったく抵抗がないと述べている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ナイトレイと一緒にインタビューに参加しているトニー・スコットは <i>Domino</i> の監督である。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<i>Pride and Prejudice</i> と <i>Domino</i> の2作は非常にタイプの異なった作品だが、役柄を切り替えるのに苦労はなかったとナイトレイは言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	ナイトレイは、実在のドミノと会って直接話をしたことはない。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	ナイトレイは <i>Domino</i> で実在の人物ドミノを演じたが、実在しているということで役作りが制約されることはなかったという。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	実在のドミノが映画の公開前に亡くなったことで、映画全般にわたって何カ所か変更を入れたとスコット監督は言う。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	実在したドミノ自身の歌声を映画の中で聞くことができる。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	ナイトレイは、実際に銃を撃つシーンの撮影で、初めてにもかかわらずたやすくやってのけ、スタッフを驚かせた。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	ナイトレイは、悪の世界については、ロンドンにいるころからある程度の知識は持っていた。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	ナイトレイは、ラップダンスは素晴らしい体験だったと述べている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	砂漠の真ん中でトップレスになるシーンについて、ナイトレイは、上半身をあらわにするのはまったく抵抗がないと述べている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# 用語解説

## Domino

『ドミノ』 ★アメリカ／フランス映画（2005年）。俳優の娘に生まれ、自らもモデルとしてスポットライトを浴びながら、生の実感を求めてハウンティ・ハンター（賞金稼ぎ）の道を選んだ実在の女性、ドミノ・ハーヴェイを描いた作品。ハーヴェイ本人は、本作完成直前の'05年6月、自宅で不慮の死を遂げた。享年 35歳。若いころから麻薬中毒に苦しんでおり、ドラッグの過剰摂取が死因ではないかと取りざたされている。

[▶本文に戻る](#)

## Pride and Prejudice

『プライドと偏見』 ★イギリス映画（2005年）。ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見（自負と偏見）』の映画化。

[▶本文に戻る](#)

## Jane Austen

ジェーン・オースティン ★（1775-1817）。イギリスを代表する女性作家の一人で、イギリス近代小説の祖とも称される。代表作に『高慢と偏見』『分別と多感』など。

[▶本文に戻る](#)

## Tony Scott

トニー・スコット ★（1944-）。イギリスの映画監督。画家やCM製作会社勤務などを経て、'83年に『ハンガー』で監督デビュー。代表作に『トップガン』（'86年）、『トゥルー・ロマンス』（'93年）、『クリムゾン・タイド』（'95年）など。

[▶本文に戻る](#)

## Lizzie Bennet

リジー・ベネット ★= Elizabeth Bennet。『プライドと偏見』でナイトレイが演じた役名。

[▶本文に戻る](#)



## Don Simpson

ドン・シンブソン ★（1945-96）。アメリカの映画プロデューサー。ワーナーブラザーズ社のマーケティング・エグゼクティブ、パラマウント社の副社長、製作社長を歴任。その後、ジェリー・ブラッカイマーと組んで製作会社を設立、『フラッシュダンス』（'83年）、『ヒバリーヒルズ・コップ』（'84年）、『トップガン』（'86年）などヒット作を量産するが、薬物の過剰摂取により命を落とす。

[▶本文に戻る](#)

---

## Heads You Live, Tails You Die

（はじいたコインが）表なら生き、裏なら死ぬ ★ドミノの人生を象徴する言葉で、この作品のキャッチフレーズとして用いられている。

[▶本文に戻る](#)

---



## You were saying that the lap-dance scene came very early on in the movie.

★ほかの記者会見などでナイトレイが話した内容に言及していると思われる。あるいは、ナイトレイが、ラップダンスのシーンを「撮影に入った最初の週に撮った」と言ったことを、この記者が「映画の最初の方にある」と誤解してこのように述べているとも考えられる。

[▶本文に戻る](#)

---

## Edgar (Ramirez)

エドガー（・ラミレス） ★（1977-）。ベネズエラ出身の俳優。メキシコ、ベネズエラ、スペイン、チリなどで製作された国際的な作品に出演し、ハリウッド映画へは本作が初登場。本作ではドミノのパウンティ・ハンター仲間、チョコを演じている。

[▶本文に戻る](#)

---

## Mickey Rourke

ミッキー・ローク ★（1956-）。アメリカの俳優。さまざまな職を転々としながら演技を学び、'79年に『1941』で映画デビュー。『白いドレスの女』（'81年）で注目を浴びる。このほかの出演作に『イヤー・オブ・ザ・ドラゴン』（'85年）、『ナインハーフ』（'86年）など。

[▶本文に戻る](#)

---

## BBC

BBC、英国放送協会 ★= British Broadcasting Corporation。1927年設立のイギリスの公営放送。

[▶本文に戻る](#)

---



# 語注

## playing field

競技場、グラウンド、活躍の場

[▶ 本文に戻る](#)

## native

母国の、出生地の

[▶ 本文に戻る](#)

## promising

前途有望な、将来性のある、見込みのある

[▶ 本文に戻る](#)

## biopic

伝記映画 ★= biographical picture

[▶ 本文に戻る](#)

## legendary

伝説的な、伝説に残るような、有名な

[▶ 本文に戻る](#)

## bounty hunter

バウンティ・ハンター、賞金稼ぎ ★逃亡犯などの犯罪者の身柄を拘束するプロの賞金稼ぎ。

[▶ 本文に戻る](#)

## adaptation

翻案、脚色（したもの）

[▶ 本文に戻る](#)

## mark

特徴づける、目立たせる、はっきり示す

[▶ 本文に戻る](#)

## both

★本来は不要。

[▶ 本文に戻る](#)

## what more can an actress ask for?

★反語表現。「これ以上望むことはない」という意味。

[▶ 本文に戻る](#)

## spin

くらくらする、混乱する

[▶ 本文に戻る](#)

## freak ~ out

～をひどく興奮させる、～の自制を失わせる

[▶ 本文に戻る](#)

## in-between

間に

[▶ 本文に戻る](#)

## get A into B

A を B に陥れる ★ここでは、get my head into it で、直訳すると「私の知力をそれ（＝『ドミノ』）に集中させる」となる。head は「知力、頭の働き」の意味。

[▶ 本文に戻る](#)

## phone up

電話をかける ★= call up

[▶ 本文に戻る](#)



## on one of my days off from *Pride and Prejudice*

★文字どおりの意味は、「『プライドと偏見』を撮影中の休日に」だが、文脈からすると、撮影後の休日のことを指していると思われる。

[▶本文に戻る](#)

---

## hairdresser's

美容院 ★hairdresser は「美容師」の意味。

[▶本文に戻る](#)

---



## she

★実在したドミノのことを指している。

[▶本文に戻る](#)

## portray

(役を) 演じる、表現する

[▶本文に戻る](#)

## be meant to do

～するはずだ、～するとされている

[▶本文に戻る](#)

## cool

かつこいい、すてきな ★口語。

[▶本文に戻る](#)

## take the piss out of ~

～をからかう、～をばかにする、～をおちよくる

[▶本文に戻る](#)

## one-dimensional

一次元の、表面的な、皮相的な

[▶本文に戻る](#)

## take

見方、見解、解釈

[▶本文に戻る](#)

## confine

制限する

[▶本文に戻る](#)

## commercially

商業的に、営利的に

[▶本文に戻る](#)

## as I say, it wasn't unexpected

★ほかの記者会見などで述べた自らのコメントに言及していると思われる。

[▶本文に戻る](#)

## she had put Don Simpson, him and Domino in the same sort of category

★ここは、you can put Don Simpson and Domino in the same category (ドン・シンプソンとドミノは同じ種類の人間といえる) と言おうとしたと思われる。

[▶本文に戻る](#)

## checkered

変化に富んだ、多彩な、色とりどりの

[▶本文に戻る](#)

## corny

感傷的な、お涙ちょうだいのな、メロドラマ的な

[▶本文に戻る](#)

## capitalize off ~

～を利用する、～に乗じる、～につけ込む ★ capitalize on ~ の方が一般的。

[▶本文に戻る](#)

## in loving memory

★ in (loving) memory of ~ (～を記念して) を略したものと思われる。

[▶本文に戻る](#)



## burst into tears

わっと泣き出す

[▶ 本文に戻る](#)

---

## with

★本来は不要。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## pop up

ふいに現れる

[▶ 本文に戻る](#)

---

## lock

固定する

[▶ 本文に戻る](#)

---

## guarantee

約束する、請け合う

[▶ 本文に戻る](#)

---

## There you go!

またそんなことを言って、また始まった

[▶ 本文に戻る](#)

---

## underside

内面、裏面、よくない面

[▶ 本文に戻る](#)

---

## underworld

悪の世界、暗黒街

[▶ 本文に戻る](#)

---

## have no clue about ~

〜のことがまったくわからない ★clue は「手掛かり」。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## pretend to do

（通常・疑問文・否定文で）あえて~しようとする

[▶ 本文に戻る](#)

---

## walk of life

職業、身分、社会的地位

[▶ 本文に戻る](#)

---



## lap-dance

ラップダンスの ★ラップダンスは、半裸の女性が客のすぐ目の前で踊るエロティックなダンス。

[▶本文に戻る](#)

## So if ever ~

★ So if ever there was something to get you into the mood, that would be it (その気にさせるような何かがあるとすれば、あれがそうでしょうね) といったことを言おうとしたと思われる。

[▶本文に戻る](#)

## mood

気持ち、気分

[▶本文に戻る](#)

## early on

早くに、初期に

[▶本文に戻る](#)

## topless

トップレスの、上半身裸の

[▶本文に戻る](#)

## 'bout topless

★ about being topless のつもり。'bout = about

[▶本文に戻る](#)

## liberating

解放する、解放感がある

[▶本文に戻る](#)

## Venezuelan

ベネズエラ人 ★ここでは、前出のエドガー・ラミレスのことを言っている。

[▶本文に戻る](#)

## can't help but do

～せずにはいられない

[▶本文に戻る](#)

## of all time

いまだかつて例を見ない

[▶本文に戻る](#)

## bite

少量、一かじり

[▶本文に戻る](#)

## defy A to do

Aに～(不可能なことを)しろと挑む ★ここでは、文字どおりには、「誰でも、この作品を嫌うことができるものなら嫌ってみなさい」。つまり、「誰もがこの作品を気に入るはずだ」といった意味合い。

[▶本文に戻る](#)





Uma Thurman

写真: Startraks / アフロ







# Uma Thurman

“When I finished the script I thought, “OK.” This is a clear “Yes” for me.”

「脚本を読み終えたとき、『やろう』と思ったの。これは私にとって明らかな『イエス』だって」

## Supervising Editor's Comment

質問に的確に答えるよりも、思い浮かんだことを述べている。そのため、表現は感覚的である。声の緩急・高低の変化も激しく、遠回りで難解な答えも多い。話の流れを推測しにくいかもしれない。

ただ、インタビューで取り上げられている『プロデューサーズ』についての知識があれば、よりスムーズに理解できるだろう。なお、Umaの発音は[ú.me]である。

Interview Data	
収録日	2005年10月24日
収録地	ニューヨーク（アメリカ）
スピード	速い
語彙	難しい
発音	やや聞き取りにくい

ユマ・サーマン  
**Uma Thurman**  
1970年4月29日、アメリカ・マサチューセッツ州生まれ。父親は大学教授、母親は精神科医。モデルを経て女優に転身。『危険な関係』（'88年）で注目を集め、クエンティン・タランティノー監督の大ヒット作『パルプ・フィクション』（'94年）で、アカデミー助演女優賞にノミネートされる。その他の代表作に『ガタカ』（'97年）、「キル・ビル」シリーズ2作（2003年、'04年）、『プロデューサーズ』（'05年）など。「キル・ビル」シリーズで見せた迫真の演技で名実ともにハリウッドのトップ女優となったユマ・サーマンが、出演作『プロデューサーズ』で念願の歌と踊りに挑戦したときの様子や、裏切りについて語る。「女の子映画」というイメージについて鋭く批判する一幕も魅力のインタビュー。



Uma Thurman, who [fascinated us with her](#) performance as an [assassin](#) full of [fury](#) in *[Kill Bill](#)*, will [star](#) in a comedy and a musical this year. In this interview, she talks about how she enjoyed those two new films, and her take on women in cinema.



---

## The Producers

DL Track53

用語解説 語注

---

**Reporter:** Can you talk about [The Producers](#)? I can't wait to see it.

**Uma Thurman:** I can't wait to see it. My agent saw it yesterday, and my [publicist](#) saw it yesterday -- my [buddy](#) of [ten million years](#). [People are really liking it](#). I mean, all I know is what someone forwarded me from, like, little gossips, like, from [Ain't It Cool News](#) and stuff which sounded really [promising](#). I just did a little [looping](#) so I [got to see](#) like a couple lines here and there, and of course I was there during the [shooting](#). But if any of you saw [the play](#), with [Nathan](#) and [Matthew](#), I think you'd feel probably pretty hopeful too, because they were fantastic and they really are great. [Will Ferrell](#) also, I must tell you, at the [read-through](#), [stole](#) the read-through, in my opinion. [We'll have to see on the larger playing field](#) what, what [happened](#).

**Reporter:** So what did it feel like to sing and dance?

**Thurman:** It was terrifying. It was totally exciting. Luckily I got to [work on](#) it really hard. I didn't have to just [go](#), "Now I'm singing, and now I'm dancing!" Something called practice and rehearsal was my buddy. But even then I couldn't possibly [catch up to](#) anyone who'd been doing it on [Broadway](#) for nine months. So, and I intelligently [removed that from](#) my [must-to-do list](#), y'know. But all my life [that](#) was my other wish. "I would love to be [Meryl Streep](#), and I would love to be [Doris Day](#)." And this was my Doris Day moment. And I just . . .

**Reporter:** You had your Doris Day moment as [Ulla](#)?

**Thurman:** As [Ooola!](#) Doris wouldn't have played her exactly the same. She didn't play anything other than as herself. But I like that. I liked Doris just as Doris did it. So I didn't quite [take a page out of her book](#). But no one should. It's hers. Anyway, so all I'm saying in my silly way is that it was a lifetime dream. I allowed myself to enjoy it completely. And I really had a good time.

translation ▶



**Reporter:** What drew you to [the material](#)? Was Meryl Streep already [cast](#)? Was that part of it or . . . ?

**Thurman:** Meryl was definitely cast. The whole movie was [put together](#) . . . I'm, I'm sure it must be in the [liner notes](#) or something, but [Sandy Bullock](#) was gonna do this movie, and then changed her mind. And then, you know, like in any case they'd [scurry around](#) and try to fix it before it [falls apart](#). And I got the call and I said, "What's wrong with this piece of material? Sandy's a smart girl." And, so I [skeptically](#) picked it up, although, [counterpoint](#) to that, of course, Meryl was still involved, and she's my hero [of all time](#). And I read it, and I was surprised. I was moved by it. It wasn't a sort of typical comedy. It wasn't a typical American romantic comedy. It was -- not that I don't like those, which I actually do -- but it was totally much more sensitive and [subtle](#) and rich, um, and [lifelike](#). And I felt very moved by my character, and it was kind of like just what the doctor ordered for me. So it was a [no-brainer](#). When I finished the script I thought, "OK." This is a clear "Yes" for me.

**Reporter:** What do you mean that it was "just what the doctor ordered"?

**Thurman:** I understand, obviously -- [my life being the roadkill](#), public knowledge, that it is; you know, [barely scraping the bodies off the sidewalk](#). And I understood exactly what this character was going through. I know what it's like to wake up a decade later and be single again, and be alone again, and thinking that, you know, you had a plan and the plan gets [derailed](#). And a lot of people in America know what that feels like too. And then I thought this was a really [unsarcastic](#), uncynical, pretty sensitive [rendering](#) of a strong, [decent](#) but [vulnerable](#) human being in that position, and I liked that a lot. So for me, y'know, it didn't take a lot of [guesswork](#). [Like that!](#)

translation ►



## Loss and Betrayal

DL Track55

語注

**Reporter:** What's the [betrayal](#) that happens in *Prime*?

**Thurman:** Um, well, I don't know if it's "What's the betrayal?" or if it's "What's the loss?" You know, I think the loss of the [psychiatrist](#) is the [surrogate](#) parent. And I think when you're [beaten down](#) to the -- down to your knees emotionally, that's probably the one safe place that you wouldn't wanna have to find out that somebody's [been on a completely different page](#) than you. But . . . I don't know, I think that, I think it's just, going out with a 23-year-old and [gettin' totally weirded out](#) over the fact that he has a [one-night stand](#) with a model probably should rank a little lower than finding out that your [shrink](#) has not [been straightforward with](#) you for five months. Let's [\\*give her some credit](#) that she would know that.

**Reporter:** What's your advice for somebody going through a hard time? How do they get out of it?

**Thurman:** I have no idea. I have no idea.

**Reporter:** Does time [heal](#)?

**Thurman:** I don't know yet, I'm s -- wondering myself. I don't know, I don't know if you ever do get out of it, but I, I think you get different. I'm not expecting to go back to feeling like I used to feel anymore.

translation ▶



**Reporter:** What's your favorite [chick flick](#)?

**Thurman:** Um . . . my favorite chick flick? I ca -- I hate that term, "chick flick." I hate that term. I hate it, hate it, hate it. In fact, you know what, that's exactly the kind of [discriminatory](#) -- forgive me for saying this, 'cause -- it's the kind of remark that's [keeping women in film down](#). This [identification](#) that there are movies, there's cinema, and then there's a "chick flick." *\*And there's like this little thing that's like, kinda like, [disposable](#) thing that just a few people are gonna like. And that really some people should be [embarrassed](#) to go to. And this is kind of actually hurting women's inclusion into cinema, I think. Um, we don't need to [minimize](#) movies that aren't just [male-driven](#), I think. I guess it's just a wider group, I guess we're very specific. Like what's a, what's a "[dude](#) flick"? Like, *[Rambo](#) maybe? A *Rambo*?**

**Reporter:** *Kill Bill*.

**Thurman:** *Kill Bill*? No, girls like *Kill Bill*. Um, pornos. The whole porn industry. What I always heard is the reason women are [kept slightly in their place](#) and don't [drive](#) the market equally to men is that women will go to men's movies with men, and men go to men's movies, but men feel [stigmatized](#) against going to a "chick flick." It makes them [less of](#) a man [somehow](#) to cry at *[Beaches](#)*. They are slightly less intelligent, it's true.

We [compassionately](#) -- as one who [adores](#) many of you and your species, and I've studied you carefully, just like a hunter watches its [prey](#). Um, I know your habits, I know your [likes](#), and I know your [dislikes](#) . . . You can tell I've been interviewing a lot and I've got, I've [lost my brain](#). Anyway, I think that's the thing, is women would like to *\*blend [fairly](#) into* cinema -- in the [marketplace](#) and even just to have our point of view shared or [deemed worthy of](#) witnessing. Um, I think that's about it. Thank you guys.

translation ►

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Chris Koprowski*



ユマ・サーマンは、「キル・ビル」の、激しい怒りに満ちた暗殺者の演技で私たちを魅了し、今年は、コメディーとミュージカルに出演します。このインタビューでは、これら2本の新作をいかに楽しんだかについて、また、映画界における女性について話してくれます。



# 『プロデューサーズ』

 [DL](#)  [Track53](#)

記者：『プロデューサーズ』についてお話しいただけますか？ 見るのが待ち遠しいです。

ユマ・サーマン：私も見るのが待ち遠しいんです。私のエージェントは昨日見て、広報担当者も昨日見ました——私の長年の相棒ですけど。本当に評判がいいんです。何しろまだ人づてに聞いたことしかわからなくて、誰かが *Ain't It Cool News* みたいところからちよつとしたゴシップを転送してくれたんですが、すごく期待が持てる内容らしいんです。ちょうど吹き替えをちよつとやったところで、そこここのせりふの部分を二、三見る機会があつて、それにももちろん、撮影現場にもいましたからね。でも、皆さんの中で、ネイサンとマシューが出演したあの舞台をご覧になった方がいれば、たぶん、かなり期待もされているんじゃないですか、何しろ、お二人は最高で、本当に素晴らしいですからね。ウィル・フェレルもまた、本当の話、読み合わせのとき、その場をさらっていきました、私に言わせると。実際どうなるかは、より大きな場で見る必要がありますけどね。

記者：それで、歌って踊るというのは、どうでしたか？

サーマン：すごかつたわ。ものすごく刺激的でした。辛いことに、すごく真剣に取り組ませてもらえたんです。ただいきなり、「さあ今から歌つて、今から踊つて！」とならずに済んだんです。練習とリハーサルというものが私の相棒でしたから。それでも、ブロードウエーの舞台で9カ月間これをやってきた人に追いつくなんて、とうてい無理でした。ですから、私は賢明にも、自分のなすべきことのリストからそれ（そのレベルに到達すること）を外したんです。でも、生まれてこの方、歌って踊ることが私のもう一つの願いでした。「メルル・ストリープみたいになりたい、ドリス・デイみたいになりたい」。そして今回は、私がドリス・デイになった瞬間でしたね。それで私はもう・・・

記者：ドリス・デイの瞬間を、ウーラとして体験なさったのですか？

サーマン：ウーラとして！ ドリスなら、この役をまったく同じようには演じなかつたと思います。彼女はどんな役であろうと、ドリス・デイとして以外、演じませんでしたから。でもそこが好きでした。ドリスがやるままのドリスが好きでした。ですから、彼女のやり方をそのままねしたというわけではありません。でも、そもそも、誰もまねすべきではないんです。彼女のものですから。とにかく、つまり私なりのバカげた言い方で何を言いたいかという、生涯の夢だった、ということですよ。自分自身、完全に楽しむことができました。そして、本当に素晴らしい経験でした。

【原文】[▶](#)



# 『プライム』

**DL** **Track54**

記者：この題材の、何に引かれましたか？　メルル・ストリープさんはもう配役されていたのですか？　それ（配役）はその一部だったのですか、それとも・・・？

サーマン：メルルは間違いなく役に決まっていました。この映画全体が組み立てられたのは・・・きっとライナーノートか何かに書かれていると思いますけど、サンドラ・ブロックがこの映画をやるはずだったのが、後で気が変わったんですね。そして、まあ、いずれにしても、とにかくみんな慌てて動き回って、すべてが駄目になってしまう前になんとかしようとしたわけです。それで、私に電話がかかってきたときは、「この題材のどこに問題があるんだろう？　サンドラは賢い女性だし」と思いましたよ。だから、疑いの気持ちを抱きつつ手に取ってみたのですが、その逆の（心が引かれる）要因としては、もちろん、メルルがまだかかわっているということでした。彼女は私にとって一番のあこがれですから。そして読んでみて、驚きました。感動したんです。いわゆる典型的なコメディーとは違っていました。典型的なアメリカのロマンチック・コメディーみたいなものじゃなかったんです。これは——そのジャンルの映画が嫌いというわけではなくて、むしろ好きなんです——でもこれは完全に、もつとずっと繊細で、微妙で、豊かで、それに真に迫っていました。そして私は自分の役にもとても心を動かされて、これはある意味、まさに医者しょうせんの処方箋しょうせんのようなものだと思います。ですから、考えるまでもありませんでした。脚本を読み終えたとき、「やろう」と思ったんです。これは私にとって明らかな「イエス」だって。

記者：「まさに医者しょうせんの処方箋しょうせんのようなもの」というのは、どういう意味ですか？

サーマン：つまり、どう見ても——私の人生は車にひかれた死体かんべきみたいな無残な状態で、それは周知の事実なわけです。そう、どうにか道端から死体をこそげ落としているような状態ですから。この登場人物が経験していることを完璧かんべきに理解できたのです。10年後に目を覚ましてみれば、独身に戻っていて、また独りになっている、予定を立てていたのにその予定が狂わされてしまう、ということを考えるのがどういうことか、私にはわかります。アメリカ人の多くも、それがどういうことか、わかっていると思います。そしてまた、これは本当に、そういう立場に置かれた、強く、まっとうな、でも傷つきやすい一人の人間を、皮肉っぽくなく、冷笑的でもなく、かなり繊細に描いている脚本だと思い、すごく気に入りました。ですから私にとっては、あれこれ悩む必要のないものでした。即決！という感じでしたね。

【原文】[▶](#)



# 喪失と裏切り

 [DL](#)  [Track55](#)

記者：『ブライム』で起きる裏切りとは何ですか？

サーマン：「裏切りとは何か？」ということなのか、「失ったものとは何か？」ということなのか、私にはわかりません。そう、精神科医を失うことは代理親を失うのと同じだと思います。そして、精神的に、ひざから崩れ落ちるほど打ちのめされているようなとき、精神科医というのは（患者にとって）唯一の安全地帯で、その相手が、自分とはまったく異なるものを目指していたと気付くようなことは、絶対にあってほしくないはずです。でも・・・どうなのでしょう、23歳の相手と付き合っていて、その彼がモデルと浮気したために完全に気が動転するなんてことは、実は自分の精神科医が5カ月もの間、自分に対して率直ではなかったと知るよりは、多少低い位置付けになるんじゃないでしょうか。彼女ならそういうこともわかっているはずだと認めてあげましょう。

記者：今、苦境に陥っている人に対して、何かアドバイスはありますか？ どうすれば乗り越えられるものなのでしょうか？

サーマン：まったくわかりません。わからないですね。

記者：時は癒やしてくれますか？

サーマン：まだわかりません、自分でも――考えあぐねているところです。どうなのでしょう、そもそも乗り越えられるものなのかどうかわかりませんが、自分が変わるんじゃないかと思います。もう、昔と同じような感じ方をする自分には戻れそうにありませんね。

【原文】[▶](#)



# 映画界における女性

 [DL](#)  [Track56](#)


記者：あなたが一番好きな女の子映画は何ですか？

サーマン：うーん・・・一番好きな女の子映画？ あ の ―― 大嫌いなんです、その「女の子映画」っていう言葉。本当に大嫌いです。嫌い、嫌い、嫌い。実際、いいですか、それこそまさに差別的な種類の ―― こんなこと言って申し訳ないけれど、だって ―― そういう発言こそが、映画における女性の進歩を妨げているものなんですよ。この、まず映画というものがあって、シネマがあって、そして「女の子映画」があるという区別。そして、この取るに足らないもの、ほんの一部の人だけが好む、ある意味使い捨てのジャンルがあるということ。そして本当に、ある人たち（男性）は見に行くのを恥ずかしいと思うべきであるということ。そして、こうしたことが、ある意味、現実には、女性の映画産業への参画を阻むものだと思うのです。男性をターゲットにしていないというだけでその映画を軽視する必要はまったくないと思います。現実にはそれ（映画の観客）はもっと幅広い層で、私たち（映画産業）は絞り込み過ぎなんですよ。「野郎映画」って何でしょうね？ 例えば「ランボー」とか？「ランボー」シリーズ？

記者：「キル・ビル」とか。

サーマン：「キル・ビル」？ いえ、女の子も「キル・ビル」は好きですよ。そうだ、ボルノね。ボルノ産業全体。いつも聞かされた話は、女性が少々抑え込まれていて男性と同等に映画市場を動かせない理由は、女性は男性向け映画を男性と一緒に見に行くし、男性も男性向け映画を見るけれど、男性は「女の子映画」を見に行く<sup>らくいん</sup>と、不名誉な烙印を押されたような気がするからだ、というものです。どういうわけか、『フォーエバー フレンズ』を見て泣くと、男性は男らしくなくなるからです。彼らは（女性よりも）ちょっとだけ頭が悪いの、これは本当よ。

私たち（女性）は哀れみ深く ―― 多くの男性の皆さんと、皆さんの種を愛する者として、これまで皆さんを注意深く研究してきました、ハンターが獲物を見つめるように。皆さんの習性も知っていますし、皆さんの好き嫌いも知っています・・・私はご覧のとおり、インタビュー漬けで脳みそが溶けてしまっています。とにかく、要は、女性も映画産業に公平に溶け込みたいんです ―― 映画の市場で、少なくとも私たちの視点を分かち合ったり、注目に値するものだと認められたりするだけでもね。まあ、そんなところです。皆さん、ありがとう。

[【原文】](#) 



# Vocabulary List

## A

□**adore** 敬愛する

## B

- barely** 辛うじて（～する）、どうにか（～する）
- be straightforward with ~** ~に対して率直な態度を取る
- beat ~ down** ~の意気をくじく、～を打ち落とす
- betrayal** 裏切り
- blend into ~** ~に溶け込む
- buddy** 親友、相棒、友達

## C

- cast** （俳優に）役を振り当てる、配役をする
- compassionately** 情け深く、思いやりを持って
- counterpoint** 対照的要素

## D

- decent** まともな、きちんとした
- deem** （～と）見なす、（～と）判断する
- derail** （計画などが）狂う、頓挫<sup>とんざ</sup>する
- discriminatory** 差別的な
- disposable** 使い捨ての、簡単に処分できる
- drive** 推進する、機動力となる

## E

- embarrass** 恥ずかしがらせる

## F

- fall apart** バラバラになる、白紙に戻る
- fascinate A with B** AをBで魅了する
- fury** 激怒、憤激

## G

- get to do** ~する機会を得る、～させてもらえる
- give ~ credit** ~の功績を認める
- guesswork** 当て推量

## I

- identification** 識別

## K

- keep ~ down** ~の進歩を妨げる、～を抑圧する
- keep A in A's place** Aをつけあがらせない

## L

- less of ~**それほど～でない
- lifelike** 真に迫った

## M

- male-driven** 男性向けの
- minimize** 軽視する、見くびる

## N

- no-brainer** 考える必要のないこと、明白なこと

## P

- prey** 獲物、餌食
- put ~ together** ~を組み立てる、～を作り上げる

## R

- remove A from B** AをBから取り除く
- rendering** 解釈、演出

## S

- scrape ~ off** ~をこそげ落とす



- scurry around** おたおたする、慌てふためいて動き回る
- skeptically** 懐疑的に、疑い深く
- somehow** どういうわけか
- star** 主演する
- steal** （〜で）人気をさらう、（〜を）独り占めする
- stigmatize** （〜に）烙印らくいんを押す、汚名を着せる
- surrogate** 代理

**T**

---

- take a page out of A's book** Aを見習う、Aの先例に従う

**V**

---

- vulnerable** 傷つきやすい

**W**

---

- worthy of ~** 〜に足る、〜に値する



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、をします

Questions		難易度	Yes	No
1	サーマンはコメディ映画専門の女優である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	サーマンは、まだ <i>The Producers</i> を見ていないが、評判がよく、期待が持てる作品だと自負している。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	サーマンにとって、歌って踊ることは生涯の夢だったので、 <i>The Producers</i> の仕事は心から楽しめたと言っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	歌って踊る練習やりハーサルはサーマンの場合、ほとんどなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<i>Prime</i> の出演について、サーマンは最初そのオファーをいったん断った。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<i>Prime</i> は典型的なアメリカのロマンチック・コメディである。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	サーマンには、この作品の登場人物が経験していることがよく理解できた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	苦境にある人に対するサーマンのアドバイスは、努力すれば必ず抜け出せるということである。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	サーマンはインタビューアの言った <b>chick flick</b> という言葉について、女性向けの映画を軽視する差別的表現でとても嫌いだと言っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	サーマンは、女性も公平に映画産業に溶け込みたいと思っていることを男性に認識してほしいと訴えている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	サーマンはコメディ映画専門の女優である。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	サーマンは、まだ <i>The Producers</i> を見ていないが、評判がよく、期待が持てる作品だと自負している。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	サーマンにとって、歌って踊ることは生涯の夢だったので、 <i>The Producers</i> の仕事は心から楽しめたと言っている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	歌って踊る練習やりハーサルはサーマンの場合、ほとんどなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<i>Prime</i> の出演について、サーマンは最初そのオファーをいったん断った。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	<i>Prime</i> は典型的なアメリカのロマンチック・コメディである。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	サーマンには、この作品の登場人物が経験していることがよく理解できた。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	苦境にある人に対するサーマンのアドバイスは、努力すれば必ず抜け出せるということである。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	サーマンはインタビューアの言った <b>chick flick</b> という言葉について、女性向けの映画を軽視する差別的表現でとても嫌いだと述べている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	サーマンは、女性も公平に映画産業に溶け込みたいと思っていることを男性に認識してほしいと訴えている。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# 用語解説

## **Kill Bill**

「キル・ビル」 ★アメリカ映画（2003年、'04年）。監督クエンティン・タランティノー。本作は2部構成で、'03年に Vol.1 が、'04年に Vol.2 が公開された。

[▶本文に戻る](#)

## **The Producers**

『プロデューサーズ』 ★アメリカ映画（'05年）。監督スーザン・ストローマン。1968年の映画『プロデューサーズ』のリメイク作品。

[▶本文に戻る](#)

## **Ain't It Cool News**

★エンターテインメント関連の情報を掲載しているアメリカのウェブサイト。

[▶本文に戻る](#)

## **the play**

あの舞台 ★舞台版『プロデューサーズ』のこと。同作は '01年に舞台化され、トニー賞を史上最多の 12部門で受賞した。

[▶本文に戻る](#)

## **Nathan**

ネイサン（・レイン） ★（1956-）。アメリカの俳優。代表作に『恋のためらい／フランキーとジョニー』（'91年）、『バードケイジ』（'96年）など。舞台版『プロデューサーズ』で主演を務めた。

[▶本文に戻る](#)

## **Matthew**

マシュー（・プロデリック） ★（1962-）。アメリカの俳優。代表作に『ウォー・ゲーム』（'83年）、『恋におぼれて』（'97年）など。舞台版『プロデューサーズ』で主演を務めた。

[▶本文に戻る](#)

## **Will Ferrell**

ウィル・フェレル ★（1967-）。アメリカの俳優。代表作に『エルフ～サンタの国からやってきた～』（'03年）、『奥さまは魔女』（'05年）など。

[▶本文に戻る](#)

## **Broadway**

ブロードウェイ ★ニューヨークの劇場街、商業演劇界。

[▶本文に戻る](#)

## **Meryl Streep**

メルル・ストリープ ★（1949-）。アメリカを代表する演技派女優。あらゆるアクセントを使い分けることで知られる。代表作に『ディア・ハンター』（'78年）、『ソフィーの選択』（'82年）、『めぐりあう時間たち』（2002年）ほか多数。サーマンとは、*Prime*で共演している。

[▶本文に戻る](#)

## **Doris Day**

ドリス・デイ ★（1924-）。アメリカの女優。親しみやすい健康美と、美しい歌声で一世を ふうび風靡した。代表作に『知りすぎていた男』（'56年）、『バジャマゲーム』（'57年）など。

[▶本文に戻る](#)

## **Ulla**

ウーラ ★サーマンが『プロデューサーズ』で演じるスウェーデン人女優の役名。

[▶本文に戻る](#)



## the material

★アメリカで 2005年 10月に公開されたコメディー、『ブライム』（日本未公開）のこと。監督ベン・ヤンガー。出演ユマ・サーマン、メルル・ストリープ、ブライアン・グリーンバーク。37歳の女性写真家ラフィ（サーマン）と、23歳の芸術家の卵（グリーンバーク）が恋に落ちた。ラフィは9年間の結婚生活に終止符を打ち、精神的に参っていたところだったので、彼女のかかりつけの精神科医リサ（ストリープ）は、その恋を応援する。ところがその恋人が、実はリサの息子デイクだったとわかって ..... 。サーマンが「あこがれの存在」と語るメルル・ストリープと共演したラブ・コメディー。

[▶本文に戻る](#)

---

## Sandy (= Sandra) Bullock

サンドラ・ブロック ★（1964-）。アメリカの女優。代表作に『スピード』（'94年）、「デンジャラス・ビューティー」シリーズ（'00、'05年）など。

[▶本文に戻る](#)

---

## my life being the roadkill . . .

★サーマンと、元夫で俳優のイーサン・ホークとの離婚劇が大々的に報道されたことを、皮肉を交えながらもユーモラスに表現している。roadkill は「車にひかれて死んだ人・動物」のこと。

[▶本文に戻る](#)

---



## **Rambo**

「ランボー」シリーズ ★アメリカ映画（1982年、'85年、'88年）。「ロッキー」シリーズと並ぶ、シルベスター・スタローンの代表作。元軍人が正義を懸けて巨悪と戦うアクション映画。

[▶本文に戻る](#)

---

## **Beaches**

『フォーエバー フレンズ』 ★アメリカ映画（'88年）。監督ゲイリー・マーシャル。出演ベット・ミドラー、バーバラ・ハーシー。生まれ育った環境にも性格にも、まったく共通点のない2人の女性が、さまざまな苦難を乗り越えながら、生涯続く友情を育む物語。随所に「泣かせどころ」をちりばめた、いわゆる chick flick であるため、ここで例に出しているものと思われる。

[▶本文に戻る](#)

---



## 語注

### fascinate A with B

AをBで魅了する

[▶本文に戻る](#)

### assassin

暗殺者、刺客

[▶本文に戻る](#)

### fury

激怒、憤激

[▶本文に戻る](#)

### star

主演する

[▶本文に戻る](#)

### publicist

広報担当、宣伝係

[▶本文に戻る](#)

### buddy

親友、相棒、友達

[▶本文に戻る](#)

### ten million years

★文字どおりには「1000万年」という意味だが、ここでは「長年」を誇張した表現。

[▶本文に戻る](#)

### People are really liking it.

like は本来、現在進行形では使わないが、最近のアメリカ英語ではこのような用法もしばしば見られる。ここでは It has been getting good reviews so far. といった意味。

[▶本文に戻る](#)

### promising

期待できる、見込みのある

[▶本文に戻る](#)

### looping

吹き替え、アフレコ ★= dubbing

[▶本文に戻る](#)

### get to do

～する機会を得る、～させてもらえる

[▶本文に戻る](#)

### shooting

撮影

[▶本文に戻る](#)

### read-through

台本の読み合わせ

[▶本文に戻る](#)

### steal

(～で) 人気をさらう、(～を) 独り占めする

[▶本文に戻る](#)

### We'll have to see on the larger playing field

★ここでは、観衆の反応を見るということ。playing field は「活動の場」。

[▶本文に戻る](#)



## happened

★正しくは happens。

[▶本文に戻る](#)

---

## work on ~

～に取り組む

[▶本文に戻る](#)

---

## go

(～と) なっている

[▶本文に戻る](#)

---

## catch up to ~

～に追いつく

[▶本文に戻る](#)

---

## remove A from B

A を B から取り除く

[▶本文に戻る](#)

---

## must-to-do list

なすべきことのリスト   ★普通は、must-do list、もしくは to-do list とすることが多い。

[▶本文に戻る](#)

---

## that

★ここでは「歌って踊ること」を意味する。

[▶本文に戻る](#)

---

## Ooola!

★Ulla を大げさに言っている。

[▶本文に戻る](#)

---

## take a page out of A's book

A を見習う、A の先例に従う

[▶本文に戻る](#)

---



## cast

(俳優に) 役を振り当てる、配役をする

[▶ 本文に戻る](#)

## put ~ together

~を組み立てる、~を作り上げる

[▶ 本文に戻る](#)

## liner notes

ライナーノート ★レコードや CD に付随する解説冊子。ここでは、サンドラ・ブロックが本作から降板したことが周知の事実であることを <sup>やゆ</sup> 揶揄 して言っている。

[▶ 本文に戻る](#)

## scurry around

おたおたする、慌てふためいて動き回る

[▶ 本文に戻る](#)

## fall apart

バラバラになる、白紙に戻る

[▶ 本文に戻る](#)

## skeptically

懐疑的に、疑い深く

[▶ 本文に戻る](#)

## counterpoint

対照的要素

[▶ 本文に戻る](#)

## of all time

古今を通じての、空前絶後の

[▶ 本文に戻る](#)

## subtle

繊細な、微細な、鋭敏な

[▶ 本文に戻る](#)

## lifelike

真に迫った

[▶ 本文に戻る](#)

## no-brainer

考える必要のないこと、明白なこと

[▶ 本文に戻る](#)

## barely

辛うじて(~する)、どうにか(~する)

[▶ 本文に戻る](#)

## scrape ~ off

~をこそげ落とす

[▶ 本文に戻る](#)

## sidewalk

歩道

[▶ 本文に戻る](#)

## derail

(計画などが) 狂う、<sup>とんざ</sup> 頓挫 する

[▶ 本文に戻る](#)

## unsarcastic

皮肉っていない



[▶ 本文に戻る](#)

---

## rendering

解釈、演出

[▶ 本文に戻る](#)

---

## decent

まともな、きちんとした

[▶ 本文に戻る](#)

---

## vulnerable

傷つきやすい

[▶ 本文に戻る](#)

---

## guesswork

当て推量 ★ここでは、「よく考えること」の意味で使われている。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## Like that!

即決！ ★= I made up my mind just like that!

[▶ 本文に戻る](#)

---



## betrayal

裏切り

[▶ 本文に戻る](#)

---

## psychiatrist

精神科医、精神分析医

[▶ 本文に戻る](#)

---

## surrogate

代理

[▶ 本文に戻る](#)

---

## beat ~ down

～の意気をくじく、～を打ち落とす

[▶ 本文に戻る](#)

---

## be on a different page

目指すものが異なる

[▶ 本文に戻る](#)

---

## get weirded out

相当驚く、わけがわからなくなる ★俗語。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## one-night stand

一夜限りの関係

[▶ 本文に戻る](#)

---

## shrink

精神科医、精神分析医 ★= psychiatrist

[▶ 本文に戻る](#)

---

## be straightforward with ~

～に対して率直な態度を取る

[▶ 本文に戻る](#)

---

## give ~ credit

～の功績を認める

[▶ 本文に戻る](#)

---

## her

★ *prime* でサーマンが演じた役のことを指している。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## heal

癒やす

[▶ 本文に戻る](#)

---



## chick flick

女性向けの映画 ★「女子ども向けの映画」という、多少 侮蔑 的なニュアンスが含まれる。<sup>ぶべつ</sup>**chick** は「若い娘」、**flick** は「映画」の意味。  
[▶ 本文に戻る](#)

## discriminatory

差別的な  
[▶ 本文に戻る](#)

## keep ~ down

～の進歩を妨げる、～を抑圧する  
[▶ 本文に戻る](#)

## identification

識別  
[▶ 本文に戻る](#)

## And there's like this little thing that's like, kinda like, disposable thing

★= And there's a little, kind of disposable thing  
[▶ 本文に戻る](#)

## disposable

使い捨ての、簡単に処分できる  
[▶ 本文に戻る](#)

## embarrass

恥ずかしがらせる  
[▶ 本文に戻る](#)

## minimize

軽視する、見くびる  
[▶ 本文に戻る](#)

## male-driven

男性向けの  
[▶ 本文に戻る](#)

## dude

やつ、野郎、男  
[▶ 本文に戻る](#)

## keep A in A's place

A をつけあがらせない  
[▶ 本文に戻る](#)

## drive

推進する、機動力となる  
[▶ 本文に戻る](#)

## stigmatize

(～に) <sup>らくいん</sup>烙印 を押す、汚名を着せる  
[▶ 本文に戻る](#)

## less of ~

それほど～でない  
[▶ 本文に戻る](#)

## somehow

どういうわけか  
[▶ 本文に戻る](#)

## compassionately

情け深く、思いやりを持って  
[▶ 本文に戻る](#)



## adore

敬愛する

[▶ 本文に戻る](#)

---

## prey

獲物、餌食

[▶ 本文に戻る](#)

---

## likes

好きなもの ★通例、複数形で使用。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## dislikes

嫌いなもの ★通例、複数形で使用。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## lose one's brain

★あまり一般的な言い方ではない。おそらく lose one's mind（気がおかしくなる）と同じような意味で使っているものと思われる。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## blend into ~

～に溶け込む

[▶ 本文に戻る](#)

---

## fairly

公平に、正當に ★ = equally

[▶ 本文に戻る](#)

---

## marketplace

市場、マーケット

[▶ 本文に戻る](#)

---

## deem

（～と）見なす、（～と）判断する

[▶ 本文に戻る](#)

---

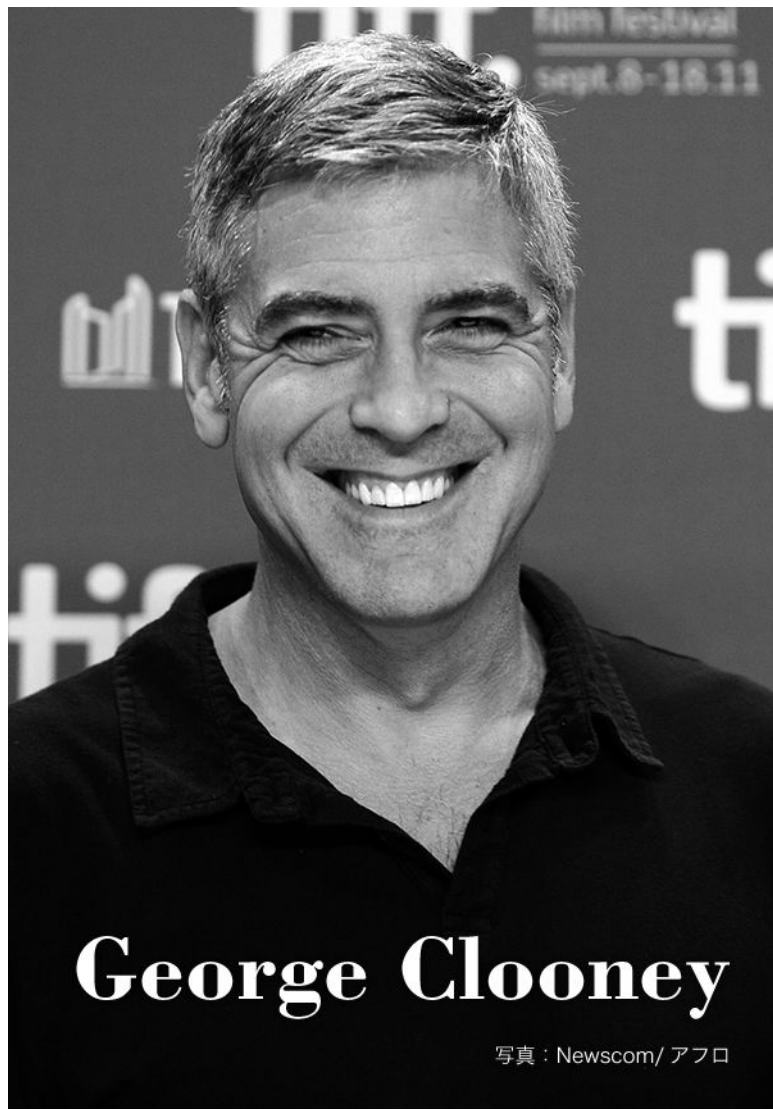
## worthy of ~

～に足る、～に値する

[▶ 本文に戻る](#)

---











# George Clooney

“We’re actually just asking questions and sparking debate.”

「私たちは実際のところ、問いを投げかけて議論を呼び起こすだけなんだ」

## Supervising Editor's Comment

落ち着いた話しぶりには説得力が感じられるが、1文が長く、具体性に欠けるところも多いため、ずっと頭に入るとは言い難い。

発音に米国南部訛りがわずかに現れることがある。語末・子音前の[r]が落ちるか弱まることあるのがそれだ。また、後半、話が弾んでくると、少し音が崩れて聞き取りにくくなる部分もある。

Interview Data	
収録日	2005年11月19日
収録地	ニューヨーク（アメリカ）
スピード	速い
語彙	難しい
発音	やや訛りあり

ジョージ・クルーニー  
**George Clooney**  
1961年5月6日、アメリカ・ケンタッキー州生まれ。'94年にスタートしたテレビドラマ「ER緊急救命室」シリーズで一躍有名になり、映画界に進出。『オー・ブラザー！』（2000年）、『パーフェクト・ストーム』（'00年）、『オーシャンズ11』（'01年）などへの出演のほか、『コンフィッション』（'02年）や、『グッドナイト&グッドラック』（'05年）では監督も務めた。『シリアナ』（'05年）でアカデミー助演男優賞を受賞。  
ハリウッドを代表する「セクシーな大人の男」、ジョージ・クルーニーが、アカデミー助演男優賞を受賞した社会派映画『シリアナ』での役作りや、自ら監督した『グッドナイト&グッドラック』で表現したかったことについて、明なかつフランクに語る。



Actor and director George Clooney talks about [shooting \*Syriana\*](#) in the Middle-East, American involvement there in the past and present, the [dumbing down](#) of news, and the [burden](#) of the [People's Sexiest Man Alive award](#).



**Reporter:** The choice of doing this . . . it's not an easy film to watch --

**George Clooney:** Uh-uh.

**Reporter:** I think it really demands [an awful lot of](#) the audience. What about you as being in the center of it and choosing to make the film? Why is the time right for this film?

**Clooney:** Well, it was a [interesting tim --](#) you know, obviously, when we decided to do it, it was a couple of years ago, or three years ago really, so [it was even a tougher time, if you remember, sort of politically](#) -- anybody who talked about any, who [raised](#) any questions at all was sort of [\\*framed as unpatriotic](#) at that point. So I thought it was fairly brave of the studio to be willing to jump [on board](#) and [take on](#) some of the [subject matter](#).

Because obviously, when you see the film, it's not at all -- it's not even an attack on the [administration](#) at all. It is certainly questioning 30 or 40 or 50 years of [flawed](#) policies in the Middle East, which I think everyone agrees with. And most of the [conservatives](#) who've seen the film agree with it, and most of the [liberals](#) agree with it. So, to me it wasn't that. You know, I felt we were fairly safe in taking on the subject matter. My job was to know as much as I could so I wouldn't [marginalize](#) the [piece](#). But I'm not the writer or the director, you know.

I spent a lot of time with [Bob Baer](#). Really interesting guy. And really sort of -- for him, it was much more about the [disenchantment](#), of how little he was needed anymore, which was, after the [Berlin Wall came down](#). The decisions were made by several administrations, including the [Clinton administration](#) and the [Bush administration](#), which was [surveillance equipment](#) will take care of it, and you don't need people who speak [Arabic](#) or [Farsi](#) or [Urdu](#). And what you realize, of course is, it would have been very helpful to have those people. And you realize it as we look at the sort of, the problems with some of the [evidence](#) that led us into [other places](#).

You know, it would've helped to have people in there speaking those languages, and he's very disenchanted with all of that, I think. You guys have all seen him out speaking before, so that's not something new, you know?



# Learning Phonetically

DL Track60

語注

**Reporter:** What was the task like learning [fluent](#) Arabic for this movie?

**Clooney:** [Brutal](#). I mean, I don't know if any, if any of you can speak any of those languages. I had a roommate in college who was [Iranian](#), so I could, I understood, and could speak a little bit of Farsi, which helped. Because there are some similarities, so it helped just with, sort of, the accent. But [there are no Latin derivatives](#), you know. It's a, you know, lot of "[Hecch!](#)" And so it's a [tricky](#) thing to do. You know, you learned it [phonetically](#), you know, and you just did it over and over. I did it for two months, just to do those few paragraphs. I'd wake up in the middle of the night going, " *〈Speaking Arabic〉* ." You know, just, just because you had to learn it that way.

**Reporter:** And what did you just say?

**Clooney:** I said "Hello." Ha ha ha . . .

tanslation [▶](#)



**Reporter:** A lot of the things you're saying sound like this was, you approached this as a journalist would. And I'm wondering if you think that the film is doing things that journalism ought to be doing. Is that the [place](#) of a film to [expose](#) these issues?

**Clooney:** Well, no, [I think the difference between journalism and films is . . . I don't think](#) films [are designed to provide](#) answers. I think films are designed to ask questions, and I think journalism is designed to ask questions to get answers. We're actually just asking questions and [sparking](#) debate. That's what we tried to do with [Good Night, and Good Luck](#), and it's the same thing with this. This one wasn't approached as . . . for me -- my job was to understand what Bob was doing, [as a producer of the film](#), be well enough informed on the subject to understand the [plotlines](#) and what we were trying to tell.

For *Good Night, and Good Luck*, you know, I [double-sourced](#) every scene because I thought it was important not to allow-- I owed it to the people who, whose story I was telling, which was a true story, not to get anything wrong. Because if you got anything wrong it would all be marginalized, which is sort of the popular thing to do right now. I mean [there's](#) some people [out there](#) that are [anxiously](#) trying to talk about what a great guy [McCarthy](#) is, you know, still [blows my mind](#). But, so, with this film, my job, was to be as best informed as I could be in general -- but I've always felt that way about anything -- and then, you know, to try to make it an entertainment, because it is still a film, you know. I think the good news about both these films is that they're not [civics](#) lessons. They're actually entertaining films -- tough, not easy, but entertaining films.

**Reporter:** You made a couple of films that are definitely very [provocative](#), both provocative as well as entertaining -- more entertaining in the case of [Murrow](#). What do you think would have to happen to better realize the potential of the television broadcast [medium](#) to inspire thought and [enlightenment](#), as well as entertain?

**Clooney:** I don't know. You know, I was, sort of, hoping that in putting a film like that out there, that it would open the discussion for people who are in those positions -- and for -- some of them are friends of mine, the [Les Moonves](#)'s of the world -- to say, "OK, we understand that this is a [dilemma](#)." I understand that, having watched what happened with [my father](#) as an [anchorman](#), I understand that [the idea](#) is that news has a problem, which is, they're losing [viewers](#), and how do you keep news out there, and do you [preserve](#) it? But [do you preserve it by, sort of, destroying it](#) along the way, and what do you do to not let that happen?

So it's one of those sort of difficult fights. And I understand that it's not black and white and easy. But I think that it's something that should be constantly [waged](#) and talked about and argued about, until somebody can [come up with](#) some solutions. You know, uh, because I am concerned about, you know, the same things that probably you all are concerned with, and the same thing that my father's been concerned with his whole life and fought, which was finding ways to have room for both, but not losing content along the way.



# I Think "Mr. Abs" Can Handle It

DL Track62

用語解説 語注

**Reporter:** Can you comment on being named one of *People's* Sexiest Man Alive? And this year's winner, [Matthew McConaughey](#)?

**Clooney:** I was a little hurt that I, you know, pretty-boy McConaughey now [takes over](#), but I'm sure that -- you know, it's a big responsibility. It's a heavy [crown](#) for him, but, I think "Mr. [Abs](#)" himself, I think he can handle it. I think he can take it. But we'll see. You know, [Pitt](#) did it twice, and he was really the only guy that could handle it, you know, two times -- Brad "Pretty-Boy" Pitt. I was a little [disturbed](#) that [Matt Damon](#) didn't get [front page](#).

tanslation ▶

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication  
Narrated by Chris Koprowski / Carolyn Miller*



俳優であり映画監督であるジョージ・クルーニーが、中東での『シリアナ』の撮影、過去と現在におけるこの地域へのアメリカの関与、ニュースのレベルの低下、そして『ピープル』誌の「最もセクシーな男性」に選ばれる重責について語ります。



# 『シリアナ』

 [DL](#)  [Track59](#)

記者：これ（『シリアナ』）を手がけることを選ばれたのは・・・これはお気楽に見られる映画ではありませんよね——

ジョージ・クルーニー：ええ。

記者：見る側に非常に多くのことを要求するタイプの映画だと思います。中心となってこの映画を作る選択をなさったあなたにとっては、どうでしょう？　なぜ今、この作品なのでしょう？

クルーニー：そうですね、興味深いタイミングで——確かに、私たちが製作を決定したのは2年ほど前、正確には3年前ですが、当時は、ご記憶にあるかもしれませんが、ある意味で政治的に（今より）いっそう難しい時期でした——あの時点では、何か話題にしたり、何であれ疑問を提起したりする者は、誰であろうと非国民的だとされてしまいました。ですから、映画スタジオが企画に乗ってああいうテーマに取り組む意気込みを見せたのは、かなり勇気のあることだと思います。

というのも、映画を見ればわかるとおり、この作品はまったく——まったくもって、現政権への攻撃ですらないのです。確かに、**30年**、**40年**、**50年**にわたる（アメリカの対）中東政策のまずさには疑問を投げかけていますが、それは誰もが認めることでしょう。作品を見た保守派のほとんどがそれを認め、革新派の大半もそれを認めています。ですから、私の見るところ、そこは問題ではありません。つまり、このテーマに取り組むことに危険はないと感じました。私の仕事は、この作品の価値を損ねないために、できる限りの知識を身につけることでした。ただ、私は脚本家でも監督でもないのですね。

私はボブ・ベアとともに多くの時間を過ごしました。実に興味深い人物です。そして実に、何というか——彼にとってはるかに大きかったのは、ベルリンの壁崩壊以来、自分がもはやいかに必要とされなくなったか、という幻滅でした。クリントン政権やブッシュ政権など複数の政権がさまざまな決定を下しました。つまり、（情報収集は）監視機器が行い、アラビア語やベルシャ語やウルドゥー語を話す ちょうほう 諜報員は要らない、ということです。ところが、当然お気づきかと思いますが、こうした人々がいれば非常に役立ったはずなのです。それは、ほかの展開にもつながるような証拠がある問題に目を向けるとわかります。

つまり、そういう言語を話す人々を現地に置いていれば役に立ったはずなのに、こうしたあらゆること（政策転換）で、彼はすっかり幻滅しているのでしょう。皆さんは前に彼の会見をご覧になっていますから、すでにご存じでしょうね。

【原文】[▶](#)



# 耳で覚えたアラビア語

  60

記者：この映画のために りゅうちょう 流暢 なアラビア語を身につけるという作業はいかがでしたか？

クルーニー：むちゃくちゃでしたよ。その、私は知りませんが、どなたか ―― 皆さんの中に何かあいう言葉を話せる方がいらつしゃるかどうかは。私は、大学時代イラン人のルームメートがいたのでできたというか、ほんの少しだけペルシャ語がわかったし、話せたので、それが役に立ちました。というのも、幾らか似通ったところがあるので、アクセントなんかでは役に立ったのです。ただし、ラテン語から来た言葉はありません。それに、やたらと "Hecch!" (といった音) だけです。ですから、とても厄介な仕事でした。発音どおりに覚えるわけですから、とにかく何度も何度も繰り返すのです。あのほんの数パラグラフのせりふのために、2カ月間これをやりました。夜中にふと目を覚ましても、「・・・（アラビア語）」としゃべってしまうんです。つまり、そんなふうに覚えなくてはいけなかったせいでね。

記者：それで、今は何とおっしゃったんですか？

クルーニー：「こんにちは」と言ったんです。ハハハ・・・

【原文】[▶](#)



映画は問題を提起するもの

記者：この作品に関する発言をいろいろとお聞きすると、あなたはこの作品に対してジャーナリストのように取り組まれたようですね。そこで伺いたいのですが、この映画はジャーナリズムがすべきことをしているのだと思いますか？　そうした問題を暴き出すことが映画の役割なのでしょうか？

クルーニー：いえ、それは違います、ジャーナリズムと映画の違いは・・・映画は答えを出すためのものではないと思います。映画は問題を提起するものですが、ジャーナリズムは問題提起をして答えを得るためのものだと思います。私たち（映画関係者）は実際のところ、問いを投げかけて議論を呼び起こすだけなのです。それが『グッドナイト&グッドラック』でしようとしたことであり、この作品（『シリアナ』）についても同じです。これはそのように（ジャーナリスト的に）取り組んだわけではなく・・・私にしてみれば――私の仕事は、映画製作者の立場からボブの行動を理解することであり、せりふの流れや自分たちが伝えようとしているメッセージを理解するために、テーマに関して十分な知識を得ることでした。

『グッドナイト&グッドラック』では、すべてのシーンに裏付けを取りました。なぜなら、（疑問の）余地を残さないことが重要だと思ったので――それは作品に登場した人たちに対して果たすべき義務です。あれは実話であり、どんな間違いも許されません。なぜなら、もし何か間違いがあれば、作品（の信頼）が地に落ちてしまいます。そういったことは、ここ最近かなりよくあることですから。それに、世の中にはマッカーシーがいかに素晴らしい人物であるか熱心に語ろうとする人も一部にいます、いまだに私には驚きですが。ともかく、そういうわけで、この作品における私の仕事は、全般的に、できる限りの知識を身につけることでした――私はこれまでずっと、どの作品についてもそう感じてきましたが――その上で、娯楽になるよう仕立てるわけです。というのも、これもやはり映画ですから。これらの作品が両方ともいいところは、どちらも公民の授業ではないことだと思います。実際に、どちらも娯楽作品です――硬派で、やさしくはありませんが、人を楽しませるための映画なのです。

記者：あなたは、間違いなく非常に物議を醸す映画を2本作られました。娯楽性があり、かつ物議を醸すものですね――マロー（『グッドナイト&グッドラック』）の場合は、より娯乐的です。人々を楽しませると同時に思想や啓蒙けいもうを触発するという、テレビ放送の持つ潜在能力をよりいっそう現実のものにするためには、どんな手を打つ必要があると思われますか？

クルーニー：わかりませんね。ああいった映画を世に出すことで、そうした立場にある人々の間で議論が始まって――そのために――そうした人々の中には私の友人もいて、世界に冠たるレス・ムーンベスもそうですが――「うん、確かにこれはジレンマだ」と言うことを、私は望んでいました。私もそれについて、アンカーマンである父の身に起こったことを見て理解していますし、要はニュースが問題を抱えているということだということも理解しています。つまり、（ニュース番組の）視聴者が減っていて、ニュースをどう発信し続けていくのか、ニュース番組を守っていくのかどうか、ということです。そしてそれを守るには、その過程である程度破壊するのか、また、そうならないためにはどうするのか？

ですから、これはちょっと難しい闘いです。白黒をはっきりつけられる単純なものではないと認識しています。しかし、誰かが何らかの解決策にたどりつくまで、繰り返し取り上げ、話題にし、議論すべき問題だと思っています。なぜなら、私が関心を寄せているのは、おそらく皆さんが関心を寄せているのと同じ事柄であり、私の父が生涯をかけて心を砕き闘ってきた事柄でもあります。それは、何とかして両者を並存させる方法を見つけ、なおかつ、その過程で中身を損なわないようにすることなのです。

【原文】▶



# 「ミスター腹筋」にお任せ

**DL** **Track62**

記者：『ビーブル』誌の「世界で最もセクシーな男性」の一人に選ばれたことについて、また、今年の受賞者マシュー・マコノヒーについて、コメントをいただけますか？

クルーニー：マコノヒー坊やにその座を奪われて、ちょっとばかり傷付きましたが、断言できます—— あれは重責ですよ。彼には重い栄冠です。でも、「ミスター腹筋」の彼なら、担っていけると思いますよ。受け止められるでしょう。まあ、これからわかることですがね。そういえばビットは2度受賞しましたが、そんなことができたのは彼ですよ、2度なんて—— かわいいブラッド・ビット坊やぐらいです。マット・デイモンが表紙を飾らなかったのは、ちょっとショックでしたけど。

【原文】[▶](#)



# Vocabulary List

## A

- abs** 腹筋 ★= abdominal muscles
- administration** 政権
- an awful lot of** ～ 実にたくさんの～、非常に多くの～
- anchorman** アンカーマン、ニュースキャスター
- anxiously** 必死で、熱心に

## B

- be designed to do** ～することを意図している、～するためのものである
- blow one's mind** ～をととてもびつくりさせる、～にショックを与える
- brutal** 血も涙もない、厳しい
- burden** 重荷、重責

## C

- civics** 市民論、市制学、公民
- come down** 倒れる、崩壊する
- conservative** 保守派
- crown** 栄冠、栄誉

## D

- dilemma** ジレンマ、板挟み
- disenchantment** 夢が打ち碎かれること、幻滅
- disturb** 当惑させる、かき乱す
- double-source** 情報を2カ所から得る、情報の裏付けを取る
- dumb down** （内容の）レベルを落とす、大衆向けにする

## E

- enlightenment** けいもう 啓蒙、教化
- evidence** 形跡、兆候
- expose** さらけ出す、白日の下にさらす

## F

- flawed** 不完全な、不備のある
- fluent** りゅうちょう 流暢な
- frame A as B** AをBと定義する、AがBであると決め付ける ★= bracket A as B、picture A as B
- front page** 第1面、表紙

## L

- liberal** 革新派

## M

- marginalize** 無視する、故意に軽んずる

## O

- on board** 参加して、引き受けて
- out there** 世間に、世の中に

## P

- phonetically** 音声学的に、発音に即して、耳で聞いたとおりに
- piece** 作品
- place** 位置づけ、役割
- plotline** 筋立て、物語を進行させるせりふのやりとり
- preserve** 保護する、絶滅させないようにする
- provocative** 物議を醸すような

## R

- raise** 提起する

## S

- shoot** 撮影する
- spark** （～に）火をつける、（～を）誘発する
- subject matter** 主題、題材

## T



- take on** ~ ~に挑戦する、～に取り組む
- take over** 後任になる、後を引き継ぐ
- the idea** 要点
- tricky** 一筋縄ではいかない、厄介な

U

---

- unpatriotic** 非国民の、愛国心のない

V

---

- viewer** 視聴者

W

---

- wage** （議論などを）行う、繰り広げる



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	クルーニーは <i>Syriana</i> で主演と監督を務めた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	<i>Syriana</i> はイラク戦争をテーマにした映画で、アメリカのブッシュ政権を直接的に非難したものである。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	クルーニーには、大学時代イラン人のルームメイトがいた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	クルーニーは、この映画に出てくる数パラグラフのアラビア語のために、2カ月間アラビア語を勉強した。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	クルーニーは、この映画にジャーナリズムとしての役割を持たせて制作に取り組んだ。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ジャーナリズムが社会問題を提起するのに対し、映画は社会問題の答えを提供するものだとクルーニーは考える。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	クルーニーは、この映画も <i>Good Night, and Good Luck</i> も、硬派で簡単な内容ではないが、どちらも娯楽映画だと言っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	クルーニーはテレビ媒体について、特にニュース番組が視聴者を減らしていることを懸念している。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	クルーニーの父はテレビで娯楽番組のプロデューサーをしていた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	クルーニーは <i>People</i> 誌の「最もセクシーな男性」の一人に選ばれたが、「今年の受賞者」にはならなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	クルーニーは <i>Syriana</i> で主演と監督を務めた。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	<i>Syriana</i> はイラク戦争をテーマにした映画で、アメリカのブッシュ政権を直接的に非難したものである。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	クルーニーには、大学時代イラン人のルームメイトがいた。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	クルーニーは、この映画に出てくる数パラグラフのアラビア語のために、2カ月間アラビア語を勉強した。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	クルーニーは、この映画にジャーナリズムとしての役割を持たせて制作に取り組んだ。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	ジャーナリズムが社会問題を提起するのに対し、映画は社会問題の答えを提供するものだとかルーニーは考える。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	クルーニーは、この映画も <i>Good Night, and Good Luck</i> も、硬派で簡単な内容ではないが、どちらも娯楽映画だと言っている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	クルーニーはテレビ媒体について、特にニュース番組が視聴者を減らしていることを懸念している。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	クルーニーの父はテレビで娯楽番組のプロデューサーをしていた。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	クルーニーは <i>People</i> 誌の「最もセクシーな男性」の一人に選ばれたが、「今年の受賞者」にはならなかった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



# 用語解説

## Syriana

『シリアナ』 ★アメリカ映画（2005年）。監督・脚本スティーブン・ギャガン。出演マット・デイモン、ジョージ・クルーニー。中東の石油資源をめぐる絡み合う、アメリカ企業、アラブの王族、CIA、イスラム過激派テロリストの姿を、さまざまな角度から緻密に描き出す社会派映画。クルーニーは主人公のベテラン CIA 工作員、ボブ・バーンズを演じている。  
[▶本文に戻る](#)

## People's Sexiest Man Alive award

『ピープル』が選ぶ「この世で最もセクシーな男性」 ★アメリカの芸能誌『ピープル』が毎年発表する、男性のセクシー度ランキング。  
[▶本文に戻る](#)

## it was even a tougher time . . . politically

★9.11同時多発テロから日が浅かったこと、対イラク戦争へ向けた動きが推し進められていたことを示唆している。  
[▶本文に戻る](#)

## Bob Baer

ボブ（ロバート）・ベア ★『シリアナ』のベースとなった CIA 内部告発本『CIA は何をしていた？』（佐々田雅子 訳、新潮社刊）の著者。元 CIA 工作員であり、クルーニーが演じた「ボブ」のモデル。  
[▶本文に戻る](#)

## Berlin Wall

ベルリンの壁 ★旧東ドイツ領内の飛び地であった旧西ベルリンを取り囲み、国境上にそびえ立っていた壁のこと。冷戦の象徴だったが、1989年に崩壊した。  
[▶本文に戻る](#)

## Clinton administration

クリントン政権 ★（1993-2001）。ビル・クリントン（1946-）は第42代アメリカ大統領。民主党。  
[▶本文に戻る](#)

## Bush administration

ブッシュ政権 ★（2001-）。ジョージ・W・ブッシュ（1946-）は第43代アメリカ大統領。共和党。  
[▶本文に戻る](#)

## Arabic

アラビア語 ★中東から北アフリカにかけ、広い地域で使用されている言語。イスラム教の聖典コーランにも用いられている。  
[▶本文に戻る](#)

## Farsi

現代ペルシャ語 ★イランを中心に使用されている言語。『シリアナ』ではイランの首都テヘランが舞台の一つとなっている。  
[▶本文に戻る](#)

## Urdu

ウルドゥー語 ★パキスタンの公用語。『シリアナ』には、ペルシャ湾の油田に出稼ぎに来たパキスタン出身の労働者たちが登場する。  
[▶本文に戻る](#)



## **Good Night, and Good Luck**

『グッドナイト&グッドラック』 ★アメリカ映画（2005年）。監督・脚本・助演ジョージ・クルーニー。共演デビッド・ストラザーン。1950年代の「赤狩り」の風潮に厳然と立ち向かったジャーナリスト、エド・マローの闘いを描き出す。

[▶本文に戻る](#)

## **as a producer of the film**

★クルーニーは『シリアナ』で製作総指揮も務めた。

[▶本文に戻る](#)

## **(Joseph) McCarthy**

（ジョセフ・）マッカーシー ★（1908-57）。東西冷戦に突入した '50年代の共和党上院議員。共産党員とその協力者を糾弾し、社会から追放することを目的とした、いわゆる「赤狩り」運動の先頭に立った。

[▶本文に戻る](#)

## **(Ed) Murrow**

（エド・）マロー ★（1908-65）。アメリカ CBS テレビのニュースキャスター。赤狩りの嵐が吹き荒れる '50年代に、自身が制作にかかわりホストも務めるドキュメンタリー番組 *See It Now* で、マッカーシーを批判し、ついには彼を失脚させた。

[▶本文に戻る](#)

## **Les Moonves**

レス・ムーンベス ★（1948-）。CBS の社長兼最高経営責任者。Les は Leslie の愛称。

[▶本文に戻る](#)

## **my father**

★テレビジャーナリストである父ニック・クルーニー（1934-）のこと。

[▶本文に戻る](#)



## Matthew McConaughey

マシュー・マコノヒー ★（1969-）。アメリカの俳優。主演作『サハラ 死の砂漠を脱出せよ』（2005年）では、鍛え上げた自慢の腹筋を披露している。その他の代表作に『評決のとき』（'96年）、『コンタクト』（'97年）、『ウェディング・プランナー』（'01年）など。

[▶本文に戻る](#)

## (Brad) Pitt

（ブラッド・）ピット ★（1963-）。アメリカの俳優。クルーニーとは『オーシャンズ 11』（'01年）、『オーシャンズ 12』（'04年）で共演。その他の代表作に『リバー・ランズ・スルー・イット』（'92年）、『セブン』（'95年）、『Mr. & Mrs. スミス』（'05年）など。

[▶本文に戻る](#)

## Matt Damon

マット・デイモン ★（1970-）。アメリカの俳優。クルーニーとは『シリアナ』や『オーシャンズ 11』、『オーシャンズ 12』で共演。その他の代表作に『グッド・ウィル・ハンティング／旅立ち』（'97年）、『ボーン・アイデンティティー』（'02年）など。

[▶本文に戻る](#)



# 語注

## shoot

撮影する

[▶本文に戻る](#)

## dumb down

(内容の)レベルを落とす、大衆向けにする

[▶本文に戻る](#)

## burden

重荷、重責

[▶本文に戻る](#)

## an awful lot of ~

実にたくさんの～、非常に多くの～

[▶本文に戻る](#)

## interesting tim --

★interesting timing と言いかけて言い直している。

[▶本文に戻る](#)

## raise

提起する

[▶本文に戻る](#)

## frame A as B

A を B と定義する、A が B であると決め付ける ★= bracket A as B、picture A as B

[▶本文に戻る](#)

## unpatriotic

非国民の、愛国心のない

[▶本文に戻る](#)

## on board

参加して、引き受けて

[▶本文に戻る](#)

## take on ~

～に挑戦する、～に取り組む

[▶本文に戻る](#)

## subject matter

主題、題材

[▶本文に戻る](#)

## administration

政権

[▶本文に戻る](#)

## flawed

不完全な、不備のある

[▶本文に戻る](#)

## conservative

保守派

[▶本文に戻る](#)

## liberal

革新派

[▶本文に戻る](#)

## marginalize



無視する、故意に軽んずる

[▶ 本文に戻る](#)

---

## piece

作品

[▶ 本文に戻る](#)

---

## disenchantment

夢が打ち碎かれること、幻滅 ★その下のdisenchantedは形容詞形で、「幻滅した」の意味。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## come down

倒れる、崩壊する

[▶ 本文に戻る](#)

---

## surveillance equipment

監視装置 ★ここでは、監視衛星などを指す。

[▶ 本文に戻る](#)

---

## evidence

形跡、兆候

[▶ 本文に戻る](#)

---

## other places

= other situations or locations

[▶ 本文に戻る](#)

---



## fluent

りゅうちょう

流暢 な

[▶本文に戻る](#)

---

## brutal

血も涙もない、厳しい

[▶本文に戻る](#)

---

## Iranian

イランの、イラン人の

[▶本文に戻る](#)

---

## there are no Latin derivatives

ラテン語からの派生語はない ★ほとんどの欧米言語にはラテン語由来の語彙がある程度含まれており、意味の類推がしやすいが、アラビア語ではそうはいかないということ。derivative は「派生語」の意。

[▶本文に戻る](#)

---

## Hecch!

★アラビア語の特徴的な発音を大げさに言っている。

[▶本文に戻る](#)

---

## tricky

一筋縄ではいかない、厄介な

[▶本文に戻る](#)

---

## phonetically

音声学的に、発音に即して、耳で聞いたとおりに

[▶本文に戻る](#)

---



## place

位置付け、役割

[▶ 本文に戻る](#)

## expose

さらけ出す、白日の下にさらす

[▶ 本文に戻る](#)

## I think the difference between . . . I don't think

★ジャーナリズムと映画の違いについて言おうとして、その後、答え方を変えている。

[▶ 本文に戻る](#)

## be designed to do

～することを意図している、～するためのものである

[▶ 本文に戻る](#)

## spark

(～に) 火をつける、(～を) 誘発する

[▶ 本文に戻る](#)

## plotline

筋立て、物語を進行させるせりふのやりとり

[▶ 本文に戻る](#)

## double-source

情報を2カ所から得る、情報の裏付けを取る

[▶ 本文に戻る](#)

## there's

★正しくは there're。

[▶ 本文に戻る](#)

## out there

世間に、世の中に

[▶ 本文に戻る](#)

## anxiously

必死で、熱心に

[▶ 本文に戻る](#)

## blow one's mind

～をととてもびつくりさせる、～にショックを与える

[▶ 本文に戻る](#)

## civics

市民論、市制学、公民

[▶ 本文に戻る](#)

## provocative

物議を醸すような

[▶ 本文に戻る](#)

## medium

媒体 ★「報道媒体、メディア」という意味では普通、複数形の media が使われる。ここでは、「テレビ放送という一媒体」に問題を絞っているため、単数形の medium が使われている。

[▶ 本文に戻る](#)

## enlightenment

けいもう

啓蒙、教化

[▶ 本文に戻る](#)

## dilemma

ジレンマ、板挟み

[▶ 本文に戻る](#)



---

## anchorman

アンカーマン、ニュースキャスター

[▶ 本文に戻る](#)

---

## the idea

要点

[▶ 本文に戻る](#)

---

## viewer

視聴者

[▶ 本文に戻る](#)

---

## preserve

保護する、絶滅させないようにする

[▶ 本文に戻る](#)

---

## do you preserve it by, sort of, destroying it

★= do you keep the news program by sort of losing the seriousness of the news program

[▶ 本文に戻る](#)

---

## wage

（議論などを）行う、繰り広げる

[▶ 本文に戻る](#)

---

## come up with ~

～を思い付く、～を見つけ出す

[▶ 本文に戻る](#)

---



## take over

後任になる、後を引き継ぐ

[▶本文に戻る](#)

---

## crown

栄冠、栄誉

[▶本文に戻る](#)

---

## abs

腹筋 ★= abdominal muscles

[▶本文に戻る](#)

---

## disturb

当惑させる、かき乱す

[▶本文に戻る](#)

---

## front page

第1面、表紙 ★『ピープル』誌の「最もセクシーな男性」が発表される号では、その受賞者が表紙を飾ることになっているので、ここでは、デイモンが受賞しなかったことを言っている。

[▶本文に戻る](#)

---



【音声DL付】ハリウッドスターの英語2  
(電子書籍版)

発行日：2013年10月1日（ver1.0）  
2015年2月1日（ver1.1）

企画・編集：株式会社アルク

音声解説：小川直樹

英文校正：Peter Branscombe・Owen Shaefer

和訳：春日聡子、挙市玲子、増田恵里子

表紙デザイン：直井忠英（ナオイデザイン室）

カバー写真：(c)Startraks/アフロ

電子書籍制作：有限会社ギルド

録音・編集：有限会社ログスタジオ

発行者：平本照磨

発行所：株式会社アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12

Email：csss@alc.co.jp

Website：http://www.alc.co.jp/

- ・本書は『ハリウッドスターの英語2』（2007年発行）の電子書籍版です。
- ・本書の全部または一部の無断転載を禁じます。著作権法上で認められた場合を除いて、本書からのコピーを禁じます。

©2013 Naoki Ogawa / Noboru Matsuoka / Yuki Tominaga / naoi design office / ALC PRESS INC.

PC：9580160

ISBN：9784757421400

地球人ネットワークを創る



アルクのシンボル  
「地球人マーク」です。